滿洲日報
發行人 鈴木 ○
編輯人 橋本 ○○
印刷人 木村 武 ○
發行所 大連市東公園町 株式會社滿洲日報社
定價 一ヶ月 金一圓二十錢 郵税 金十五錢 一部 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

空、陸相呼應して我軍 金家屯の兵匪を擊滅
目覺しかつた駐奉空軍の活躍 遼西の曠野に砲煙咽ぶ

獨立守備隊第〇大隊及第〇大隊は森司令官の緊急命令に依り二十三日朝通江口の北方なる金家屯方面の匪賊約千名に對し攻擊を開始し、これと同時に爆擊命令を受けた奉天駐屯第〇飛行聯隊六機は地上の討伐軍と相呼應して賊軍の一兵をも殘さじとすさまじい攻擊を開始したが殷々たる迫擊砲の響き、間斷なく續射する機關銃、湧き起る喚聲裡に空軍は凍て通る寒冷に快翔して銀翼の下から爆擊又爆擊 金家屯一帶を掠奪、放火、暴虐の限りを盡した賊兵に空と陸から武威を示し遼西の曠野に渦巻き揚る砲聲、爆煙の中に容赦なく兵匪賊を殲滅し大空と大地に鯨波の凱歌を轟かした【奉天電話】

出動隊に引揚命令

法庫門、通江口方面の匪賊を殲滅して一段落した獨立守備隊は廿三日午後三時出動部隊全部に引揚命令を發した、なほ開原停車場に設けられた獨立守備隊臨時司令部も一兩日中に再び四平街に歸還する事に決定した、因に獨立守備隊第〇大隊、嘉村第〇旅團騎兵第〇聯隊の主力は二十二、三の兩日にわたり强行進軍の結果幾多の辛苦を嘗て輕少なる部隊を以てやうやく兵匪掃蕩の大任を果し森司令官の命に依り一先づ軍を收めて二十三日午後一時二十分法庫門を發し奉天に向ひ凱旋の途につくべく石佛寺方面に隊伍を集中し粛々として凱旋した【奉天電話】

地上五十米まで下降 亂射を浴びつ爆擊
替事中尉の豪膽振り

二十三日正午から金家屯の匪賊に對しわが軍が開始した總攻擊は昂々溪戰鬪に劣らぬ猛烈なものであつた、この戰鬪に參加した飛行隊の替事中尉の活躍は敵味方とも互に眼を瞠るばかりの驚くべき猛烈さで地上約五十米の上空に低下し兵匪の亂射亂擊を受けつゝ爆彈多數を投下し地上の攻擊を掩護し更に上空して天晴れな離れ技を演じ一機をもつてよく多數の敵を屈服せしめ得たのは實に感服の外はないと一同から賞讃を浴せられた【奉天電話】

法庫門附近の我部隊

法庫門附近に於けるわが部隊一、混成旅團は二十三日昭宿營し十四日鐵嶺に歸着二、獨立守備歩兵第二大隊三日夜十時奉天歸着の筈の李貝堡附近における戰軍曹小杉喜一、一等兵○同充一誠【奉天電話】

岩田部隊 けふ凱旋す

岩田中尉の率ゐる獨立守備隊第〇〇の兩隊は森司令官の命に依り威風堂々殊勲をたてた隊伍を整へて凱旋の途につき途中某地に一夜を明かし二十四日朝馬仲河驛に凱旋の豫定である【奉天電話】

營口支線破壞

二十三日午前十時營口守備隊の巡察兵は營家溝驛北方のレール約百七十米突が敵兵のため破壞されてゐるを發見した【奉天電話】

わが營口主力部隊 田庄臺に無事入城
公安局長ら喜び迎ふ

【田庄臺二十三日藤井特派員發】二十三日午前六時營口を出發した第〇〇聯隊第〇大隊の主力部隊及び溝城〇〇隊は隊伍を組み輕裝で衝いて出發したが途中何等匪賊らしきものを發見せず午後一時半田庄臺水源地に到着、その時河向ふの田庄臺方面に當つて絶えぐに砲聲が聞えてゐる、部落に休憩中水源地構内に敵の砲彈が落下し危險迫つたので直に凍結せる遼河を渡つて進擊を開始し午後三時無事田庄臺に入城した、桂大隊長は直に公安局長その他支部役人を呼び集め「わが軍は治安維持のため田庄臺に入城したが匪賊以外の善良なる人民に對しては何等害を加へるものではない」旨を訓示した、公安局長以下彼等は喜んで桂大隊長の訓示を受けた、わが軍は午後三時四十分より附近の匪賊掃蕩に着手、賊は田庄臺の西方驛附近より砲擊を開始し來つたので、水源地にある我野砲も直に應戰中、一方河北より北上した加藤支隊は途中兵匪に阻止されて居るもの、如く午後五時に至るも情報來らず憂慮されて居る

加藤支隊田庄臺に入る

田庄臺驛の敵の裝甲列車は頑强に抵抗したが遂に我軍に擊退された一方河北驛より北進した加藤支隊は途中幾度か敵の裝甲列車と交戰これを擊退し午後四時田庄臺に入り大隊主力と合したが、右戰鬪にて櫻井章一上等兵は左膝に砲彈の破片を受け負傷した【營口電話】

歡呼の聲に送られ 滿洲出動部隊門司を船出

【門司特電二十三日發】二十二日夜門司で最後の一夜を明した山本少佐引率の小倉〇〇第〇〇聯隊及び〇〇〇〇第〇、第〇兩〇〇〇〇大隊本部並びに第〇中隊は二十三日午前十時から東泰丸に乘込みまた百武大尉引率の久留米〇〇第〇〇隊と松岡大尉引率の小倉第〇〇中隊は二十三日午前十一時から第十一平榮丸に乘込んだが宇品から二十三日朝門司に入港炭水補給をなせる吳淞丸(小林少佐引率の姫路混成〇〇旅團搭乘)は二十三日午後四時、東泰丸は同四時半、第十一平榮丸は同五時相ついで門司を出帆〇〇に向つた、木原第〇〇師團長初め、官民數千名は「萬歲」「萬歲」を歡呼し盛な見送りをなし煙火、汽笛百雷の如し

待機中の出雲 能登呂旅順へ

【東京二十三日發】佐世保に待機中の能登呂、出雲は廿四日朝同地發旅順に向ふに決定した

閑院元帥宮殿下 參謀總長に御親補
首相恭しく職記傳達

【東京二十三日發】天皇陛下には二十三日午後二時宮中鳳凰間に出御、犬養首相侍立の上參謀總長並に軍事參議官の親補式を行はせられ、閑院元帥宮殿下に參謀總長に御親補の勅語を下賜、犬養首相より恭しく職記を傳達、次いで金谷大將に對する軍事參議官の親補を行はせられた

元帥陸軍大將大勲位功二級 載仁親王
補參謀總長

參謀總長陸軍大將正三位勲一等功四級 金谷範三
免本職 補軍事參議官

歐米に特使を派遣し わが對滿方針を說明
外交官、實業家から人選

【東京二十三日發】滿洲事變の一段落に伴ひ對滿政策は愈々建設期に入るので之を機會に歐米(米國一名歐洲三名)に特使を派遣し在外使臣と共に我國と滿洲との關係及び滿蒙新政權と之に對する我國の態度方針を非公式に說明し、帝國の立場を闡明ならしむる要ありとの幣が閣内の一部に主張されてゐる、右派遣員その他は既に大藏、陸軍兩省間で意見一致し、來春早々歐米に赴任する芳澤大使の外務就任を俟つて外交官、實業家から人選される筈

重大使命の 南大將京城入り
「自分の都督說など どうでもよからう」

【京城特電廿三日發】今後の對滿政策樹立の重大使命を帶び渡滿の途にある前陸相南次郎大將は河邊副官、河邊中佐を帶同廿二日午後七時着列車で入城、滿一年振の來鮮で舊知の地だけに非常に打ちとけ往訪の記者に對し次のやうに語つた

今は國民擧げて奮起すべき秋である、日本はつとに門戸開放を聲明してをり滿蒙の幸福のためには多大の犧牲をおしまぬつもりでそのためには是非統一した機關の設置が一日も早く必要である、統一機關の内容は經濟、外交、交渉の各部を具備したものでなければならぬ、朝鮮人の滿洲進展は滿洲自體のためにも必要で生活程度は高いが物に熱し易くさめ易い日本人より滿洲の進展にはより適してゐるここを認めねばならぬ、自分を滿洲都督などとしきりにいつてゐるが、いたづらにそうしたことを云ふことは世界列國或は支那からいたづらに猜疑の眼を以て見られるだけで

看板や名義はどうでもよいではないか、要は統一した機關を早く設けることが必要である今度は出來るだけ廣い範圍に觀察するつもりで又出來るだけ各方面の人とも膝を交へて語つて見たい、東京に歸るのは一月十日頃にならう

なほ同夜宇垣總督の晩餐會に臨み廿三日は林朝鮮軍司令官と會見し同夜七時廿分發で北行【寫眞は向つて左から南大將右が出迎への林軍司令官】

皇軍の南下で
チチハル附近氣遣はる

【チチハル二十三日發】出滿りつゝある馬占山の年内のチチハル入城は困難と見られ、一方皇軍の一部南下に伴ひ兵匪便衣隊の活動露骨となりこのまゝ皇軍撤退すれば第二の尼港事件を惹き起すべしとさて邦人の安危憂慮されてゐる

懷德附近の兵匪 討伐軍引き揚ぐ

去る十六日より懷德附近に兵匪討伐中の獨立守備歩兵第一大隊はその一部を同地に殘置せしめ二十二日午後三時滿鐵沿線に歸來した【奉天電話】

懷德縣兵匪を掃討し二十二日歸長待機中の野砲第〇〇聯隊第〇中隊は二十三日出動命令に接し午後八時三十分發、臨時列車で南下し某方面に向つた【長春電話】

長春飛行隊の 陸上勤務兵

長春獨立飛行第〇中隊陸上勤務兵〇〇名は廿三日後十時發列車で先發南下したが廿三日は航空隊〇〇機が早朝より臨時に南下某方面に向つた、なほ殘り三名の陸上兵も本日中には續いて南下の筈【長春電話】

多門師團長 吉林行を中止 南下す

二十二日夜來長した多門師團長は二十三日在長各部隊を檢閲後午後二時發列車で吉林に赴く豫定のところ事態急迫の爲めか吉林行を中止し午後四時十分發南下した【長春電話】

王樹常が待機命令
天津近郊部隊に

【天津二十三日發】王樹常は學良の命に依り錦州の形勢逼迫に伴ふ天津の治安維持につき天津近郊の各部隊に對し待機命令を發した、なほ天津の戒嚴時間を延長し又兵工廠は晝夜兼行兵器製造に忙殺されてゐる

邦人保護を 學良誓約

【北平二十三日發】矢野參事官は昨日張學良を訪ひ邦人の保護を要求せるところ學良は日本人には絶對的保護を加ふる旨約したさ

四國武官を 錦州へ增派

【北平二十三日發】英米佛伊四國公使は錦州の形勢逼迫に依り錦州派遣の武官を增加せしめて居る

學良兵工廠を 河北に建設

【天津二十三日發】張學良は滿洲事變で兵工廠を失ひ別にこれが設置に就いて考究中であつたが、いよく今回河北造兵廠跡に建設する事に決し工人六十餘名、外人技師數名により直に着手する筈

錦州政府興城 に辦事處設置

【天津二十三日發】錦州政府は過般重要書類を灤州に送つたが更に錦州の西南七十支里の興城に辦事處を設けた

新政府と 蔣介石

【南京二十三日發】蔣介石は昨日離京に際し當分郷里に隱遁政治に干與せぬと明言したが、蔣介石が新政府の重要役割を演ずることは確實だとされてゐる、而して新政府が學良に對し如何なる役を振當るか最も興味の中心とされるが新政府は學良を對日支那軍總司令に任命する模樣である

南京新政府財政 極度に窮乏
廣東派の責任重大

【上海二十三日發】第一次中央全體會議の閉會式終るや蔣介石氏は後事を孫力子氏其他腹心の者に托し責任を廣東側指導者に轉嫁して赤化へ引揚げてしまつた、會議進行と共に上海和平會議の決議案を中心に統一政府の組織が議せられるが、新政府組織の基礎的條件たる財政狀態は甚だ窮乏してゐる、發表し、上海辦事處は近く南京に移轉するに決し、財政部は財政部の活動を停止したも同然だが、之は毎月二千萬元の不足を告げてゐる政府收入が十二月に入つて更に減少の見込みである、且つ八千萬元の金融善後方針も目下のところ應募成績極めて不良で未だ見込み立たず、新政府へ責任を轉嫁するものと觀られ、愈々押詰つて成立すべき新政府の財政當局には何人が就任するか未定だが全國代表會議で國家財政に就いて宣言を發表し公債の元利償還を迫つてゐる狀態で新政府に課せられたこの難關は南京側の逃げ出しに依り主として廣東側の責任において處理せねばならぬこととなり廣東側に新財源捻出の方法なき限りまたも蔣介石派の手に乘ぜられるべき機會を作り出すことになるのではないかと觀られ又財界自體も極度の金融梗塞に惱んでゐる際各方面の注目を惹いてゐる

卽ち宋子文等財政部員の辭表提出後同部並に所屬各課は重要事務を停止し事務引繼の準備に着手し職員の俸給は二十二日まで支給し、それ以後は新政府に支拂はせる旨

國民政府は 三日内に成立す

【南京二十三日發】伍朝樞は本日記者に對し國民政府は三日内に成立すると言明した、新政府の首腦部は行政院長孫科、立法院長胡漢民、監察院長蔣介石に内定し、汪精衛は中央政治會議主席として實權を握ることゝなつてゐる、卽ち新政府組織は從來の政治機構に重大變革を加へ五院々長、各部々長を網羅する中央政治會議を中心としこれを汪精衛が總括せんとするのである、なほ伍朝樞は外交部長に推されてゐたが、廣東省主席に專心するため外交部長には陳友仁が當ることゝなつた

年關切拔けに 張學良惱む

【天津二十三日發】年關切拔けに頭を惱ましてゐる張學良は今回天津河北財政廳に對し年内に五十萬元の徵達を命じて來た

馬、張兩氏の協調 近く實現されん
齊克線鐵橋は近く修理
山西滿鐵理事視察談

チチハル方面に出張中であつた山西滿鐵總務部長は二十三日午前八時着列車で歸連したが氏は語る

チチハル城内は軍隊が守備してゐるので至極平穩である、商店も全部平常通り開店してゐるが城外は依然匪賊が橫行してゐるらしい、軍隊が時々討伐に向つてゐる、馬占山と張景惠との協調は一時兩者の間に色々經緯もあつたらしいが最近圓滿運ばれてゐるらしく年内或は正月早々張氏が赴齊就任することゝならう、奧地からの特産物は途中匪賊が多い爲めに少なからず障害となつてゐるらしい、齊克線道の橋梁修理も近日中に着手する由である、邦人は從來の在留民に公所關係者、囑託其他合せて二百名許りであるが皆一致して仕事してゐる、總裁の更迭問題を苦心配してゐるが内田總裁の如き滿蒙の昔からのことに精通した人物は他に到底得られないから是非留任して貰ひたいと云ふのが一般の意見である

特輯「滿蒙維新提唱」號
滿蒙 新年增大號 十二月二十三日出來

滿蒙時局を題材とする四大雄篇

別添附 「滿蒙」總目次(自昭和六年一月號第百二十九冊 至昭和六年十二月號第百四十冊)

社說

滿蒙樂土の宇宙觀的根據
東洋文化の確立 西洋文化の助成

目下世界人の悩みは思想難さ經濟難にある。此兩難は何から來るか。帝國主義、資本主義から來て居る。帝國主義、資本主義は希臘に始まり、羅馬に成長し歐米近代國家の發達によつて成熟した。大體白人文明の所産である。白人文明は元來宇宙の差別觀から發生したもので、萬物反撥爭闘の一面を見て、其融合和平の一面を閑却するに傾く弊根は其處にある。帝國主義さ資本主義さが爛熟して、其弊害甚大、人類の苦惱爲めに窮極するに及び、之れが救濟法さして社會主義を生じ、又共產主義を生んだ。併しながら此の社會主義や、共產主義も、亦同じく差別的宇宙觀に根柢を置くもので矢張り爭闘主義たるを免がれない。いくら理論は巧みでも、爭闘主義の輪環を廻つてあるいて居る限り、人類の悩みを根本的に救ふ事は出來ない。寧ろ益々深刻になる。見よ平和運動の如何に旺盛なるかを。而して世界平和機關の、乃至平和的條約の既に設立され、又設立されんさするものの如何に多きかを。之れ皆世界人の苦惱の多大なるを示すもので、且つ之れを脱却せんさする希望の旺盛なるを示すものに外ならぬ。而して更に見よ、それらの結果が毫も其の目的に叶ふものにあらざるを。和平會議はいつも闘爭會議である和平條約は闘爭條約のまやかしものである。

◇

世界人懊惱脱却の途は、闘爭主義の輪環を破つて、其埒外に出づるより外にない。眼光を別方面に放つて、人類の生きる途を他に求むる外にはない。卽ち全然異なつた方面、平等的宇宙觀に立つ融合和平の人生觀に立脚した救濟方法を求めるより外はない。白人中の識者は既にそれに氣附いて居る。而して其爲めに東洋的文化に眼を向けて居る。無意識的に或は意識的に。但し彼等の差別觀的爭闘主義は病既に膏肓に入りたりさも云ふ可く、容易に彼等の脚下に纏まる紅糸線を斷離する事が出來ないのである。

◇

此處に是非共引合に出さればならないのは佛教さ儒教である此れは差別卽無差別、不平等卽平等の宇宙觀人生觀から流れ出たもので、全く東洋人の所産である。別に道教もある。之れも矢張り平等無差別觀に出發す。吾々日本人さしては神道を殊に顧念せねばならぬ。是れ亦和平的、無差別的の宇宙觀人生觀に根原を發し、佛教、儒教、道教に培はれ、最近には基督教も、歐米の科學思想も入つて來た。是れが日本人の對世界的理想の根柢を爲す。佛教も道教も儒教もすべて大に頽落して年既に久しい。本來の平等無差別觀を忘れて、極端な差別的不平等に捉はれた。それが今まで東洋の振はざる所以。西洋文明に壓せられた所以である。吾々東洋人は今や覺めればならぬ。一旦頽落して迷ひ込んだ差別觀の眼から見た爲めに、西洋の差別觀の成熟相を見て羨ましくなり、それに做はんさしたが、今や本家の西洋でそれが動搖して居るではないか。東洋人は東洋人の本來の面目を見ればならぬ。而してそれによりて西洋人の、爲さんさ欲して爲す能はざる所を助成してやらればならぬ。此れが我日本國民の世界的使命である。此信念を信念さ爲す事によりてのみ、日本は生きる。生きて世界の光さなり得る。

◇

闘爭に飽きた西洋人が、如何に和平を欲するかは前にも例證した。彼等が如何に平等を欲するかは、其政治に立憲主義を發明し、其經濟に社會主義を發明した事によつて證明し得る。政治に選擧制を作り、選擧制には比例代表法、又は職業代表法などを案出するか、いくら考へても政治平等權の理想には遠いものさなる。經濟に私有制自由競爭法を確立し、公平を期する爲めに法律さ司法さを如何に巧妙に案出しても、民衆生活の不平等は益々募る。共產主義まで進んで見ても、矢張り階級闘爭が出で、眞誠の共產、公平和洽には益々緣が遠くなる。

◇

滿洲に世界人の樂土を作るが理想ださいふ事は、今や日本人一般の認識する所で、これが其信念さならんさする。曾つて田中外務大臣も之れを唱へた。今は我外務省も軍部樞要の人士も皆之れを高唱して居る。近時發生した滿洲新政權の中心人物も、亦皆之れを唱道して居る。樂土さは何か。現在世界人の苦惱から解放された地方、さいふより外に意味はない。經濟難、思想難より解放された土地である。現在世界人の均しく望んでしかも世界のどこにも未だ見られない光明地域の意味である。帝國主義資本主義の弊害を超越した地方である。差別を絶し、不平等を斷ちたる別天地である。

◇

國境を見ず人種を見ず、新國家であるさ共に、新天地である世界の模範區域である。此の新天地の實現によりて滿蒙が救はるゝのみならず、日本が救はれ支那が救はれ世界が救はれる。今や此の大使命が日本國民の双肩にある。固より斯くの如き大理想が容易に完成しやうさは思はれない。併しながら此信念を持ちて、此理想に一歩を進むる事によりてすら、既に日本の經濟國難、思想國難を救ひ得る。但し此理想に到達すべき方法はまだ〳〵研究されて居ない。吾々日本國民は大に此れから研究せねばならぬ。始めには、卑近細小な所から着手せねばならぬが、それにしても、此大理想を根柢に置く可きである。新滿蒙の曙光が其處に發見される。

警察官の採用
一讀者

◇この度の事變以來警察官は日夜不眠不休で嚴寒の今日東奔西走その任に精勵しつゝあることは筆紙に盡すを得ず、我等在滿居住民は感謝に堪へざる次第なり。警務當局においては最近漸く二百名の増員を決定し過般內地及び當地においてこれが募集中の由なるもこれらの新採用者を一定期間教習し養成して而して後警備の前線に立たしめんさするは時局多事の秋に際し聊か緩慢の感なきや。

◇現在の如き特殊の時局に際しては從來の巡査募集の方法を變へて現在滿洲に居住する前職警察官を採用すれば、これらは多年の修養さ經驗さにより、今日任命すれば今日より立派な警官さして用に立ち一時一刻を急ぐ昨今最も當を得たる處置ならずや。

◇新しく採用されたる警官が完全に巡査さして活動し得るまでには少くさも二ケ年を要するや明かなり、殊に內地より始めて採用されて渡滿し來れるものに在りては、言語、氣候、風土等の關係より更に一層訓練に長期間を要するものあらん。

◇これに反して當地に在る前職者をもつてせば、一度職を退きたるものなりさはいへ、警官さしての經驗さ膽力に富み、また相當の年齡に達したるさはいへ、最早や人生の七八分を終へたるものにして、生あるもの必ず一度は死すべきもの、この際死すは國家のためなりさの覺悟を充分に有するや明らかなり。

◇警務當局に於てはこの點を充分考慮研究の上、一刻も早く相當修養あり經驗ある警察官を現地に送り、沿線各署の現在を助力することこそ、刻下の急務たるさ同時に居留民一般の切實なる希望なり、敢て一書を投じ首腦部に一考を促す次第なり。

最早や議會解散は疑ひを容れず
民政の正副議長獨占

【東京二十三日發】第六十議會は解散氣構裡に二十三日召集されたが犬養內閣成立後日尚淺く議會の中心題目たる明年度豫算案の如き行政整理を初めさし大部分前內閣の編成になるものをその儘踏襲してゐるので議會が順調に進行するさすれば朝野論戰の主題は一に金輸出再禁止問題に集中されるわけだが、現下の大勢より見れば犬養內閣組閣早々に敢行した金の再禁止は正金の弗賣持ち一億七千萬圓の善後處置問題にもその一端が窺はれるもの丶如く、時日の經過に連れて朝野兩黨の政策的對立も一切の妥協を許さざるに至つて唯一の緩みの綱も絶たれた狀態に置かれてゐる、まして野黨が絶對多數を擁して召集日の議長副議長選擧を獨占するに至つては最早や解散必至は何人も疑ひを容れざる處さなつた

衆議院議長に中村(啓)氏當選す
副議長に增田義一氏

【東京二十三日發】衆議院の議長選擧は既報の如く田口書記官長議長席につき二十三日午前十時二十分から行はれたが、開票結果左の如し、投票總數四百三十票

中村啓次郎(民政)
河波荒次郎(民政)
河西豐太郎(民政)
木下成太郎(政友)
藏園三四郎(政友)
菅原傳(政友)
松谷與二郎(無產)
鷲野米太郎(國同)
堀部久太郎(國同)
瀨川嘉助(政友)
小山松壽(民政)
豐田收(政友)

さなる、卽ち中村啓次郎氏大多數を以て第一候補に當選、次いで河波、河西、木下、菅原四氏より第二候補選擧の投票に入り再び堂々廻りに入る、開票の結果(投票總數三四六票)

河波荒次郎(民)
河西豐太郎(民)
菅原傳(政)
木下成太郎(政)

さなり決選投票の結果河波、河西兩氏候補さなり零時二十五分休憩

午後一時廿四分再開、午前さ同樣田口書記官長議長席に着き副議長の選擧を行つた結果(投票總數三四三票)

增田義一(民政)
佐竹庄七(民政)
菊池良一(民政)
津崎尚武(政友)
中谷貞賴(政友)
清水銀藏(政友)

その他三尾邦三の二票、松山常次郎、大石倫治、一瀨一二、田昌、大野、堤、松田、定塚各々一票さなり第一候補に增田義一、第二候補に佐竹庄七、第三候補に菊池良一氏當選、斯くて正副議長候補を政府に通じ近く正式に任命を待つこととして午後二時二十三分散會した

正副議長の勅任傳達式
宮中南溜間で

【東京二十三日發】衆議院では二十三日召集に當り正副兩議長選擧を行ひ中村啓次郎、增田義一兩氏當選、田口書記官長より內閣に通達し上奏御裁可を仰ぎ卽日午後五時宮中南溜間で勅任傳達式を行ひ犬養首相より勅任の辭令を傳達された

正五位勳三等 中村啓次郎
議院法第三條ニヨリ衆議院議長ニ任ス

增田義一
議院法第三條ニヨリ衆議院副議長ニ任ス

光榮の至り
中村新議長談

【東京二十三日發】二十三日衆議院議長に當選した中村啓次郎氏語る

余は圖らずも衆議院議長の重責を拜命することになつて光榮の至りである、今や國民の視聽は悉く帝國議會に集注されその一擧一動はこれが本來の目的以外に國民思想の上にまで重大な關係を有するのであるから議會の品位を向上し憲法政治の發達の上に貢獻せんさするその責任の重大なるを思ふ場合自分の如き微力短才の者が果して能くその重責を遂行し得るや否やを衷心虞れてゐる、併し同僚多數の推薦を以て既にこの重職を忝うした以上至誠を傾倒公正事に當り大過なきを期し度いさ思つてゐる

貴族院
全院委員長と豫算委員決定

【東京二十三日發】貴族院は二十三日午後三時各派交涉會の結果左の如く決定した

▲全院委員長松平賴壽▲豫算委員(火曜)一條實孝公、大隈信常侯、細川護立侯、中御門經恭侯、松平康昌侯、佐々木行忠侯(研究)柳澤保惠伯、兒玉秀雄伯、酒井忠正伯、大久保立子、裏松友光子、西尾忠方子、八條隆正子、前田利定子、秋元春朝子、岡部長景子、花房太郎子、秋田重季子、野村益三子、秋月種英子、小松謙次郎、大谷尊由、山川端夫、山岡萬之助、大橋新太郎、藤原銀次郎、糸原武太郎、森平兵衞、濱口儀兵衞、風間八左衞門、八馬兼介(公正)坂本俊篤男、大井成元男、藤村義朗男、千秋季隆男、井上清純男、伊江朝助男、井田磐楠男、渡邊汀男、松岡均平男、深尾隆太郎男(同和)石塚英藏、上山滿之進、倉知鐵吉、有吉忠一、赤池濃、尾崎元次郎、田所美治(交友)南弘、石渡敏一、川村竹治、竹越與三郎、森田福市、橋本圭三郎、長岡隆一郎(同成)高廣次平、丸山鶴吉、藤澤幾之輔、平田吉胤、菅原通敬

民政黨の各委員長

【東京二十三日發】民政黨の全院委員長並に常任委員長候補者及二十六日開院式當日の勅語奉答文起草委員長候補者は左の如く決定した

勅語奉答文起草委員長荒川五郎▲全院委員長鶴澤宇八▲豫算委員長川崎克▲懲罰委員長藤田若水▲請願委員長永田善三郎▲決算委員長岡崎久次郎

年內議會繰上の交涉

【東京二十三日發】政府は年內議會最終日二十八日を一日繰上げ二十七日さし度き意嚮で與黨民政黨その他に交涉中なるが大體政府の意嚮通りに決定する模樣である

議會の卽時解散要求
全國勞農大衆黨代表

【東京二十三日發】全國勞農大衆黨麻生、中村、三輪、鈴木の諸氏は松谷、淺原、大山三代議士の紹介にて廿三日午前十一時院內大臣室に於て犬養首相さ會見未曾有の經濟恐慌さ滿蒙事件を前にして帝國主義政策に因る重荷を無產階級に負はしめんさする六十議會に對し我黨は階級的立場より卽時解散を要求するものなりさの決議を提出した、これに對し犬養首相は趣旨には贊成であるが議會解散は慣例もあるが政府は政策本位を以てこれに臨むものなり、解散の事は豫め申し難いさ回答した

年內兩院日程

【東京二十三日發】貴衆兩院年內の日程左の如し

貴族院 二十四日及び二十五日休會、二十六日午前十一時開院式を擧行二十七日日曜なるも特に午前九時より本會議を開會、勅語に對する奉答文を議決し議長參內これを捧呈、同日全院委員長の選擧を行ひ各常任委員を選擧して散會、翌二十八日より明年一月二十日まで休會

衆議院 二十四日成立を告げ二十五日休會、二十六日開院式終了後本會議を開き奉答文を議決、二十七日午前十時開會、全院委員長及び常任委員の選擧を爲し各部に於いて常任委員長及び理事の互選を爲し散會一月二十日まで休會

けふの衆議院
部長理事選擧

【東京二十三日發】二十四日の貴族院は休み、衆議院は午前十時開會、中村新議長議長席に着き抽籤に依り各部屬を決定一旦休憩部長理事の選擧を行ひその結果を議場に報告して成立しこれを政府並に貴族院に通告して散會するはずである

滿洲事件費や警察官の增員費
第二豫備金より支出

【東京二十三日發】政府は二十三日左の第二豫備金支出の勅裁を經たる旨公布した(單位圓)

一、滿洲事變に伴ふ警察官增員費 三三二、〇八一
一、滿洲事件費(陸軍所管一月までの分) 二、一九四、九二三
一、中華民國臨時艦艇派遣諸費補足費 一九九、五七九

きのふの閣議

【東京二十三日發】本日の閣議は午後三時二十分首相官邸に開會、犬養首相以下出席、荒木陸相より滿洲事變に依る死亡者特別賜金に關し提案し別項の如く決定後新解國勢調査記念章制定の件を決定次で豫算編成につき協議の結果各省の復活要求は追加豫算さして要求するに申合せ、次いで大角海相より旅順方面の情勢を報告し、軍艦能登呂、出雲を旅順方面に出動せしむる事に決した旨を述べ承認を求め更に當面の重要問題を協議し四時過ぎ散會した

軍人軍屬死亡者に賜金附與

【東京二十三日發】二十三日の閣議で十一月八日より二十五日まで支那駐屯軍陸軍輸送部大沽出張所に屬する軍人軍屬託者職工にして滿洲事變に關聯する職務執行中死亡したものにも賜金を附與する件を附議決定した

府縣學務部存置
院內閣議で決定

【東京二十三日發】前內閣行政整理の結果、地方各府縣特に重要な縣を除き學務部廢止に決定したが、新內閣は地方教育の重要性に鑑み前內閣の方針を覆へし府縣學務部全部を存置する事に二十三日院內閣議で決定した

商工省貿易局復活に決定

【東京二十三日發】前內閣で廢止に決した商工省貿易局は本日の閣議で復活存續に決定し其の費用四千六百圓は追加豫算に計上される筈である

犬養首相組閣奉告のため西下

【東京二十三日發】犬養首相は組閣奉告のため二十七日東京發西下伊勢神宮、畝傍御陵に參拜二十一日歸京の豫定である

犬養さんを圍み わが黨內閣萬歲
昔の戶籍滅茶苦茶の由來
議會召集日の橫顏

▼…【東京二十三日發】今日第六十議會召集日、目まぐるしかつた政界變轉の後を受けて先づ議長選擧解散豫想の前哨戰だ、此の日議員登院の一番乘りは例に依つて坂東幸太郎氏、午前六時五十分霜を踏んで衆議院玄關先に現はれ守衞君を驚かす、安達一黨の脫黨組を加へた第一控室は革新、無產、資本黨、協力派の雜居さなつて其の賑やかなこさ杉浦武雄氏が松谷與二郎、西尾末廣氏等に「ど〳〵宜しく」さ握手して廻るが御大安達謙藏、富田幸次郎、中野正剛の諸氏はさうさう姿を見せなかつた

▼…十時五分前犬養新首相が健祕書官を連れて政友會控室にフロツク姿で現はれるさ並居る代議士連一齊に萬歲を浴せ我黨內閣の氣分を橫溢させる、其の政友會の院內代議士會で久原幹事長が總裁指名の議長副議長候補を讀み上げ菅原傳、木下成太郎、藏園三四郎迄は靜かだつたが副議長津崎尚武、中谷貞賴、清水銀藏さ來るさ一同ゲラ〳〵笑ひ出す、某議員が「笑ふなんて失敬だぞ」さ憤慨するさ鳩山新文相「御當人が笑つてゐるんじや喧嘩にならんよ」成るほど清水銀藏氏がゲラ〳〵笑ひ崩れてゐる、一同これを見てドツさ笑ひ崩れる、實に賑かな氣分

▼…最年長者で議長席に着く大分縣の德原豐彥老(民)何しろ補缺で出たので議院を覗くのも今日が始めて眞鍋代議士に「オイ議長の作法を敎へて呉れ」さあつて眞鍋氏から長講一席、その眞鍋氏後で「彼の人は七十九さ云ふが此の間選擧區に行つて聞いたら今年八十五の老人が德原さんはワシが生れた時は大きな子供だつたよほんさは九十二ださ云ふんだ昔の戶籍は無茶苦茶さ見える」

凶作の東北地方救濟義捐金募集
きのふ關係者の申合せ

北海道および青森、秋田、岩手の東北地方は三十五年以來の大凶作さいはれ喰ふに食なく餓を充たすに困難な窮狀は實に言語に絶せる悲慘事で畏くも天皇陛下には御救恤金を御下賜になり內地各方面に於ても必死の努力を爲しこれが救濟金募集を行つてゐるが殊に關東軍下の北滿に於て活動してゐる第二師團および第八師團下の將兵がその家庭の爲め給與金を注りつゝありさ云ふに至つては大連市民さしても到底默過し得ざる處さし二十三日午後三時より市役所に各關係者集まり辛島大連民政署長、小川市長、村井商工會議所會頭、岩井在鄕軍人聯合會長、實性大連、松山滿日兩新聞社長、岡野青森、石田秋田、藤根岩手各縣人會長、北海道關係有志を發起人さし義捐金を募集すべく申合せた、右義捐金は一口五十錢以上任意さし各發起人で受付けた義捐金を市役所に於て取纏め寄附者の氏名は大連、滿日に廣告し受領證に代ふる事、募集締切期日は來年一月末日さしなほ義捐金の處分は發起人に於て御下賜救恤金の配分率および內務省の調査、道縣の被害程度を斟酌し適當に分配する事にした

年末の貸出高十億圓臺を豫想
廿三日繰越の日銀帳尻

【東京二十三日發】二十三日に繰越された日銀帳尻に依るさ兌換發行高は二千五百五十四萬九千圓增加し十一億八千四百六十二萬二千圓、貸出高二千四百五萬圓を增加し早くも九億圓臺を突破し九億一千六百六十三萬四千圓さ云ふ三年十二月以來の最高を示した、何れも節季接近から準備需要が逐日增加してゐるに依るが今年末最高貸出高は十億圓臺を豫想さる

在支邦人代表
實業團と懇談

【東京二十三日發】曩に上海で開かれた全支日本人居留民大會の決議を齎し上海代表は過般入京各方面さ懇談陳情中なるが本日實業聯盟さ懇談會を開き居留民大會決議の支持を約し更に支那各地に國際都市建設の必要を力說した

フーヴァー案

【ワシントン二十二日發】フーヴァーモラトリアム批准案は本日六十九對十二票の大多數の差で去る十八日下院で採擇された修正は決議案の儘で上院を通過した

米下院休會

【ワシントン二十三日發】アメリカの七十二議會(下院)は本日休會した休會明けは一月四日である

ロシアが新に外債募集計畫

【ハルビン二十三日發】歐露よりの歸來者の談によれば露國政府最高國民經濟委員會は外債の償還、クレヂット設定に困難の結果、帝政露國の舊債務を承認これを償還する代償さして米、佛に於てクレヂットを設定すべく計畫中である

村上鐵道部長歸連の途へ

村上滿鐵々道部長は總務事務同行二十二日吉林に赴き二十三日午後八時三十分着(二十五分遲着)列車で歸長、同十時發列車で歸連の途につき石原洮昂顧問も同車したなほ石原氏は四平街にて下車の筈【長春電話】

三浦內務局長ゆふべ奉天へ

三浦關東廳內務局長は二十三日夜行にて[illegible]同伴奉天に向つたが右は今回來滿した南大將出迎へ並に關東軍さの時局に關する協議のためで二十七日歸任の豫定

大連錢信の株主總會

大連錢鈔信託株式會社の定時株主總會は二十三日午後三時半より開催され、第二十九期營業報告書、貸借對照表、財產目錄、損益計算書、及び利益金處分原案通り承認可決した、利益金處分は左の如く、そのうち取引人獎勵金は一萬四千圓にして、出來高減少のため前期並に前々期より六千圓を減ぜられ、株主配當率は從前通り年一割である、なほ元專務取締役高崎弓彥氏及元取締役伊藤久太郎氏に對する退職慰勞金贈呈の件は重役一任さなつた

利益金處分

項目	金額
當期純益金	一〇七、九八八
前期繰越金	四一、七四三
合計	一四九、七三一

此處分左の通り

項目	金額
法定積立金	五、四〇〇
命令積立金	一〇、八〇〇
使用人退職手當基金	四、〇〇〇
役員賞與金	九、〇〇〇
株主配當金	六二、五〇〇
取引人獎勵金	一四、〇〇〇
後期繰越金	四四、〇三二

定期敍位

【東京廿二日發】定期敍位左の如し

敍從二位 正三位 鈴木貫太郎
敍正三位 從三位 床次竹二郎
敍從三位(各通) 正四位 荒木貞夫 從四位 秦豐助
敍從三位(各通) 正五位 鳩山一郎 正五位 前田米藏
敍從四位(各通) 正五位 森恪 正五位 島田俊雄

大觀小觀

滿らざりさ政民兩黨、朝野立場をかへて第六十議會の幕ひらく▲されど衆議院四百餘顆顱の陳列は例によつて團栗の背較べ期待する程の感激もなく▲また氣度の議會、果して解散か非解散か與黨野黨互に力むには力めども實は強がりさ敗惜しみの角突き合せのみ▲蛙鼓蟬噪の日比谷座の舞臺に登場する俳優たちの熟練程に第三者は面白くも可笑しくもなし▲「實出しのチンドン屋踊り行くよ暮の町」▲恒例の議員總會で政友の犬養總裁「前內閣の行き詰まれる政策を先づ以て訂正した後にあらざれば建設に向つては進み難し」さ啖呵を切る▲これに對して民政の若槻總裁「野に下るさ雖も政局安定の鍵は依然さしてわが黨にあり」さ嚇く▲啖呵もよし、嚇くもよし、而も前者に少數黨の悲哀あれば後者に多數黨の惱みあり▲双方口先ほどに眞の元氣なきは事實政黨さいふもの丶實力が餘りによく判り過ぎた今日だけに、斯ういふ老人たちの空元氣も一般國民に取つては寧ろ滑稽▲「年の瀨や[illegible]の估券擲げて落ち」の嘆ながらす▲建設期に入る滿洲問題を提げてわが朝から歐米へ特使派遣の議起る、第一の適任者さして松岡洋右君にあり矣▲幾ら老人全盛時代でも今更に金子堅太郎でもあるまい、鶴見祐輔また手に睡きせん▲いけ序にモウ一人誰れかやけの候補者はありませんか▲「手も口もたゞいそがはし師走人」

本日臨報を添ふ

市況(廿三日)

株式
東新引緊り 地場株保合

內地主力株の大引强調を入れて當市の東新は三圓高に引締つたが地場株は保合であつた

後場 ◇延取引(單位十錢)

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錢鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

特產
銀萬と共に一齊反落

後場の定期は銀高を眺めたるさ前場暴騰の後を受けて一齊に反落商狀を呈した

◇定期後場(銀建)

▲大豆(反落)單位厘 — 限月 寄付 高値 安値 大引: 十二月末、一月末、二月末、三月末、四月末 [illegible] 出來高 二百六十九車

▲普通大豆 出來不申

▲豆粕(軟調)單位厘 — 三月限、四月限 [illegible] 出來高 二萬枚

▲豆油(保合)單位錢 — 一月限、三月限 [illegible] 出來高 六千箱

▲高粱(軟調)單位厘 — 十二月末、一月末、二月末、三月末、四月末 [illegible] 出來高 二十七車

▲包米 出來不申

◇現物後場(銀建)

品名	寄付	大引
混保大豆(袋込)	四六六〇	四五八〇
出來高	五十車	
普通大豆(袋物)	四五九〇	四五七〇
出來高	五車	
豆粕	一六一五	一六一〇
出來高	五萬七千枚	
豆油	一一五〇	一一四五
出來高	二千箱	
高粱	出來不申	
包米	出來不申	

錢鈔
寄安引高 大巾保合

日米爲替同事を入れ一時七圓臺を割つたが引際縮りにて大巾保合

◇定期後場 期近・遠期 [illegible] 出來高(期近)三十三萬圓(遠期)五百卅七萬圓

◇現物後場 一時半・二時半・三時半 銀對金・銀對洋・金對洋 [illegible] 出來高(銀對金)十八萬八千圓(銀對洋)一萬圓

商品
綿糸軟り 麻袋變らず

●綿糸 大阪三品大引は前場に比し各限一圓擦み高さ引締り當市は利喰ひさ新規買に相當手合せをみた

銘柄	約定期	値段	梱數
綿糸	二月限	[illegible]	[illegible]
同	三月限	[illegible]	[illegible]
同	四月限	[illegible]	[illegible]
出來高	二百梱		

●麻袋(延取引)

銘柄	約定期	値段	枚數
麻袋	一月限	[illegible]	[illegible]
同	二月限	[illegible]	[illegible]
同	三月限	[illegible]	[illegible]
出來高	七萬枚		

奧地市況
現物 ▲奉天票 九五〇〇

市場電報
現物 ▲奉天大豆 [illegible] 先物 ▲安東 [illegible] 當限・先限 ▲哈爾濱 [illegible]
神戶特產 大豆現物・先豆粕現物・先豆粕・滿洲小麥・豆油現物 [illegible]
東京株式 寄値・引値・高値・安値 [illegible]
大阪株式 銘柄 大株新・鐘紡新・東株新・日糖・郵船 [illegible]
大阪綿糸 [illegible]
橫濱生糸 [illegible]
大阪期米 [illegible]
神戶期米 [illegible]
東京期米 [illegible]

お餅は「註文濟みですか

搗かせた二升のお鏡の大さや目方はどの位あるのでせうか

皆さんご存じです？

一九三一年も餘すところ僅かとなり主婦はお正月の準備で益々忙しくなりました、さて今年の大連市における糯米の相場、搗賃はどんなでせうか、内地肥前糯米が組合協定で一升（搗賃とも）四十三錢となつてゐますが、店によつては十三錢のところを十錢で搗き市内各家屋を搗き歩く餅屋さんはこれより安く七、八錢位で搗きます、糯米も内地肥前、肥後滿洲米、臺灣米、支那米とありますが何といつても餅の力さきたら内地米に及ぶものはありません、滿洲米は臺灣米に比べますと搗いてブツくがなく色も白く體裁もよく、見たところ内地米と變りはないやうですが、たゞ力のないのが弱味で一升十八錢が相場となつてゐます、然し臺灣米になりますとブツくがあり、見たところ體裁はよくありませんが力は内地米と餘り變らない位で一升二十一錢位で求められます、支那米は今年は水害のため凶作で、現在

支那米 とあるのは香港から來たもので普通支那米といふのは上海米で、搗き上げてもブツくが澤山あり體裁の點から申しますと内地米とは全然比較にならないのです、この香港米は普通内地米ですと一日水に浸して置けばよいのですが、これは二日位浸けて置かねばなりません、さうすれば綺麗にブツくも少く出來上ります、この香港米は支那（上海米）米に比べますと甘味もあり味もよく十七錢位で求められます、これも例年ですと支那米はうんと安く手に入るのですが、今年は水害のため凶作だつたのとそれに加へて最近銀暴騰の結果殆ど滿洲米と同額となつて居ります

お餅も お餅屋さんにまかせきりで一升のお重ねがどの位の大きさかも知らないでは物足りないのですが、近江町木村屋主人は主婦のために次の樣に話してゐます

お鏡各種の寸法は一合直徑一寸二合同二寸、三合同三寸、五合同四寸、一升同五寸、一升五合同六寸、二升同七寸、五升同八寸、六升同九寸、九升同一尺、一斗同一尺二寸となつてゐます、今までは餅一升の重量は四百五十匁としてゐたのですが實際の

重量は 五百匁なので最近では五百匁として計ります、三寶を求めます時は餅の直經より一寸ほど大きいものを求めればよいわけです、然し一升のお餅は五百匁となつてゐますが、これは搗いた時の目方で翌日になりますと水分が蒸發し乾くため二、三十匁位は目方が減るわけです、小餅五升の目方は二貫五百匁で、小餅は配達する時に目方にかけられるのですから二百五十匁はたしかにあるわけです伸餅一升五合の重量は、七百五十匁でこれは固くなるに從つて

目方が 減ります、餡餅は一升で三十三箇出來る事になつてゐますが、お砂糖加減は人の好みによつて違ふわけですが三百匁を入れるとして四十五錢、餅米一升のあんもち（三十三箇）は九十錢でき上ります、この標準量さへ知つてゐましたら、お餅屋さんに何斗注文いたしましても胡魔化される心配もなく安心して注文されます

月極讀者に カレンダー贈呈

美麗な本紙新年附錄

本紙新年附錄として昭和七年の實用カレンダーを月極讀者に限り贈呈致します。第一回は一、二、三月分を新年勅題『曉雞聲』に因んで特に意匠を凝らした臺紙に美麗なる風景寫眞を撮り入れ裝飾と實用とを兼ね御家庭用として最もふさはしいものと信じます

滿洲日報社

子たち向きの Xマス料理（下）

樂しませてやるに相應しいでせう

ロースト・ターキー

製法 七面鳥を求めますに良質のはクリーム色をして居り、胸の骨はしなやかで足も柔らかです、雛鳥は針のやうな毛で覆はれてゐますが老鳥は毛髪のやうな毛が生えて居ます、永く冷藏庫にあつたものは眼がくぼんでゐます、先づ丸燒にする七面鳥の毛を抜き、毛燒をし、次にお湯でよく洗ひ内臓をとりだすため頸と足を切り去り、頸の皮を胸骨の處まで切りさきそれから其の内の頸を切りおとします、次に肛門の方から内臓を抜き取り腹の内をよく水洗ひし綺麗になりましたら布でよく拭き内部にスタフィングを詰め込みまして針で縫ひ止めます、次に頸の皮の部にも同じやうにスタフィングを詰め針で縫ひます、兩方の上肢を脊中の方に向け、兩足は出來るだけ高く上げ串で止め糸で結びつけ胸部によくバターをぬり、その上に鹽、胡椒を振りかけ蓋のある燒鍋に入れて天火で燒きます、それでも柔かにならない場合は蓋をとつて一時間或はそれ以上燒きます、七面鳥の代りに鷄を丸燒にしてもよいのです。

キャンドルサラダ

製法 各自の皿にレタース（チサ）を敷き、其上かなり厚い切れのパイナップル（罐詰）を一切れのせ、中央にバナナを半分蠟燭のやうに立て、其の先へ赤いチェリー（櫻桃）をのせ楊子にてさめパイナップルのまはりにマヨネーズをかけて供します

プラムプディング

▲材料＝クラムス（古いパン屑を細かく碎いたもの）半斤、熱い牛乳カップ一杯、砂糖四分の一斤、玉子四個、乾葡萄（種のない物を刻み粉をまぶし附け）半斤、カーランツ（小粒の乾葡萄）四分の一斤、無花果（細かく刻み）同上、枸櫞（シトロン）細かく刻み大匙二杯、牛脂半斤、ブランデイとワインの混ぜたものカップ四分の一、ナツツメッグ茶匙半杯、肉桂茶匙四分の三、クローブ茶匙三分の一、メース同上、鹽茶匙一杯半

製法 牛乳の中へクラムスを浸し、冷ましてから砂糖、玉子の黄味（打ちて）乾葡萄、カーランツ、無花果、枸櫞、牛脂（きざみて）少量のクリーム等を加へ良く混ぜ合はせ他の品々を全部加へ、バターを引いた型に入れ白味を堅く泡立てゝ混ぜ込み蓋をして六時間程蒸して供します

アサヒノボル

中溝しんいち作　河野さとし画　（十七）

一　タマガ　ダンダン　アックナッタノデ　チットミテヰルト　ヘンナ　オテラノウラノモリノナカノ

二　クサノアヒダニ　オホキナイシガ　アッテ　ソノイシノナカニ　フシギニ　モ　アリアリト

三　ヰナクナッタ　オトウサント　オカアサントニイサントガ　シバラレ　クヤシサウニ　ウツムイテル

四　アット　オモッテ　タイチャンハ　イソイデ　カケダサウト　シタラ　モンガシマッテ　デラレナイ

おはなし　蟻とろば（上）

平方久直

あゝ、あついなつの日に、蟻がどこでひろつたか、蝶のしがいをえつちやら、ほつちやらひいてゐました。

のどはかはくし、くたびれもしたし、どこかに水でもないものかと、ハアくいひながら、ちよつとした葉かげで一ぷくしてゐると何かごろりと目の前へなげだされました。

みるとそれは、人間のたべた梨のすいでした。

このお百姓も、かんくてりつける日に、一休みして、この梨でのどをうるほしたのです。

よろこんだのは蟻で、さつそくとんで行つてかぶりつきました。

そして、ちゆうくとすもおいしさうに甘いしるをすふのでした。やうくいきがへつて蟻は、知らん顔をしてゐるお百姓に、心からお禮をいつて、またえものをひきはじめました。

よほど行つたところで、一ぴきのろばにあひました。

もう夕方でした。

「いゝおてんきでしたね、ろばさん」

と、蟻はさけんよく聲をかけました。

ろばは、

「ふん」

と云つて、白い綱のやうないきを、はなからはいて、蟻を見下しましたが、

「いゝおてんきだつて、おいらおもしろくもないや」

と、ぶんくしてゐるのです。

「何をおこつてゐるのです？」

と蟻はさゝきました。

「おいら、この世に人間なんてひどいやつがゐなけりや、どんなにゆくわいだらうと考へてゐたんだよ」

蟻は黒いめだまをくろくさしておどろきました。

だつてあのおいしい梨のすいをなげてくれた人間樣を、こんなふうにわるくち云ふのですもの——

「なぜまたそんなさんでもないことを考へたのかね」

「なぜもないものだ。朝から晩までひつぱたいたり、ひつぱつたりまるでおいらを木のはし位に考へてるんだからなあ」

ろばはさう云つて上をむいて、耳のあたりをぴくくさしてゐるのです。

なるほど、と蟻も思ひました。

そこでしばらくだまりこくつてゐましたが、蟻はなぐさめるつもりで云ひました。

「しかしろばさん、ものは考へやうだよ。今一ぺんに人間が此の世にゐなくなつたら、あなたがたはどうなさる？」

「どうなさるつて！」

ろばますく腹をたてゝ、ブウく鼻をならしながらごなりました。

「そんなことが、おまへさんにはわからんかれ。からだがちつぽけなものは、ちゑのかさも足りないとみえる。——人間がゐなくなつたら——思ふさま野や山をかけめぐつてさ、すきなところへ行つてさ、すきなものをたべてさ……」

「まあおまちなさい」

と蟻はひたいのさわりひげをうごかしながら、むきになつて云ひました。

「あなたは自分ばかりの世の中だと思つてゐるからまちがつてゐるもしもあなたがかけまわつてゐる時、あの恐ろしい狼や、ライオンが出て來たらどうなさる？」

狼やライオンときいて、ろばは首をちゞめました。が、なあんだ相手は蟻だと思ふと、あわてゝぐつとそりみになりましたが、さてなんと云ひ返したらいゝか、しばらくは口をもぐさくせてゐるばかりです。

そのうちにたんきなろばはすつかりはらをたてゝしまひました。

滿日各地版

瓦斯爆發を防止する劃期的な一大發明
撫順炭礦大山採炭所長中島氏等 多年の研究遂に完成

【撫順】炭界全國的の最大惱みである坑内瓦斯爆發を防止する劃期的の一大發明が撫順炭礦大山採炭所長中島鑛吉氏外數氏多年苦心の結果遂に完成されるに至つた、右は中島所長が煙臺採炭所長時代昭和四年二月同坑大爆發に依り一擧に百三十餘名の死傷者を出した慘事に鑑み研究に着手されたものである

元來 同坑は特別に瓦斯湧出多くその根本的危險率排除は重大なる問題であつたが中島氏は當社の部下たる現煙臺加藤謙市、飯田荒次、現老虎臺川村元弘、現龍鳳三根保市、現採炭課山本市三の各氏と協力所謂「粘土ブロック充塡法」を考案煙臺坑に適する長壁採炭法を容易ならしむると共に同坑名物の瓦斯爆發の危險性を除去し得たものである最近同法は完全一方保安費充塡費の大節約を斷行し得る處となり前記各氏とも滿鐵社員表彰規程に依り遂に表彰されるに至つたのである、右は一定のピーズを作り地壓を利用是が一方支柱ともなり

隔壁 完全洩風を徹底的に防ぎ、瓦斯爆發を克く防ぎ得るもので斷然偉とするに至る新發明である

兵匪暴虐の裏にこの手引人
邦農に殘虐をつくさせた 支那人張玉書捕はる

【旅順】兵匪のガイドとなり多數邦農を虐殺せしめた惡漢が二十一日撫順署司法室で取調べられてゐた、右は清原縣北三家子二道河子張玉書（三〇）と云ひ地理不案内の敗兵に散在せる邦農が何處に居るか判らない一箇所の道案内をなし二道河子居住邦農を片つぱしから掠奪暴行虐殺放火をなさしめ尚姙婦の腹を立割り母子とも虐殺した等殘虐を敢てしたのである、彼の手びきに依る被害邦農次の如し

被害者何れも二道河子居住邦農

戸主名、申太均（四三）崔義模（四六）林壽必（五三）朴壽昌（五〇）朴壽萬（三五）朴壽寛（四一）金重軾（二五）鄭永巨（二六）鄭昌吏（五〇）兪鎭吉（三五）以上十世帶家族八十四名内虐殺された者男女二十四名

一萬近くの敗兵が北大營を四散した直後九月二十三日頃から前記邦農等への他地方からの通信杜絶流言は亂れ飛んだ生きた氣持もしない折柄二十四日一團の敗兵が同部落附近に雪崩込んだそこで前記邦農等は家族悉くを附近の山間に避難せしめ戸主乃至頑丈な男ばかりが留守家財を守つてゐた當夜敗兵も部落の樣子が皆目判らぬので何處に邦農がゐるか手のつけやうがなかつた、そこへ現はれたのが前記張玉書だ、自ら虐殺案内人となり二十五日午前十一時三家子驛から右邦農部落に八十餘名の兵匪のガイドとなり發砲しつゝ來襲一戸殘らず家財目ぼしきもの全部を奪掠支那部落に運び一切の家畜類は屋外に出した次で十戸一齊に放火し灰燼に歸せしめた、續て前に屋外に出した牛豚馬の家畜類は悉く屠殺した尚それのみならず張玉書は家族八十餘名の避難せる山間へ兵匪を案内したその結果は餘りにも悲慘、女といふ女は悉く亭主の面前で暴行され臨月の姙婦は腹を立わられ母子共に殺害の浮目に遭ひ逃げ遅れた二十六名の同胞は惡逆なガイドさへなければ命を全うし得たのに悉く虐殺にされたのである、兵匪素より憎むべきだが天人共に許さぬ人間の兵匪虐殺暴行の背後に上述中國良民の假面をかぶり平素親交ある同部落の友を虐殺せしめ兵匪案内人の多數あつた新事實の暴露された事は人道上全く戰慄すべき事とされてゐる

因に彼張玉書の逮捕された顛末を探聞するに彼が物品購入のため二十日午後出撫驛機街通行中を目下民會に避難中の邦農が發見し斯くと驛前派出所に急報遂に是を逮捕右犯行を自供したものである、尚依る殘虐の跡は海龍領事分館の手に依り虐殺死體、放火の跡等殘らず撮影調査しその實寫を見てさへ當時の慘狀を具に物語るに充分である

强ひて避難せば鏖殺すると威嚇
支那人からは追はれ 不逞團からは足止めの邦農

【撫順】中國地主の壓迫と不逞鮮人團との迫害に板挾みの苦境に喘ぐ奥地數千の邦農——撫順背後地興京地方のみに農耕籾米業等に從事十數年來安住せる邦農數は約五千戸の多きに達するが時局發生以來中國地主は支那大衆と協力是が追出策としてあらゆる壓迫を加へつゝある爲に前記邦農等は生命の脅威に耐へ兼ね多大の

執着 を持つ永年の耕地をも捨て滿鐵沿線乃至鮮内に歸還の希望を持つの餘儀なきに至つた從つてそこに何等の故障さへなければその過半は既に興京方面を去つたであらう位想像以上の迫害に泣いてゐる然るに邦農のせつぱつまつた希望の如く沿線にも出て來られない陰には不逞鮮人國民府が彼等の寄生の木源を失ふとの理由で抑留してゐる事だ而も國民府は彼等の不逞行爲を遺憾なく發揮する爲と日本官憲に對抗する準備として急速度で多數青年を强制募集員に加へその數同地方のみで今や一千人を越へ無遠慮なる跳梁を續けてゐる

前に 中國地主等の不法極まる壓迫背後に不逞團の銃口をかざせる邦農の慘害々迫り來る年關と共に邦農の窮狀は全く言語に絶するに至つた、その生々しき一例として十八年來興京に居住せる邦農金官燮（三〇）は支那人民の壓迫に依り家族十三名を連れ本月十五日同地出發撫順へ避難の途中是を聞知した國民府黨員約十五名が同人等の後を追ひ永陵街に於てその旅費全部を捲き上げ强て沿線に出るなら鏖殺するぞ威嚇するので彼一家は出るに出られず歸るに歸られず目下永陵で立往生世帶主金官燮だけが辛ふじて二十二日午前撫順に逃げ來り撫順署へ訴へ出た悲慘なる事實である

馬賊から逃れて邦農長春に到着
當時の慘狀を物語る

【長春】吉敦沿線額穆縣新站には鮮支人約七百戸あり水田その他の農業を中心とした經濟で生活を營みつゝありしが同地額才河子金斗宮（新站北方約二十支里）に根據を有する匪賊頭目宮長海の統率する三百餘名の一團は十九日正午新站を襲撃亂入し鮮支人を問はず殺人强盜放火掠奪凡ゆる暴行を敢行したる爲阿鼻叫喚さながらの生地獄を演出し居住民は我先にと逃げまどひたるが鮮人百餘戸は一部は長春に大部分は吉林に避難し來り知人をたよつて悲慘な生活を見せてゐる、二十一日夜長春に避難した鮮農は當時の模樣を語る

馬賊の一大集團が襲擊するといふ報が來たので殺されるよりはと思ひ一家を擧げ着のみ着のまゝ家財一物も持たず逃げ出しましたが殆んどそれと行違ひ位に賊團は部落に進入したやうです幸ひ晝間だつたから逃げるにも助かつたが夜でしたら逃げるにも逃げても深い雪の中に埋つて凍死するかどうせ助からぬ處でした逃げ遅れてる同胞も少くないのでどうなつたかと案じてゐます

と恐ろしかつた當時を哀れな姿で語つてゐた

邦農に仕事を

【撫順】兵匪鮮匪乃至中國地主等の至らざるなき迫害に追はれ撫順さして避難する邦農は歳暮迫る今尚陸續撫順民會に收容せる者のみ二十二日午前現在八百十五名の多きに達した民會でも收容しきれず第四收容所まで急設その保護救濟に餘念がない、尚上多數の衣食費だけでも相當に上るのと徒食の惡風防止の爲目下莚製造をなさしめつゝあるが一日平均百枚は製作して居る尚毎日五十人位は炭礦に積み除雪人夫等に使つて貰つてゐる民間でも彼等の窮狀に同情極力仕事を與へて貰ひ度いと

負傷兵達の感激
將校婦人會の看護に 兵隊さん達は只泣く

【奉天】醫大の秋川大佐夫人、土肥原大佐夫人等が主となり在奉將校夫人を以て組織されたる將校婦人會では會員の主人は殆ど戰線に立ち酷寒と戰ひつゝ目覺ましい働きをなしてゐるその留守宅を護りながら最前線に於て名譽の負傷をなし呻吟してゐる病院を親しく訪れ慰問品を贈つたり自ら看病したり至れり盡せりの涙ぐましい活動を續けてゐるが今回更に内地より多數送られて來たお護りを納める袋を將校婦人會で作製に努めてゐるこれを受けた傷病兵はこれまで多數慰問、見舞等を受けながら日常嚴父の如く慕ひ尊敬してゐる上官の夫人から又も慈母の如き看護を受け何れも感泣せぬものはないと ここが肝腎である

醫大同志會で鮮人救濟施療

【奉天】滿洲醫大學生有志を以て組織されたる同志會鮮人救濟部では全滿婦人團體聯合會の後援を得て今冬季休業を利用し左の如き日程で沿線に出張し巡回施療をなすことになつた

第一班（撫順、安東）廿四日朝出發撫順にて施療一泊廿五日施療、同日歸奉直に安東へ二十六日施療、廿七日夜歸奉（醫員二名、學生三名）

第二班（鐵嶺、開原）廿四日朝出發、鐵嶺施療、廿五日午前中施療午後開原廿六日施療、同夜歸奉（醫員一名學生三名）

第三班（四平街、長春、公主嶺）第一部一月四日出發四平街施療五日施療、同夜歸奉（醫員二名學生二名）第二部三日夜出發四日長春施療五日朝出發公主嶺施療六日施療同夜歸奉

みんな協力して職務に勉勵
北滿視察から歸つて 山西滿鐵理事談

【奉天】山西滿鐵理事は北滿における經濟調査のため出張中であつたが廿一日歸奉せる同氏はヤマトホテルで左の如く語る

チチハルは政治經濟に重要地點で將來チチハルが北滿のその中心さすることゝ思つてゐる、現在治安維持は保たれてゐるが匪賊は相當橫行してゐるやうである、北滿の第一線にあつてしかも零下廿何度の酷寒と戰つて匪賊の討滅を行つてゐる日本軍、悲痛な覺悟で努力してゐる二百餘名の邦人を見る時涙を以て感謝せずには居られない、滿鐵總裁の恒久性についてはオイそれといふ譯にも行くまいが若しも之が實現するとすれば總裁には滿蒙に、造詣深い人を希望するものである社員理事制を以て力强くするためには社員が結束して滿蒙のため働くことは大いに考慮すべき問題と考へてゐる、兎に角こうした時局に際しては相互に協力して職務に勉勵する

野砲隊出動

【鞍山】海城駐劄野砲兵第二聯隊及工兵隊等の將士〇〇〇名軍馬〇〇〇頭野砲〇門は小池少佐指揮の下に二十二日午後一時三十分發野戰臨時列車にて某方面に出動した驛頭には官民多數見送り萬歲聲裡に出發した

負傷八勇士の經過良好

【鐵嶺】去る十五日馬家塞の激戰に參加し重傷を負ひたる加藤上等兵以下八勇士は其後當地衛戍病院に於て等しく加療中であつたが其の經過良好にして昨今は元氣も全く快復し退院の日を樂しんでゐる八勇士の負傷個所左の如し

加藤上等兵　左前膊骨折貫通創
相澤一等兵　右膝關節部貫通銃創、左大腿軟部貫通銃創、臀部左右足凍傷
二階堂一等兵　未詳
松浦二等兵　顏面擦過銃創
長谷川二等兵　陰囊貫通銃創兩側睾丸損傷、右大腿軟部貫通銃創、顏面擦過銃創
山田一等兵　左手貫通銃創
小野崎一等兵　右下腿部貫通銃創
小野寺一等兵　右大腿部貫通創

戰傷病兵轉院

【鐵嶺】鐵嶺衛戍病院に收容中の戰傷病兵百三十四名のうち快方に向ひたる四十二名を廣島衛戍病院に轉院せしむる事となり來る二十六日午後六時四十分發列車にて離鐵するさ

鞍中ラグビー選手出發

【鞍山】全國中等學校ラグビー蹴球大會滿洲豫選大會に於て滿洲代表の霸權を握つた鞍山中等學校選手十七名は三宅教諭並に渡邊教諭に引率され二十四日午後二時五十三分發急行列車にて必勝を期し全生徒、教諭に見送られ勇ましく遠征したが選手名左の如し

櫻内一、住吉清、德滿慈城、大竹一男、木書博達、池内悅雄、山口登、大竹功、平林宗光、吉田義雄、池内俊彥、宮野告、田所武、中村勇、淺野虎龍、岡島正、藤島進

他愛ない道行き
汽車は出て行く男は殘る

【奉天】誘拐か駈落か將又家出か全く雲を摑むやうな戀の搜査願ひ……市内彌生町四番地吳振東方には擧て忠實に働いてゐる王佩然（二〇）と稱する若い支那職人があつた吳方には貴珍（二〇）といふ美しい愛娘があつた、貴珍は佩然の眞面目さと男前に日頃から

秘かに 小さい胸を痛めてゐた、又同じ町の鄭春浦方にも玉濤（一七）といふ花の蕾もほころび初めた可愛らしい娘があつた、そして玉濤も佩然を心秘に思つてゐた佩然は貴珍とも玉濤にも親の眼をぬすんで逢瀨を樂んでゐた、そして貴珍、玉濤とも佩然を只の一人としての戀のマスコットと考へてゐた、去る二十日可憐な玉濤は佩然に對し是非とも遼陽へ行かうと自由な戀のステイジを他所に求めたのであつた、佩然は玉濤のいふがまゝに遼陽行を定め込んだ、同日午後七時半頃玉濤は旅費を工面して兩人相攜へ奉天驛に出たのであつた、同夜八時三十五分大連行列車に乘るため

切符を 求め時間となつて玉濤は列車に乘りこんだ、少し遅れた佩然はプラットホームに出でんとする時擧て手配により直に取押へられたが玉濤の乘つた列車はそのまゝ出發し一人旅をなしたのであつたこのが為め奉天署では廿一日關係者を召喚し取調べた結果右の事實が判明したので玉濤はその親に佩然は將來を懲々戒めて主人に引渡した、こうした戀の三角關係にあるこの三人は果して如何なる運命を辿るやら

千山附屬地に駐兵を請願

【鞍山】千山附屬地は千山の天嶮を利用し馬賊の巣窟であるから在住日支人は頗る危險を憂慮し人心恟々として居るが時局以來守備隊全部引擧げ僅の分遣員にて警備されて居る爲最近亦不安の念にかられ恟々として居るので千山代表平井德次、志甫他吉、吉田次郎八の三氏にて二十二日來鞍地方事務所に出頭し守備隊一個中隊駐屯の復活方を請願する處あつた

通遼農場被害

【奉天】過日匪賊團のため襲撃を受けた通遼農場の被害は穀、家屋その他財産を合して公司側一萬三千圓、鮮人小作人四萬三千圓に達してゐるさ

八ケ代副領事

【奉天】安東領事館に轉任の八ケ代副領事は二十三日九時發多數見送り裡に赴任した前後任の大谷副領事は二十四日着任の筈

沿線往來

▲大藏公望氏　二十二日來奉
▲首藤滿鐵理事　同上
▲竹中同理事　同上
▲山西同理事　廿二日赴連
▲村上同理事　廿一日長春へ
▲古川奉天事務所鐵道課長　廿二日歸奉
▲松田關東廳高等課長　廿一日來奉
▲金吉長鐵路局長　廿一日長春へ
▲生駒拓務省管理局長　廿一日安東へ
▲セミョノフ將軍　廿一日大連へ

故柳田驛長の葬儀 二十一日安東で

鐵嶺

軍人後援會

帝國軍人後援會鐵嶺支部では時局以來軍隊の慰問歡迎其他非常な力を盡してゐるが衛戍病院には多數の戰傷病兵が入院してゐるこさゝて其慰問など連日の如く奔走してゐる、時局柄後援會を援助するのも一の國家奉仕であり志ある人は此際成るべく多數入會されたいさ、鐵嶺支部の專任事務は警察署内宮村氏である詳細は同氏に就て承合し一人でも多くの入會を希望するさ

鐵嶺漫談

二十二日鐵嶺警察署長の手によつて撫順の叔父の家に送られた青年があつた▲原籍は福岡縣田川郡遠藤清喜次といひ未だ二十五歳▲若いのに見すぼらしい風態而も全身に虱一ぱい保護する警察官もタジ／＼といふ有樣▲本人は少々精神に異狀があるらしく其言ふところが頗る振つたもの▲大連で解雇に罹り日蓮の坊さんに縋んだら麒に犬と猿の肉を補殖すると好いと言つて其肉を麒へて吳れた▲がそれ以來麒の中で犬と猿めが喧嘩ばかりして眠る事も出來ない▲あの坊主は氣狂ひを作る奴だから恐ろしい、犬と猿に惱まされてゐるのは俺ばかりぢやない云々▲前途ある若者だのに可哀相でもある▲けれど本人曰る平氣何か甘いものが食ひたい錢を貰ふ事はすきだなんて天下泰平▲猛烈なモヒ中毒だから到底救はれぬものであらう

鞍山

實協の役員會

鞍山實業協會では廿三日午後四時より實業會事務室に於て定例役員會を開催し左記事項を協議するさ
一、滿鐵消費組合撤廢に關する件
一、昭和製鋼所附置に關する件
一、南大將來滿に關する件
一、歲末決濟に關する件
一、特別評議員推薦に關する件

體育聯盟加入

鞍山體育協會は滿洲體育團體聯盟の趣意に贊し二十一日正式加盟したが代表役員は鞍山體育協會總務部長右近又雄氏に決定したさ

鞍中の學藝會

鞍山中學校では二十三日午前九時より講堂に於て昭和六年度學藝會を開催したが定刻矢澤校長開會の辭を述べ開會せられたが華語對話劇等なか／＼感心なものあり盛況裡午後二時三十分閉會した

負傷を見舞ふ

鞍山時局委員會では黑林臺馬賊討伐の際負傷し大石橋衛戍病院に入院加療中の第三大隊第三中隊の船戸軍曹及岩崎上等兵に對し慰問の爲め二十三日午前九時廿四分發列車にて委員會より西川喜一氏赴石見舞ふ處あつた

負傷警官見舞

千山附屬地日支人代表上野驛長、平井德次、三谷氏、吉田次郎八、志甫他吉の五氏は二十一日午後六時三十五分着列車にて來鞍し襲に千山附屬地を襲擊した馬賊討伐の際負傷入院中の山本巡査を鞍山醫院に見舞ひ金一封を贈呈し本署に出頭して時局に對し慰問する處あつた

小野寺所長招宴

鞍山地方事務所長小野寺清雄氏は二十三日午後五時より鞍山新聞記者協會員を料亭彌砂に招待し懇親宴を開催した

金州

後援會寄附金

金州時局後援會に對し後援會員として左記諸氏より寄附があつた
△金五圓松見宅雄 △金五圓金州苗圃員一同 △金十圓關東廳種馬所員一同 △金十五圓金州在住三

州人會
尚本月二十二日附朝刊地方版金州欄記載の時局後援會寄附者中兒玉鈴一金二十圓とあるは金州青年團の誤りに付訂正す

驛員應援出發

金州驛員井ノ口忠雄、同保線區員大澤岩三の兩氏は二十二日午後十一時金州發の列車にて某方面へ向け應援のため出發した

旅順

年末贈答廢止

旅順婦人連が聯結其他の間に行はれ來た年末贈答は花柳の巷だけに多少の見榮もあるので之れが爲め借金の增加は必然的であるとし數年來からしば／＼廢止方が唱へられたるも一向その實が擧がらないので本年末は特に警察署として時局柄でもあるので此際斷然廢止するやう二十二日抱主樓主一般に對し通達する處があつた

奇特の慰問品

【普蘭店】當地農園家松崎林兵衛氏は今回苹果四貫目入二十箱を慰問品として關東軍に寄贈方民政署に申出で廿一日その發送手續きを了した、又當地滿鐵給水所勤務神田氏令孃ふさ子さん（尋常三年）は平素のお小遣ひを貯めてあつた金一圓を入物のブリキ罐ごと民政署に持參し慰問金として取扱方を申出でた

女學生の奉仕

【長春】長春家政女學校では生徒の學業餘暇を以て裁縫をした結果得た金二十圓を出動軍隊慰問金として又造花（花瓶付）盛花、實習の菓子等を長春衛戍病院收容の負傷兵慰問として二十一日それぞれ寄贈するところあつた

第二の反抗（111）
三宅やす子　阿部金剛畫

女同士（十五）

「傳へるだけぢや困るよ。たしかに實行して貰はなければ」
「それ大丈夫でございます、私、これで失禮します」
行かうとするお靜を
「一寸」
とまた彼はよびとめた。
「莫迦に落ちついてゐるね——懷工合がよほどよくなつたと見える」
「………」
「うちの奥さんは氣がいゝから、時々人にほどこしをするからね」
佐枝子も、お靜もハツとした。
「………」
「だが斷つておくよ。うちの女房の手から出た金なら、一錢だつて受けとらないからね」
良人はどこかで見て居たのだ。
見られたからには——と佐枝子はもう强く出た。
「私が何をしやうと、どうぞ干渉しないで下さい」
「何もしたとは云はないよ。まして、干渉なんか、しないよ」
「なら、お靜さんのところの金の出どころなんか、兎や角仰しやらずに、さつぱりしておしまひになつて」
「それとこれとは別問題だ。お前も自由にするやうに、俺だつて、俺の自由にするよ。自分の女房の手から出た金だと知つて、おめおめそれを、押し頂いても居られないからね」
「いけません、そんなこと」
「お前こそ要らない干渉だよ」
「いゝえ」
佐枝子は一生懸命で
「あなたのは意地惡ばかりなんです。義理も情も御存じない」
「それがどうした」
「だからみんなが苦むんです。そのために、お靜さんを貰らうさまでして居るお靜さんの、お父さんが惡いんぢやありません」
「それまで俺の知つたことか」
毅衛はプイと横を向いた。
「だから、あたしが、貰られなくても可いやうに計らつてあげたまでです」
「そいつが、俺に氣に入らないんだ」
「それはあなたの我儘ですわ」
「俺も我儘な女房にはこり／＼した」
「………」
「我儘だけならまだいゝとして、亭主に恥をかゝせる女房だけは願ひさげにしたいな」
佐枝子はじつと唇をかんだ。
自分の事がもとになつて、此夫婦の思ひがけない爭ひを、そばでお靜はハラ／＼してきいて居るよりほかはない。
「あなた」
佐枝子はキツとなつて云つた。
「では私も、お靜さんと一緒にゆきます」
「何處へ」
「何處でも——お靜さんの歸くところへ」
「何だと？」
「金のにほひの臨り切つた中で、もう私は息がつまります」
「勝手にしろ」
毅衛は突き放すやうに叫んだ。

飲めこの一杯!!
健胃整腸に
精力衰退に
貧血虛弱に
神經衰弱に
赤玉ポートワイン
赤玉は 筋肉活動の原動力たる葡萄糖を多量に含有して居りますから 平素適量を召し上れば 血液の循環を旺盛に筋肉の活動を順調に精力を益々昂進させます
血となり肉となる薬用生粋葡萄酒
赤玉愛用家百萬人優待特賣!!
一等……一千人 左記一品
白金腕時計
三方桐二重簞笥
銘仙夜具
洋服簞笥
ラヂオセット
二等……二千人 左記一品
自轉車
総桐用簞笥
英國製洋服地
三面鏡化粧台
籐椅子セット
三等……三千人 左記一品
洋食器セット
純毛毛布(二枚組)
純銀製コップ台
會席膳
銘仙座蒲團
四等……四千人
特製化粧石鹸
五等……一万人
特製コンパクト
赤玉ポートワイン包紙の レッテルを完全に切抜いて二枚各其裏面に 住所氏名をハッキリ書き 二枚を一纏め 開封で二錢切手を貼り 左記へお送りあれ抽籤當籤の方へ 上記お望みの景品を贈呈す
(住所氏名不明瞭レッテル不完全一枚宛別封等は無效尚ほ數口御應募の場合一括御送付は差支ありませぬ)
齒磨スモカ一罐づゝ
此の催しの記念と齒磨スモカ品質宣傳の為應募者全部へ贈呈
募集総數 百万口
區域 内地 滿・鮮(但台灣を除く)
締切 昭和七年三月十五日
發表 同年四月十日本紙上 當籤番号發表
抽籤方法 一口毎に 抽籤券一枚呈上 一千口一組 當籤番号共通 新聞警察代理店立會 嚴正抽籤
景品引換 發表後二ケ月以内
(注意)レッテル投函日の御記入なき御照會にはお答へいたしかねます
レッテル送り先
大阪市東區住吉町
赤玉ポートワイン本舗 サービス係
AKADAMA PORT WINE
NATURAL SWEET

曙の鐘 (148)

倉田潮
河野想多畫

山の夜（一）

たえ子は眠られない夜を一人起き出して、山の湯にしたつてゐた。繁宮村で春木が巡査に連れて行かれた時、たえ子は驚愕と悲嘆にくれて自分も一緒に連れて行つてくれと、警察官に申し出たのだつた。が、大山家でたえ子のことを秘密にしてゐる爲か、巡査は彼女の同行を固く拒んだ。また、春木は「直ぐ歸つて來るから梨木へでも行つて保養してゐろ」と云ひのこして、笑つて彼女と別れて行つた。

その後二日間たえ子は繁宮村に足をとめてゐたが、近所の人の口がうるさいので、つひに梨木に逃れて來たのだつた。その頃は五日もたてば春木が許されて來るだらうと思つてゐた。が、何時まで待つても春木は歸らないし、また何の音信もなかつた。別れる時の春木の言葉に一度消えた心がかりが、近頃次第にまた首をもたげて來た。彼女は春木の言葉を信じてゐたが、自分の眼をも信じない譯にはいかないのだつた。あの夜彼女は確に春木が剛太郎のそばに短刀を持つて佇んでゐたのを見たのである。その尋常でない表情を、その危險な姿勢を考へると、信じてゐる春木の言葉が信じられなくなつて來る。一點の疑ひが信ずる心の表に現はれて來るのだつた。

「でも、何う考へても春木さんがそんな常識に外れたことをする譯がない」

さう我と我が心を安心させて、彼女は人氣のない浴室を出た。旅館の中はしんと靜まつて、浴槽に滴り落る湯の音が無限の靜寂を深めてゐた。

夏場は非常にこみ合ふといふ此の宿も、今は湯治客が殆どなかつた。がらんとした部屋の中へたえ子は山の寂寞を感じながら這入つて行つた。と、彼女より先に美しい若い女がきちんと火鉢の前に坐つてゐる。あけみだつた。たえ子は驚いて障子をしめようともせず

「まあ」

と云つたまま棒立ちになつた。あけみはそれを見て皮肉に笑ひながら口を開いた。

「驚いたでせう。でも、番頭さんが私を此の部屋に案内して、あなたが湯に這入つてゐるから少しこゝで待つてゐろと云ふのよ」

たえ子は何うしてよいか口がきけなかつた。

春木との戀をあれほど慘酷に妨害し、あれほど惡らつな手段を弄して、春木を奪つて去らうとしたあけみを默つて許してやる氣はしなかつた。それにまた今何んな惡賢い計畫をめぐらして來てゐるか知れたものではない。

一方にさう思ひながら、たえ子はあけみを通じて春木のその後の消息が知り度かつた。あけみは確によくそれを知つてゐるに相違ない。

「たえ子さん、あなたおこつてゐるのぢやなくて」とあけみはまた皮肉な笑ひを浮べた。「おこつてゐてもかまはないわ。實は私、今日春木さんのことで是非あなたと相談しなくてはならないことが出來たので、夜中一人で先の驛から歩いて來たのよ。まあ御座んなさいな。春木さんが飛んでもないことになつてしまつたわ」

たえ子はあけみの云ふことをそのまゝには信じてゐなかつた。恐らく嘘だらうと思つた。が、最後の決裂はあけみの云ふことを聞いてしまつてからでも遲くはないと考へて、

「春木さんが何うしたと云ふのです」

と、火鉢の前に立て膝をついた。すると、あけみは手さげ鞄から新聞を取り出して、

「これを御らんなさい」

とたえ子の手に渡した。この宿に來てから、たえ子は數種の新聞に眼を通してゐたが、今あけみの差出した新聞は宿で取つてゐない東京の夕刊新聞だつた。

たえ子は思はず息をはずませながら、その三面を開いて見て、同時に愕然と面色を失つて跳ねあがつた。

けふの放送

大連 JQAK 十二月二十四日

▲午前七時ラヂオ體操
▲午後五時二十八分（內地中繼）家庭電氣講座「家庭電化の今昔」工學博士川崎舎恒三（以下大連放送局より六時）
▲ニユース
（以下內地中繼六時三十分）クリスマスの夕
▲童話劇「不思議なラヂオ」朝谷謙二作、北村兒童歌劇協會
▲クリスマスカロル「未定」東京シンホニツクコーラス、指揮津川主一
▲クリスマスの集ひ、讃美歌、お話、唄、童話劇（大阪より）
▲管絃樂（イ）松明の舞曲（ロ）組曲子供遊戯（ハ）道化者の巡邏、東京ラヂオオーケストラ指揮奥山貞吉
以下大連放送局より
▲筑前琵琶「扇の芝」法位山服部旭葩
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニユース

滿洲日報

匪賊討伐積極的に展開す

營口の我軍今曉六時田庄臺方面へ出動す

鐵蹄勇ましく雪を蹴つて

營口に待機のわが部隊は數日來出動の準備に忙殺されてゐたが、愈々二十三日午前六時命令一下鐵蹄勇ましく曉の雪を蹴つて田庄臺方面へ出動した、出動部隊は二隊に別れ一部隊は○○第○○隊、○○○隊及び○○○隊の一部でダーク碼頭より○○丸で折柄へ氷塊の流下する遼河を横切り河北驛から北寧支線に沿ふて田庄臺に向ひ他の一隊は第○○聯隊第○大隊及び○○第○大隊で牛家屯、三家子を經て陸路直に田庄臺に迫つた、夜はまだ明けざるに出動勇士の征途を見送るために馳せ集まり市民道の兩側に垣を築いて見送つた【營口電話】

兵匪牛莊城を占領す

討伐に出動せる我軍苦戰

二十二日夕刻約四百名より成る兵匪牛莊城を强襲し同地公安隊及自衞團員等は散々に撃破され、城外に逃走し牛莊城は完全に賊團の手裡に落ちた、この急報に接し海城にある我第○○聯隊の一部隊及○○第○○隊は急遽匪賊討伐のため現地へ急行した牛莊城附近の黄土坨子に到着せる我討伐隊の一部隊は匪賊の大部隊と遭遇激戰し我軍苦戰に陷いり兵一名負傷、通譯一名行方不明となつたが、その後牛莊城と當地との連絡電信電話線切斷され消息不明である、牛莊近傍大屯支那巡警の談によれば日本軍は數倍の優勢な匪賊に包圍され全滅に瀕してゐるとも傳へられ憂慮されてゐる、なほ牛莊に襲來した老北風の二千の匪賊は我軍が二十一日牛莊城に入城し匪賊を討伐昨日撤退を開始せるに乘じ牛莊城を乘つ取り撤退中の我討伐隊に逆襲して來たものである【海城電話】

約三百名の兵匪と李貝堡で激戰

我傳騎の壯烈な戰死

二十一日朝七時石佛寺を發した第一○大隊は法庫門の先發隊第○中隊一長高橋大尉を尖兵隊長として向はせたが、同中隊は二十二日朝十時牛法庫門南方四キロの李貝堡において約三百名の兵匪に遭遇、交戰を開始し苦戰に陷つた、傳令の報告に依り第○大隊島本大隊に應援進撃に決し高橋中隊長は直に大隊主力到着まで李貝堡を死守せよとの命令を下して大隊主力は自動車に分乘李貝堡に急行したが途中泥濘の道路で自動車故障を起して前進不能となり高橋中隊との聯絡杜絶したので第○中隊小杉軍曹和久兩名は途中後孤家子において二十騎より成る敵の正規兵に遭遇騎上より狙撃を受け二名は頑强に之に應戰したが衆寡敵せず孰れも銃を握り萬歳を絶叫しつゝ壯烈な最期を遂げた【開原電話】

營口に待機してゐた皇軍部隊（廿三日營口本街を行進）

一部隊石佛寺に引返す

第○大隊は二十三日朝七時後孤家子の戰場を整理し更に五豪子の匪賊を殲滅したる後直に石佛寺に引返す豫定【開原電話】

法庫門縣長五豪子に逃亡

二十二日法庫門縣長は五豪子（通江口の西南約三里）に公安隊及び多數の兵を率ゐて逃亡し同地に立籠つた、わが獨立守備隊第○大隊は二十三日中に之を殲滅せんとし目下之を包圍攻撃中である【開原電話】

大部分は蒙古兵

二十二日法庫門を出發した獨立守備隊第○大隊は二十二日朝七時石佛寺を出發法庫門西南約四邦里の地點において匪賊四百名と遭遇交戰の結果先發隊小杉軍曹、桑井一等兵戰死し船瀬中尉、若松一等兵、武石一等兵は重傷を負ふた、敵の損失は約百名に達しその內正規兵もありその他の大部分は蒙古兵であつた【鐵嶺電話】

法庫門混亂

要人等悉く逃亡

匪賊は決死で對抗

二十三日法庫門より當地に達した情報によれば日本軍來るの報に二十一日の法庫門は大混亂を呈し商務會長、電報局長、電話局長、司法監督（法務官）の四名を除く縣長を始め政府首腦者、各機關代表者は殆ど逃走し官銀號には一文の金も殘してゐない、公安局長は商務會から一千元を徵發せしめ武裝部下三百名を率ゐて逃走せるが、廿二日商務會に對し「我々は日本軍と戰ふ意思なきも錦州軍に改編されたる馬賊軍は死を決して日本軍と一戰する覺悟を抱きつゝあるをもつて法庫門市外は何時戰亂の巷と化するやも知れず」と電話で通報して來た、法庫門西方には公安隊三百名、馬賊軍千五百名あり我軍の行動を注視しつゝあるもの、如くである【鐵嶺電話】

匪賊團、後孤家子で我軍を猛烈に攻撃

激戰約一時間に及ぶ

第○大隊先發隊は二十二日午後一時後孤家子に到着するや匪賊三百名は突如わが軍に猛烈なる攻撃を浴せたるに依り直に之に應戰、激戰約一時間にして敵二百名を撃退せしめたがなほ百名は頑强に抵抗を續けたので之を包圍して遂に殲滅した、この戰鬪において第○大隊四中隊荒井一等兵戰死し須納瀬中尉、若松一等兵、第一中隊の武石一等兵負傷した【開原電話】

金家屯の兵匪二千に對しけさ討伐行動を開始

通江口附近にて我軍連絡

獨立○○隊第○大隊は同第○大隊と二十二日午後三時頃通江口附近において連絡を完成し、通江口北方四里の金家屯に蟠居してわが軍に抵抗する約二千の兵匪を討伐するに決し兩部隊は共同動作の下に岩田中佐指揮官となり二十三日朝八時を期して通江口を發し步武堂々一路金家屯に向け討伐の軍事行動を開始した【開原電話】

施肇基氏の辭表

電報で政府に提出

【南京二十二日發】施肇基氏は電報を以て本日國民政府に辭表を提出した【寫眞は施氏】

蔣介石氏歸鄕

【上海二十二日發】下野した蔣介石氏は本日午後五時夫人同伴南京より飛行機で鄕里奉化に着いた

錦州へ英、獨公使

學良の懇請で

【天津二十二日發】錦州には二週間前から錦州政府の賓客として英、米、佛三國武官滯在し、ドイツ公使は今朝北平發錦州へ向つた、なほ今朝北平に歸つたイギリス公使ランプソン氏も近く錦州に赴く筈右は何れも張學良の懇請に依るものゝさいはれてゐるが、張學良は學生、要人には頻りに强硬論を以て應酬する一方、列國使臣を通じ世界的に逆宣傳をなさんとするものである

米春霖が張學良に對し指令要求

【北平二十二日發】米春霖は錦州から來平、張學良に最近の情勢を報告し命令を求めた、張學良はいよく廿三日中に最後の態度を決定せん、又天津二十二日發電によると天津、塘沽間を示威的に往復してゐた東北軍裝甲列車は迫撃砲小銃彈、榴散彈を滿載せる四貨車を連結して輸送され、別に東北軍選拔兵四百名の輸送も開始した

軍縮會議の延期

英政府通牒の內容

【東京二十二日發】英大使リンドレー氏は訓令に基き過日永井次官を訪問し軍縮會議延期問題につき日本の意向を聽取したが、リンドレー大使は英國通牒を手交し犬養首相に提示を求めたさ、右內容は英政府は會議を延期するは疑惑を生ずる惧れあるので豫定の通り二月二日開會せん事を望むものだが一月中旬には賠償會議が開から且つ佛總選擧、獨大統領改選が間近く二月二日開會は事實上不便で之に就き日本政府の意嚮を求めたもので永井次官は取敢す口頭で日本が全權を出發せしめた程で延期を希望する理由なしとし近く正式に回答する筈なるも、大體イギリスの立場を諒とし二、三週間の延期はやむを得ぬといふにあるもの、如く關係各國の態度は注目されてゐる

國策審議會休會明前實現か

會長に山本条太郎氏

【東京二十三日發】政府部內に最近在野時代の調査に係る十大政綱の實現及びその他重要國策立案のため內閣に直屬する國策審議會を設置すべしとの意見が有力に行はれてゐるが、一月二十日議會再開迄に具體化する模樣である、主張の內容は會長は從來この種の會の會長が總理を當つる形式を廢し拖負經綸あり責任を以て國策立案に當り得るものを當て、委員に閣僚及び與黨並に貴族院の適當の人物を配し親任待遇としその數を十名とすることにあり、會長には山本条太郎氏を推さんとする意嚮である なほ本審議會設置の上は無任所大臣は置かない筈【寫眞は山本氏】

米軍縮全權

主席は米大使

【ワシントン二十二日發】フーヴア大統領は本日軍縮會議アメリカ主席全權に駐英大使チャールス・ドーズ氏を任命する旨言明した、バーヂニア選出民主黨上院議員クロード・スワンソン氏の代表決定も動かない處である

外交部長顧氏

【南京二十二日發】外交部長顧維鈞氏は本日正式に辭表を提出した

蛇角

◇二十一日の奉天新政府成立祝賀式に英、米、佛、獨各國總領事參列、列國は新滿洲政權を承認した

◇閑院宮殿下參謀總長御親補、第六十議會召集、二十三日は軍事政治事始めの日。

◇蔣介石は鄕里へ引揚げ、さらへるだけさらつた財政を、後任政府に突きつけて知らぬ顏。

◇榮臻、對日宣戰布告を催促す、勇氣愛す可し、馬占山、錦州軍と呼應の爲め、軍費軍需品を送れと張學良にせがむ、之れは厄介もの

◇錦州に英佛米武官滯在、其意識り難し。

◇歐米派遣特使の議あり、滿洲の我國立場闡明の爲め、之れは十分の必要がある。

◇支那英米タバコ會社に赤色恐怖、此會社は曾て全力を排日に傾けた排日に未練は解散、今の惱みは自ら招く所。

第六十議會けふ召集

正副議長選擧を前衛戰として愈よ政戰の幕開かる

【東京二十三日發】急轉直下の政變に依つて朝野その地位を轉倒し、野黨絶對多數の爲め到底解散は避け難きを豫想される第六十議會は愈々二十三日召集され、貴族院は即日成立を告げ、衆議院は劈頭今議會の前衞戰と觀られる正副議長の選擧を行ひ茲に政戰の幕は切つて落された

貴族院成立す

部長、理事の互選を了る

【東京二十三日發】第六十議會召集の貴族院は二十三日午前九時振鈴さ共に德川議長、議長席に着き定員に達するを待つて同八分開會を宣し、劈頭德川議長は留任の挨拶を爲し、これに對し議員を代表して近衞文麿公は祝詞を述べた、次いで德川議長はこれより本院規則第五條に依り抽籤を以て部屬を定めますと宣し書記官をして抽籤を行はしめたる後、部長、理事互選の爲め同三十分休憩、五十分再開し書記官をして部長理事互選の結果を朗讀せしめ德川議長は「本院はこれにて成立しましたこの旨政府並びに衆議院に通告します」と宣して十時二十分散會した、尙德川議長は直に貴族院成立の旨を政府並びに衆議院に通告した

衆議院直に議長選擧

【東京二十三日發】衆議院は午前十時十六分振鈴と共に入場、同二十分田口書記官長議長席につき議長選擧につき宣言し直に議長選擧の堂々廻りに入る、無產、國民同志會等の第一控室組の仲間入りした安達氏さその一黨もこれ等一團の後方に議席が移されたのは本會議劈頭の新風景である、與黨席は少數とはいへ犬養首相を中心に閣僚政務官がズラリと列んで中心勢力をなしてゐるのに對し絶對多數を持つ野黨席には濱口總裁の姿なく安達氏亦去つて野黨陣の本據には若槻、幣原、櫻內、山道氏等が鼎座してゐるが何處となく物足らぬ議場は何さなく緊張味なく和やかな空氣さへ漂つてゐる

幹事長問題に九州團體不平

【東京二十三日發】二十二日政友會議員總會は犬養首相より久原幹事長暫定留任を表明するや九州團體は直に犬養首相が山崎達之輔氏に內交渉した以上、山崎達之輔氏を幹事長たらしむべく、然らざれば黨役員の選擧を肯ぜずさて擧つて東京ステーションホテルに立籠つて對策を議したが床次、久原兩氏の斡旋で漸く鎭をつけた

小山副議長は依願免

【東京二十三日發】小山衆議院副議長に對し本日左の辭令があつた　衆議院副議長　小山松壽　願により衆議院副議長を免ず

滿洲事變費第二豫備金より

【東京二十三日發】高橋藏相は勅裁を仰ぎ滿洲事變費昭和六年度第二豫備金支出の件を二十三日左の如く發表した

一、滿洲事變軍隊出動費　二、一九四、九二三圓

一、中華民國方面臨時艦隊派遣費補足　一九九、五七九圓

一、滿洲事變警察官增員費　三三、二〇八圓

內務土木機關復活決定

【東京二十三日發】內務省は前內閣の行政整理により明年一月より廢止されることゝなつてゐた神戶横濱兩土木出張所を復活すべく廿二日省議を開いて從前通り存置する方針を決定豫算を大藏省に交渉する事さなつた、又博多、尾道、舞鶴、七尾四港灣の地方移管案をも覆へして從來通り國の直營さする事に決定した

拓務省豫算七十一萬餘圓

【東京二十三日發】更正拓務省の來年度豫算に就いては過般の閣議で同省存續の方針が確定したので大藏省との間に考究中のところ今回前年度の一割强、即ち七十一萬餘圓と決定し近く閣議の承認を求める事さなつた

人事

▲首藤正壽氏（滿鐵理事）奉天出張中のところ二十四日朝歸任

▲竹中政一氏（滿鐵理事）二十三日朝安東より歸連

▲篠原重太郎氏（海事協會理事）廿三日入港のはるびん丸にて着連

▲綱嶋辰夫大尉（宇品陸軍運輸部附）同上

▲東京慈惠醫科大學生一行七名軍隊慰問のため同上來連

東亞の謎（117）

國枝史郎　挿畫　伊藤顚三

戰ひ（八）

ダットは後方へ運ばれた。

さうして病院へ擔ぎ込まれた。

「ダットがやられた！」

「ダットさんが射たれた！」

人々は動搖した。

わけても洋子は顚動して了つた。

床へ置かれたダットの側へ、飛び付くやうにして走つて行き、ひざまづいて傷口を見た。

左の肩を負傷してゐる。

血が胸と咽喉とを染めてゐる。

「消毒！早く！繃帶を！早く！」

人々は手早く手あてをした。

ダットは眼を閉ぢ唇を顫はせ、苦痛に堪へてゐる樣子であつた。

その顏色は蒼白であつた。

その顏を熱心に見守りながら、洋子は祈り度いやうな泣き度いやうな、複雜の表情をしてゐた。

（妾や秘密を二度も三度も、助けて下されたダットさんが！）

（妾一人の力だけでも、この人をどうしたつて生かさなければならない）

（也速該とのこれ迄の關係を斷つて、その也速該を敵として、今度の負傷を受けたのも、秘密五人を助けやうと、秘密の味方になったからだわ）

グルくと考へが渦を捲くのであつた。

見詰めてゐる洋子の眼頭あたりから、涙が自と流れ出してゐた。

その時小夜子が立ち上がつた。

彼女の心はダットには無かつた

彼女の心は伯爵にあつた。

然う松下伯爵にあつた。

意外の事件から戀する人と、彼女は逢ふことが出來たのである。

しかも危難を助けられたのである。

しかし直ぐに離ひとなり、しみくと話すことは出來なかつた。

彼女としてはあれ以後のことを――上海で武村に誘拐され、この音車顏澁へ連れて來られ、今日に至つた出來事を、話し度い願ひで一杯であつた。

さうして彼女が何んなに焦しく伯を戀してゐるかといふことを、洩らし度い願ひで一杯であつた。

體も心も自由にして下さい。ごうされやうとご自由です……かう彼女は云ひ度くさへ思つた。

彼女は室を辷り出た。

監視室の方へ彼女は行つた。

伯を探しに行つたのである。

監視室には伯と次郎さが、武村を小手を捕えて詰問してゐた。

その枕元には小夜子が坐り、同じく悲しさうに見守つてゐた。

伯と次郎とは武村をしよびいて監視所の方へ行つてゐたので、ダットの負傷は知らないのであつた

再度の來襲は先づあるまい、かう思つて伯は十人の兵を、南部正雄に指揮させて、自動車庫の方へ急行させたので、こゝ病院は靜かであつた。

女達も先程の戰ひで、幾人か負傷し負傷しなかつたものも、ここごく疲勞れてゐるところか、その或者は次の部屋で眠、その或者はぼんやりして了つて、この室は妙に元氣が無かつた。

負傷兵の呻く聲の凄慘さが、いよくこの室を物凄くした。

さういふ室につゝまれながら、洋子はうつとりと考へてゐた。

（ダットさんは死ぬのかしら？）

今朝また別働隊現はれて 安奉線の破壊を企つ
通遠堡林家臺間にて 我討伐隊と交戰敗走

安奉沿線は最近に至り張學良の別働隊出沒し驛或は警官派出所を襲撃する事件頻々として惹起して居る際更に二十三日午前九時ごろ數百名の別働隊が通遠堡、林家臺間に現はれて鐵道破壊を企てんとし驛並に守備隊小里曹長以下○○名と警官隊の討伐隊と交戰約二時間に亘つた後撃退され敗走中で軍隊警官聯合軍は目下これを追撃中である、なほ安東發午前六時四十五分發列車は林家臺で不時停車三十三分遅發した【安東電話】

草河口以東各驛の 家族は安東に避難
社宅に十八家族收容

安奉沿線は最近匪賊の襲撃頻發し危險のため草河口以東の驛員家族は安東に避難し滿鐵社宅に收容してゐるが、避難家族は十五家族で二十三日更に三家族が安東に避難して來た【安東電話】

增派の練習生 けさ奉天へ
半數は安奉線に配置

奉天、安奉沿線附屬地警備充實のため應援派遣さるることゝなつた關東廳警官練習所生二百名は二十三日午前六時四十分旅順驛發列車にて酒井、上野兩警部、小林、畔地兩警部補引率の下に中谷警務局長初め有田保安課長、星子衛生課長以下在旅官民多數の盛んなる見送り裡に喜び勇んで急遽現地に向け出發した、なほ同應援隊は午後三時過ぎ奉天着、約半數同地に下車、殘り半分は直に安奉沿線各地の配置に就く筈

臺灣官民が 慰問金
在滿警官に

朔北の寒氣と闘ひながら滿鐵沿線附屬地の警備に今や悲壯なる奮闘を續けてゐる在滿警察官に對する慰問品寄金は既報の如く地元住民を初めとし內地、朝鮮その他各方面貧富の別なく毎日數十件づゝ續々關東廳宛に屆けられてゐるが二十三日臺灣全島官民より慰問金千四百圓の送附を受けた、二十三日朝までの慰問金總額は二萬四千七百八十三圓三十三錢の多額に上つたが中には無名氏、少年、少女等より涙ぐましい慰問金などもある

輿論硬化に 一驚した
滿鐵遊說隊談

滿洲問題について日本內地の輿論を喚起し滿洲に關する正しき認識を與へんため選ばれて派遣された滿鐵代表の少壯社員渡邊、石岡、村田、長迫四氏はそれぐ分擔して全國に亘る講演行脚を終へて二十三日入港のはるびん丸で歸連したが渡邊氏は語る

僕は北陸及び近畿方面を旅行したが各地共輿論の白熱化してゐたのは寧ろ一驚した、我々の歩いた方面に於ては唯一人の非戰論者をも見出すことは出來ないでした、金澤の座談會を初め色々意見を聽いて見ましたが滿洲については案外內地人もよく知つてゐる尤も事變に結びつけて知つてゐる程度でもつと深く事變に到るまでの眞の事情についてはまだあまり知られてゐないのでこの點を極力說明し且つ在滿邦人の境遇や意氣を說明するに努めた、我々の最も力強く感じたのは今回の事變で一番影響をうける大阪の對支貿易業者が最も根強い主戰論者であることである彼等は何れも自分達の犧牲は甘んじて受けるから徹底的に

[illegible]やつてくれと主張してゐる

兵士ホームは 豫算十萬圓
全國から寄附金募集

全滿婦人聯合會では二十日奉天で緊急會議を開き在滿軍隊のため兵士ホームを開設することゝ及び鮮人同胞並に中國人の爲め隣保事業を開設すること、毎週金曜日を家庭克己デーとすること、會員の連絡機關として會報を發行すること等を決議した事は既報の通りであるが右の事業計畫は大連婦人聯合會がその衝に當る事となり二十四日午後一時より文化協會に於て幹事會を開き種々協議する事になつたなほ兵士ホームは資金十萬圓の豫算なのでこれは全國より寄附金を募集する事となり既に大連キリスト教婦人聯合會は金八百圓、婦人矯風會よりは金四百六十一圓の寄附申込みがあつた

避難鮮人間に 惡疫が流行
滿鐵で一齊健康診斷

滿鐵の調査によれば現在附屬地に收容されてゐる避難鮮人は營口三百十九名、奉天三百二十名、四平街七百十七名、撫順四百名、鞍山五十六名、開原九十六名、公主嶺六百十九名、安東百五十八名、合計二千六百八十五名であるが、之等避難鮮人の衛生狀態は甚だ惡く氣候や疲勞等のため惡疫流行し始めた模樣で滿鐵衛生課では取り敢ず保健、防疫上の見地から各地方事務所及び醫院をして一齊に避難鮮人の健康診斷を實行させることゝなつた、その結果につき防疫或は施療、入院等對策を講究するが既に判明した處では奉天に再歸熱四名、開原に猩紅熱一名を出した外小見間には麻疹が流行し奉天の

時局で多忙の 運輸部に來援

時局の輕鐵と共に目の廻る樣な多忙ぶりを見せてゐる陸軍運輸部大連出張所では森本少佐指揮のもとに或ひは戰傷兵の保護送還に又は戰歿勇士の遺骨の送迎に慰問團の世話から駐滿各隊の諸勇士宛の書簡類の處置から慰問袋の整理、軍需品の受渡等々時局の渦の眞ん中に立つて活動してゐるが、更に運輸部機能の萬全を期する意味で人手を臨時增加する事となり廿三日入港はるびん丸で宇品本部より鎌總辰夫大尉並に神田、北川曹長の來援を得て所內は更に活氣を呈してゐる

北大營潛入の 便衣隊逮捕
隱家に機關銃隱匿

最近北大營に頻々として便衣隊が侵入することは既報の通りであるが、二十二日午前六時頃同兵營第一彈藥庫附近に潛入してゐた一名の便衣隊がわが守備兵によつてまたも逮捕され訊問の結果他に二名の共謀者のあることを自白したので彼等の潛在せる家屋に連行し家宅搜查を行つたところ果して一名の便衣隊と小銃及び機關銃彈藥約百發を隱匿してゐることが判り直に押收した、なほその日午後二時同四時の二回に亘り各一名の便衣隊を逮捕した【奉天電話】

初等學校の 職員獻金

[illegible]如き十三名の患者を出してゐるその他も同樣らしいから先づ附屬地內避難民に對策を施し漸次附屬地外避難鮮支人にも及ぼすと

關東州內の小學校並に公學堂の職員は全員一致年末年始の冗費を省き金一千三百九十五圓四十九錢を醵出し軍隊へ金一千圓、警察官へ金三百九十五圓四十八錢を本日それぐ獻金の手續をなした

滿洲第一線の 狀況全國放送

【東京二十二日發】東京中央放送局では滿洲第一線の狀況の世界中繼放送の計畫であるが一キロの短波機を据つけて大阪放送局が中繼して全國的に放送をする筈である

慈惠醫大から 慰問學生來る

廿三日入港はるびん丸で東京慈惠醫大生加賀美功光君外六名が全校學生代表として來滿した加賀美君は語る

冬の休みを利用して只無意味に過ごすよりはと同志七名が全校生の恤兵金五百圓を軍部に屆けるべく來ましたなほこのうち半分は駐滿兵家族に送るべく東京で既に新聞社の手を經て送りました

軍艦八雲入港

時局の推移により新たに第二遣外艦隊に加へられた海防艦八雲(九千六百噸)はさきに佐世保より來旅待機中であつたが既報の如く廿三日大連に廻航午前十一時港外にその灰色の勇姿を現はし正午第四埠頭三十八番バースに繫留した、艦長は新見政一大佐、乘組員七百餘名、いづれも士氣大いに旺なるところを見せてゐるが炭水補充約二日間滯泊の筈である

聖德會の施飯

大連聖德會にて例年行ふ聖德太子堂境內の施飯は今年は事變による鮮人避難民等により特に一ケ月早く施飯することゝなり廿三日より開始された、施飯時間は午前中は九時より十一時まで午後は三時より五時まで來春三月廿三日まで行ふと

敦賀丸を買收
支那側の進出

[illegible]汽船敦賀丸(七百五十噸)を買取り專ら山東各港就航に當てる事となり二十三日海務局宛敦賀丸國籍消滅の屆出あつた

解決するまでは 寶館に籠城する
解雇手當て從業員頑張る

あわたゞしい歳末に際し失業問題に直面した寶館從業員男女十餘名は寶館に陣取り爭議狀態を續けてゐるが、代表者新名は二十三日も大連署に出頭、誠意なき吉田館主の橫暴を訴へ最期の目的通り

一、吉田館主との口約に基き退職金として給料三ケ月分を支出すること

二、營業讓渡の權利金六千圓のうち一千圓提供を吉田館主に要求すること

の二案のうち何れかを實行さすべく當局の斡旋を嘆願してゐる、大連署では双方の仲に立ち調停してゐる、吉田館主は退職金として給料半ケ月分を三圓の月賦にて支拂ふと主張し、極めて誠意なきため從業員側は承知せず、問題解決までは寶館に籠城すると頑張り正月を控へて悲痛な叫びを揚げてゐる

飲酒し暴行

大連社會館止宿城市行商伊藤鶴吉(二二)は廿二日午後四時半ごろ連鎖街飲食店中松屋にて飲酒中隣席の者に暴行を加へ手に負へないので附近を通り合せた小崗子署警戒員がこれを取り鎭めんとしたところ喰つてかゝり暴行を加へんとしたので檢束した

埠頭嚴重警戒

師走の聲と共に特に出廻りで多忙繁雜を極める埠頭構內にコソ泥が出現し野積の豆泥棒や倉庫破りが頻發するので本年はこれが徹底的絶滅を計るべく水上署では日夜警邏班によつて嚴戒の目を光らせてゐる

密輸女を檢擧

大連署司法係では二十二日夜市內某所から加美リヨ(四)を拘引し銃砲火藥取締違反で留置したが、右はさきに檢擧された多久島一味の犯罪と似通つた時局を當て込んで拳銃密輸を行はんとした一味の手先で相當連絡者あるらしく目下搜査を開始してゐる

天氣豫報

二十四日

北西の風(晴)

各地溫度

廿三日午前十一時

	最	廿二日低
大連	零下五・二	零下五・七
旅順	同二・六	同五・〇
營口	同七・七	同一三・三
奉天	同八・一	同一五・一
長春	同一二・一	同二三・六

暴風警報 風强かるべし二十三日午前八時遼東半島附近に警戒す

けふの小洋相場(正午) 金百圓は一六九圓五錢

新人を待望する
今年の運動界を回顧して(上)

希望に輝く第十回世界オリンピックを前に控へた千九百三十一年の日本スポーツ界の跡を辿つて見ると、先づ第一に

明 治神宮體育大會に於ける陸上の織田南部兩選手の活躍である、前者は三段跳に於て千九百二十四年濠洲のウイター選手の作つた十五米五二を破つて十五米五八に、後者は走巾跳に於てハイチのカートー選手保持の七米九三(千九百二十八年に作る)を破つて七米九三にそれぐ世界記錄を更新したことである、世界オリンピック大會を除いて一國內の同一競技會で同時に二つの世界記錄が作られたことは世界陸上史上未曾有のことである、更に明治神宮體育大會に於ける二十になんなんとする日本新記錄の樹立と府縣代表の青年層選手の

活 躍である、從來日本の陸上競技界は學生中心であり僅に一部マラソンのみ青年層選手の活躍するところであつたが時代はひとり陸上のみならずスポーツを一部特權者たる學生の手より離れ今や大衆化されたるスポーツとなつて青年層に急激に普及したのである、この結果、この兩三年度には日本の陸上競技界は學生中心と青年層中心との二大勢力に分野されるであらうと云ふ豫想もあへて机上の空論ではなからう又今春は米の短距離のシムプソン、投擲のロゼート、スイスの中距離のマルタンの世界三大陸上選手を招聘してその片鱗に接することを得た

◇ ◇

この間にわが滿洲陸上界では?春には滿鐵に於ける恒例のリレーカーニバルあり續いて

奉 天に於ける滿支代表選手及び滿鮮邦人代表選手による奉天國際運動場開きあり更に秋には全日本選手權大會及び明治神宮大會の豫選會とも云ふべき全滿洲選手權大會開催の豫定であつたが、日支事變のため俄に中止となり滿洲代表選手は濱田、織井、淺見、伊藤、柴田の五選手及び榊生高女の坂田嬢を派遣したのである、結果濱田君は千五百米で一着柴田君は三段跳で優勝し織井君は中隊障害で五六秒二の日本新記錄を創造した、今年は例年に比べて滿洲陸上界は甚だ寂寥の感があつた、對內地大學チームとの對抗ゲームのなかつたことも一因であるが、現在まで

滿 洲陸上界の中堅とも云つた仲田、小數賀等引退し松重、濱田、八重樫、渡邊等もすでに引退期に入らんとする折から新進の出でざることが最大の原因であることが見逃せない事實である、明治神宮大會初期に於ける滿鐵のマークをつけた滿洲代表選手の如何に多く入賞し、日本陸上競技界を內地と滿洲とに二大分野せし感ありし時代を思へば甚だ寂寥の感を深からしめる、ただ多年懸案なりし滿洲學生陸上競技聯合會委員長村上國平氏と工藤松田委員の努力に依り成立したことがせめてもの收穫である、第一回大會の記錄は內地中等學校大會にも及ばざる貧弱なものであつた、然し彼等の前には洋々たる前途がある又この成立により不振なりし滿洲學生陸上競技界に一つの光明を與へたものとも

學 云ひ得よう洋々たる大海原に棹さして進まんとする若人達に心からの祝福すると同時に新人出でよと絶叫する、松重小數賀仲田の諸先輩により築き上げられた滿洲陸上王國により一層の光輝を與へんことを祈りたい

クリスマスの用意

亡夫の位牌を前に 親子四人心中未遂
零落した高商教授の未亡人が 貧と病魔に惱んで

あと一旬に迫つて樂しかるべき正月を前にして貧と病苦にさいなまれ零落した高商教授の未亡人が三人の愛兒を道連れに親子心中を企てた歳末哀話がある、二十三日午前五時ごろ市內春日町大日ビル三階六號室から斷末魔のうめき聲が洩れて來るのを隣家の磯部安治方で聞きつけ不審に思つて內部を窺ふと異樣な瓦斯の惡臭が鼻をつき十疊の間に女主人玉木トキ(四三)長女照子(二〇)長男淸(一五)次女穂子(七)——全部假名——の四名が枕を並べて假死狀態に落ち入り時々苦悶の聲を發してゐるを發見、驚いて春日町派出所に急報、警官が驅つけ窓を開け放ち瓦斯を發散させたうへ、本署から桑野警部補香取警醫が驅つけ應急手當を加へた結果親子四名共生命を取止めた室內には遺書さてなかつたが母親トキは一家心中を覺悟し佛壇には亡夫の位牌に新らしい花が手向けられてあり瓦斯管は臺所から十疊の寢室に引き入れてあつたが瓦斯の發散時刻は發見より二三時間以前らしく未だ室內に充分に充滿してゐなかつたので窒息を免れたものである

夫の死亡から ドン底生活
淚を誘ふ哀れな一家

玉木一家は數ケ月大日前ビルに移轉して來たものでトキの夫は曾て長崎高商及び日滿協會教授を勤め其後關東廳に奉職囑託經濟調査會主任として昨年一月まで在職してゐたが病氣のため辭職療養中同年二月遂に妻子四名を殘して死亡したそれ以來一家の境遇は忽ち轉落し母親トキは腦膜炎に惱まされて働くことも出來ず苦しい家計のうちからも夫の退職金などで遺兒三名を小學校に通せてゐたが、蓄へもやがては盡きて一家は赤貧洗ふが如き慘めな狀態となつた、それでも足らず惡魔はさらに一家を呪ふて昨今三人の子供が代るぐに病に犯されその日の糧すら窮するのに愛兒の藥代もなくトキは遂に決心し總てを淸算して苦み多い浮世を免れやうと廿三日深更瓦斯管を引入れ三人の子供と枕を並べ靜かに死に就いたのであつた、なほ長男及び次女は現在某小學校に通學中

武門血笑記(5)

下村悦夫作　工藤義正挿畫

謎の行方不明(二)

織馬と作樂の二人が、荒馬ヶ原の仕置場へ出掛けたのは、お蓮の一團が、そこを引上げた後のことであつた。

星明りを便りに、原を横切つた小徑の叢を掻き分けながら、獄門臺の近くまで來ると、二人は、目當りの方角にじつと瞳を注いで、云ひ合はせたやうに一寸歩みを停めた。

「あすこら邊だと思はれるが」

織馬が指を上げる。

「む！灯が消えてゐるやうだ喃」

と作樂。

どちらもそれ以上、口には出さなかつたが、何か不吉な豫感に驅り立てられるらしく、自と足が早くなつた。

「此處だ」

「露木氏ッ」

「露木氏ッ」

「やあッ、首が見えぬぞッ、早く灯をッ！」

二人は周章てゝ、蠟燭に火を灯した。

「無い！矢張りッ」

「むゝ」

織馬も作樂も、首の失くなつた獄門臺の上を見上げたまゝ、暫くの間、愕然と立ちすくんだ……。

「愈々變だなあ」

織馬が作樂の方へ顔を向けた途端、それに答へないで、ぢつと地上に眼を向けてゐた作樂は、急に、五六歩つかつかと進んで、小腰を屈めたかと思ふと、何時にない鋭い聲で云つた。

「見給へ、この血は、今朝程の秋人の血ではない！つい今し方、こぼれた血だ！ほれ、彼方にも夥だしい血ぢや」

踏み荒された荒地の彼方此方に、どす黒く浸染んでゐる鮮血。

石塊や、草の葉に點々と飛び散つてゐる生血の飛沫、それは、つい今し方、其所に烈しい亂鬪のあつた事を、明らかに語つてゐた。

(それにしても、手負の人間も、死骸もてんで見えないのは、どうしたものか)

二人の若侍は、闇の中に浮び上つて來る友の危急に、心を苛立たせながら

「露木氏ッ」

「露木氏ッ」

と興奮に顫へる聲で、四邊の草原中へ呼びかけた。

「駄目だッ、一體どうしたんだらう……？」

織馬は、先刻から幾度も繰返した同じ言葉を、堪りかねて、また作樂に云つた。

「此上は、兎に角、先生のお邸へ行つて、お指圖を受けるより仕方がない。案外無事に斬り抜けて歸つてゐるのかも知れない。いづれにしても、無事なら、先づ先生のところへ歸る筈だ」

と、作樂。平常は馬鹿口を叩く以外に、一向要領を得ない男であるが、こうした危急の場合にのぞんで、これは又、意外な沈着振りであつた。

「就いては陣野氏、此場合、少し改まつて話がある。急ぐから歩きながら話する事にしやう」

二人は、急ぎ足に、仕置場から歩き出した。

「——と云ふのは、今宵の膽比べは、貴公も、露木氏も口には出さないが、特別な意味が含まれてゐる事は、よく承知の筈ぢや、ざつくばらんに云へば、鵜飼先生が一粒種、お梨花どのゝ聟選み……」

作樂は、並んで歩いてゐる織馬の、急に強張つて來た顔を、ヂロリと見上げたが、何時になく相手の氣持をぐんぐん押して行くやうな、強い調子で話しつゞけた。

開館した中央映畫館 西廣場に新築成り二十二日開館式をあげ廿三日から松竹映畫上映館として開館したが、定員約九百名で休憩室、賣店、喫煙室等を設け館内設備が整つた瀟洒な映畫館である

キネマと演藝

入江たか子 辭表提出 東坊城監督と新劇團を計畫

【東京二十三日發】日活現代劇部のスター入江たか子は實兄の監督東坊城恭長と共に二十二日午前池永所長宛辭表を提出した新劇團設立の計畫を進めてゐる

噂話

中央映畫館に次いで映樂館の開館日がいよいよ確定し、これで六館全部が揃つて正月を迎へる▲映樂館は吉田館主の關係で藤間奈津門下の藤間舞踊團が餘興に出演し▲きのふの中央映畫館の開館式には出資者の淡月から清元舞踊「北洲」を出し、帝國館の開館式には三田尻の長唄舞踊「小鍛冶」があり▲いづれも新館が花柳界に深い關係を持つてゐるだけに開館式からそれぞれドンナものだと面白い取組を見せてゐるが▲さて軍扇はどこにあがるか、インチキ興行を排撃して正々堂々の陣を張る者こそ最後の勝利を獲得するものだらう▲ところで六館が揃つたら從業員が打つて一丸となり資本家に對抗する何等かの方法を具體化しようと寄々協議をすゝめてゐる

映樂館の開館式 來る廿五日擧行 同日夜間から一般に公開 洋畫で全發聲興行

開館が延びのびとなつてゐた西廣場の元演藝館跡の映樂館は既報の如く露人映畫配給者テラケロフ氏との間にパラマウント・メトロ、フォックス、ユニバーサル、ワーナー各社作品を歩合契約し來る廿五日午後一時から開館式を行ひ、同夜間より開館興行の蓋をあけることに確定した、館主は前寶館主吉田眞三氏で支配人を兼ね、解説者は宮地莊吉、櫻井滿兩氏で映寫設備はシンプレックス(ペヤレス)とWE式發聲裝置をなし、全發聲興行である、開館興行は既報の如くメトロ作品「ダイナマイト」及び「有頂天時代」で開館式のプロは左の如く藤間舞踊團の餘興がある

舞踊「鴨川小唄」藤井世喜子、中西節子、玉置政子、北村美智子、加茂千惠子▲舞踊「お光の唄」北村光江▲發聲映畫「村の床屋」▲舞踊「酒は涙か溜息か」てまり▲舞踊「れんれころり」猪萩幸子▲舞踊「片思ひ」吉宇女丸▲舞踊「一寡のお人形」吉田花子▲發聲總天然色「大レヴュウ映畫」▲舞踊「乙女心」宇女丸▲舞踊「滿洲全景」藤井世喜子、玉置政子、北村美智子、加茂千惠子▲發聲映畫「ダイナマイト」

本社特選 新棋戰(其九)

平香交 平手番 五段▲齋藤銀次郎
先 四段△樋口義雄

【圖は六六角迄の局面】

▲齋藤氏「持駒」金銀歩
△樋口氏「持駒」角金銀銀銀歩歩歩

▲七七金　△五六玉
▲五八飛成　△五七金
▲六八龍　△三二桂成
▲同飛　△四三銀打

迄にて樋口四段の勝

【土居八段總評】□本局は齋藤君は後手番の事故相懸りの變化を用ひ銀を戰線に繰り出して攻勢的の方針を立てた。其時樋口君は六六歩とつき敵銀の働きを牽制し專ら穩健策を用ゐて防戰に努めた□齋藤君は騎虎の勢ひ攻勢に努めた際樋口君が四六銀以下の手段を誤つた爲に自營亂れ不利の局面に陷つた□その時齋藤君は攻勢に努め有利の局面を繼續して居たが樋口君に於ても攻防共に善戰し頗る力の入つた面白い局面を現出した□齋藤君は敵の五三銀の打込みに對し一旦五二歩と打つて自營を防ぎ而して攻勢に轉ずれば優勢なるを餘りに調子に乘つて攻勢を採り、五二歩打の好手を逸して敵に危險な桂を渡した爲形勢一變した次第なるが、然し樋口君は危險な將棋をよく守り最後の勝利を得たのは要すに努力の賜である。

【萩原六段解說】後手七七金に對し先手五六玉は安全な順で七七同角と取ると同歩成、同玉、五五角の順や色々の味があつて危險故、五六玉は當然の手である然して五七金と先手を取つて四三銀打の順になつて後手は如何ともすることは出來ない。

滿洲日報

（明治四十一年十月三日第三種郵便物認可）

歐米に特使を派遣し　わが對滿方針を說明
外交官、實業家から人選

【東京二十三日發】滿洲事變の一段落に伴ひ對滿政策は愈々建設期に入るので之を機會に歐米（米國一名歐洲三名）に特使を派遣し在外使臣と共に我國と滿洲との關係及び滿蒙新政權と之に對する我國の態度方針を非公式に說明し、帝國の立場を闡明ならしむる要ありとの聲が閣內の一部に主張されてゐる、右派遣員その他は旣に大藏、陸軍兩省間で意見一致し、來春早々歸朝する芳澤大使の外相就任を俟つて外交官、實業家から人選される筈

閑院元帥宮殿下　參謀總長に御親補
首相恭しく職記傳達

【東京二十三日發】天皇陛下には二十三日午後二時宮中鳳凰間に出御、犬養首相侍立の上參謀總長並に軍事參議官の親補式を行はせられ、閑院元帥宮殿下に參謀總長に御親補の勅語を下賜、犬養首相より恭しく職記を傳達、次いで金谷大將に對する軍事參議官の親補を行はせられた

補參謀總長　元帥陸軍大將大勳位功二級　載仁親王

免本職補軍事參議官　參謀總長陸軍大將正三位勳一等功四級　金谷範三

河北の兵匪を討伐
營口部隊に出動命令

河北以北の兵匪は我軍隊に敵對行爲益々惡化しつゝあるので〇〇聯隊が斷然これを討伐することになり二十三日早朝を期して〇隊を〇〇方面に向つて出動せしむることになり二十二日深更出動命令が下つた【營口電話】

彰武方面の鮮農避難
打通線別働隊

打通沿線一帶の各部落は張學良の別働隊の跳梁により何れも掠奪暴行を受けつゝあるが二十一日來彰武方面の鮮農は續々新民へ避難し來りつゝあり、右は同地方にある騎兵第三旅の暴虐甚だしくなれるためであると【奉天電話】

本庄軍司令官の視察　二十二日遼寧大學飛行場で

別働隊
開原近郊出沒

二十二日午後四時ごろ開原驛を距る東北方約半里の地點に騎馬の兵匪約二、三十名現はれたとの報により獨立守備隊では一個小隊を裝甲列車にて派遣、開原署からも堺警部補部下十名を率ゐて急行、賊はわが軍の威嚇射擊に驚き逸早く宵暗に紛れて姿を消したがこの賊は我守備隊出動の後を襲つて後方攪亂を企てゝ居る別働隊の尖兵と見られわが軍では開原署と協力しこれが搜査中である【開原電話】

戰時氣分漲る門司
滿洲出動部隊を歡迎

【門司特電二十二日發】滿洲出動の久留米〇〇隊〇〇兵は百武大尉引率二十二日午前八時十三分久留米發同十一時二十分門司驛到着し　また小倉〇〇〇〇聯隊及び〇〇〇〇〇〇聯隊〇〇大隊本部と〇〇中隊は二十二日午前九時小倉北方兵營を出發、步武堂々と五里の途を徒步で午後零時半門司に着したが沿道市民は堵列して萬歲歡呼見送りをなし殊に門司市は煙火と萬歲に湧き返る賑はひで全市を擧げて歡迎してゐる、今夜一泊二十三日午前十時から東秦丸、第十一平榮丸の兩艦に乘込み午後五時出發〇〇に向ふ筈、なほ福山〇〇隊を乘せた宇品丸は二十二日午前四時半關門海峽を通過したが、宇品で〇〇隊及通信隊、衞生隊を乘せた大華丸は今朝門司入港、又山口〇〇隊を乘せた中華丸も今朝入港何れも炭水補給後午後三時門司發、鳥取〇〇隊を乘せた第七平榮丸は二十二日午後四時半關門海峽通過の筈であるが二十三日朝姫路混成〇〇旅團兵を乘せた吳淞丸も門司で炭水補給同日午後四時發の筈で關門は戰時氣分旺溢してゐる

宇品港出發
姫路と岡山部隊

【廣島二十二日發】昨日出征兵を送つた宇品港は本日又姫路部隊輸送で朝まだきより動搖めき午後零時三十分廣島第〇師團長は運輸前廣場にて出征兵に訓示激勵し官民の沸くが如き歡呼裡に姫路部隊は吳淞丸にて午後三時三十分岡山部隊は第十一平榮丸にて午後三時四十分一路目的地に向け出發した

馬家塞の敗兵を
裝甲列車で掃蕩

過日馬家塞に於て我軍のため擊破せられたる敗殘兵約百五十名は中固驛の西南方約四キロの地點に兵力を集中し山頭堡附近を北進中との報により森獨立守備隊司令官は二十二日午後八時半第〇裝甲列車に出動せしめ兵匪掃蕩を命令した【開原電話】

法庫門方面狀況

法庫門方面を掃蕩進擊中の我獨立守備隊第〇大隊は二十二日午後一時半頃法庫門南方に於て大砲を有する數百の敵と遭遇し互に壯烈なる砲火を交へたが我軍は戰死二名負傷者十名を出した、また混成旅團は二十二日正午頃大門嶺（法庫門南方四里）附近に到着攻擊準備中である【開原電話】

通江口方面狀況

通江口方面の兵匪掃蕩のため進軍せる我第〇大隊は二十二日午前十時から十一時に亘り龍王廟附近にて數百名の兵匪團と遭遇激戰の後完全に敵を敗走せしめた、敵の遺棄した死體二十數、馬三十その他馬三十頭を捕獲したこの時東北方から第〇大隊の砲擊殷々として聞えてゐるが、右大隊も盛に敵と激戰中と思はれる【開原電話】

共匪討伐の
孫軍引揚

【上海二十二日發】當地官邊入電に依ると廣西省瑞金に在る中國ソウエート政府は一月一日までに九江を占領せよとの命令を發し共產軍は東固、吉安を占領し吉安の中央軍第二十八師長公秉藩を捕虜とした、一方廣西省中部一帶にて共匪討伐中であつた孫連中は國民政府の外交軟弱を理由に討伐を拒絕し軍を南昌に引揚げた

關東軍當局談

經るに從ひ熾ひつゝあり十一月下旬關東軍が平和的顧念をもつて新民方面より西進するの企圖を自制中止し只管支那側の覺醒を待つて匪勢の衰ふるを期してゐたるが、事態期に反し、遼西一帶は殘忍兇暴なる義勇軍、別働隊、正規軍、公安隊並に純馬賊等合計十萬强の武裝團の蟠居地帶と化しその勢漸次東進して停止する所を知らず、南滿洲一帶に活躍しつゝある匪賊は逐日猛威を逞うしてゐるが、之を概觀するに南滿鐵道以西、卽ち遼西一帶のものは同線以東のものに比し漸次其數を增加すると共に、これが組織統制もまた日を經るに從ひ…軍の行動は隱忍に隱忍を重ね、その發動するや規を越えずして今日に及びたるも慨況旣に斯くの如くなるに於てはなほ忍ぶときは南滿洲の治安は遂に根底より覆されるに至るべきに鑑み、軍は已むなく遼西一帶匪賊の剿滅に着手するに至れり、若しそれわが討匪行爲を妨ぐるものあるに於てはその何者たるを問はず　これを除去するに毫も躊躇するものに非ず【奉天電話】

重大使命の
南大將京城入り
「自分の總督說などどうでもよからう」

【京城特電廿二日發】今後の對滿政策樹立の重大使命を帶び渡滿の途にある前陸相南次郎大將は河邊副官、河邊中佐を帶同廿二日午後七時着列車で入城、滿一年振の來鮮で舊知の地だけに非常に打ちとけ往訪の記者に對し次のやうに語つた

今は國民擧げて奮起すべき秋である、日本はつとに門戶開放を聲明してをり滿蒙の幸福のためには多大の犧牲をおしまぬつもりでそのためには是非統一した機關の設置が一日も早く必要である、統一機關の內容は經濟、外交、交涉の各部を具備したものでなければならぬ、朝鮮人の滿洲進展は滿洲自體のためにも必要で生活程度は高いが物に熱し易くさめ易い日本人より滿洲の進展にはより適してゐることを認めればならぬ、自分が滿洲都督などゝしきりにいつてゐるが、いたづらにそうしたことを云ふことは世界列國或は支那からいたづらに猜疑の眼を以て見られるだけで

看板や名義はどうでもよいではないか、要は統一した機關を早く設けることが必要である今度は出來るだけ廣い範圍に視察するつもりで又出來るだけ各方面の人とも膝を交へて語つて見たい、東京に歸るのは一月十日頃にならう

なほ同夜宇垣總督の晚餐會に臨み廿三日は林朝鮮軍司令官と會見し同夜七時廿分發で北行【寫眞は向つて左が南大將、右が出迎への林軍司令官】

大冶附近に
共匪來襲
軍艦小鷹警戒

【漢口二十二日發】昨二十一日大冶下流五十支里の漳源溝に共產軍約一千名襲擊大冶を脅かし軍艦小鷹が嚴重警戒してゐる

金毓紱氏近く
敎育廳長後任

前敎育廳長金毓紱氏は事變以來引籠り中であつたがこの程自由の身となり廿一日の省政府祝賀式にも參列したが近く敎育廳長に復活するものと見做されてゐる【奉天電話】

熱河の湯氏
近く意思表示
奉天に代表を派して
臧氏と共同動作に出でん

熱河の湯玉麟氏に對しては奉天新政府成立前後より代表を特派して投降を勸告してゐるが數日前もまた某特使を承德に派し說伏に努めた結果湯氏も大勢の赴く所を知り不日代表を臧省長の下に派し共同動作を執るべき意思表示をなす筈であると【奉天電話】

事、嵯峨守備大隊長臨席の下に開廳式並に祝賀會を催すが當日は同地日支官民多數參列の筈である【奉天電話】

南京新政府財政
極度に窮乏
廣東派の責任重大

【上海二十二日發】第一次中央全體會議の閉會式終るや蔣介石氏は後事を孔子氏其他腹心の者に托し責任を廣東側指導者に轉嫁して下野へ引揚げてしまつた、會議進行と共に上海和平會議の決議案を中心に統一政府の組織が議せられるが、新政府組織の基礎的條件たる財政狀態は甚だ窮乏してゐる、卽ち宋子文等財政部員の辭表提出後同部並に所屬各課は重要事務を停止し事務引繼の準備に着手し職員の俸給は二十二日まで支給し、それ以後は新政府に支拂はせる旨發表し、上海辦事處は近く南京に移轉するに決し、財政部は財政部の活動を停止したも同然だが、之は每月二千萬元の不足を告げてゐる政府收入が十二月に入つて更に減少の見込みである、且つ八千萬元の金融善後方針も目下のところ關稅收入激減のため不良で未だ見込み立たず、新政府へ責任を轉嫁するものと觀られ、愈々押詰つて成立すべき新政府の財政當局には何人が就任するか未定だが全國代表會議で國家財政に就いて宣言を發表し公債の元利償還を迫つてゐる狀態で新政府に課せられたこの難關は南京側の逃げ出しに依りむざむざて廣東側の責任において處理せねばならぬこととなり廣東側に新財源捻出の方法なき限りまたも蔣介石派の手に乘ぜられるべき機會を作り出すことになるのではないかと觀られ又財界自體も極度の金融梗塞に惱んでゐる際各方面の注目を惹いてゐる

全體會議開會式
中央黨部大禮堂で擧行

【南京二十二日發】第四次執監委員の第一次全體會議開會式は午前九時中央黨部大禮堂に擧行南京、廣東兩派委員に過般辭職した蔣介石、王正廷等も出席した、明日から會議を開く筈である

蔣夫妻奉化へ

【南京二十二日發】蔣介石氏は夫人宋美齡同伴飛行機で鄕里奉化に向つた

東北艦隊動搖
凌霄以下逮捕

過日來東北艦隊の謀叛說が傳されたが聞く所によれば東北海軍第一艦隊司令凌霄以下の各艦長は最近北支の反張學良派の策謀に應じ全艦隊を率ゐる勞山灣に至り獨立を宣言せんとしたところ沈鴻烈司令は事前にこれを探知し各所の艦隊を勞山灣に急行せしめ凌霄以下を逮捕し青島海軍司令部內に拘禁張學良の指示を求めたのだと【奉天電話】

新民府で自治
委員會を組織

新民府維持委員會は奉天省政府の成立と共に二十一日限り解消し新に自治委員會を組織したが二十三日午後一時より縣署に於て吉屋鎭…

シチー銀行
外銀に追隨
爲替市況混沌

【大阪二十三日發】對外市場米日爲替四十弗臺割に市場は益々惡化

馬、張兩氏の協調
近く實現されん
齊克線鐵橋は近く修理
山西滿鐵理事視察談

チチハル方面に出張中であつた山西滿鐵總務部長は二十三日午前八時着列車で歸連したが氏は語る

チチハル城內は軍隊が守備してゐるので至極平穩である、商店も全部平常通り開店してゐるらしい、城外は依然匪賊が橫行してゐるが軍隊が時々討伐に向つてゐる、馬占山と張景惠との協調は一時兩者の間に色々經濟もあつたらしいが最近圓滿運ばれてゐるらしく年內或は正月早々張氏が赴齊就任することゝならう、奧地からの特產物は途中匪賊が多い爲めに少なからず障害となつてゐるらしい、齊克鐵道の橋梁修理も近日中に着手する由である、邦人は從來の在留民に公所關係者、囑託其他合せて二百名許りであるが皆一致して仕事してゐる、總裁の更迭問題を皆心配してゐるが內田總裁の如き滿鐵の昔からのことに精通した人物は他に到底得られないから是非留任して貰ひたいと云ふのが一般の意見である

市參事會議案追加

大連市役所では廿四日午後二時より市參事會を召集するがなほ既報の會議事項に左の通り追加された

一、市參事會第二十三號議案の件
一、市參事會第二十四號議案の件
一、昭和六年度大連市歲入歲出豫算更正の件

大連錢信の
株主總會

大連錢鈔信託株式會社の定時株主總會は二十三日午後三時半より開催され、第二十九期營業報告書、貸借對照表、財產目錄、損益計算書、及び利益金處分案を原案通り承認可決した、そのうち取引人獎勵金は四千圓にして、出來高減少のため前期並に前々期より六千圓を減じられ、株主配當金は前期通り年一割である、なほ元取締役高崎弓彥氏及元取締役藤久太郎氏に對する退職慰勞金の件は重役に一任となつた

利益金處分	
當期純益金	一〇七、九八八
前期繰越金	四一、七四三
合計	一四九、七三二

此處分左の通り

法定積立金	五、四〇〇
命令積立金	一〇、八〇〇
使用人退職手當基金	四、〇〇〇
役員賞與金	九、〇〇〇
株主配當金	六一、五〇〇
取引人獎勵金	一四、〇〇〇
後期繰越金	四四、〇三二

金禁輸說を
米當局否定

【ロンドン二十二日發】米國政府が金の輸出禁止を斷行せんとの說あるに對し本日大藏・國務兩當局は右問題は關知しないと言明しこれを否定した

禁止の必要はない
日銀副總裁談

【東京二十三日發】二十二日東株後場引際に於て米國金輸出禁止說を材料に大市の動搖を示したが深井日銀副總裁は右につき

アメリカは世界の金の二分の一を所有し對外的に見ても銀行の信用は動搖してゐる…對內的に禁止の必要はない、禁止說の理由とする…ところは兌換發行…部の少數意見だからおそらく禁止はあるまいと語つた

東京の懸念を
米國で意外視

【ニューヨーク廿二日發】アメリカ金本位停止風說に東株市場が急落したとの報につきニューヨークの有力銀行家は…ないとて東京の懸念を意外視して居る

滿蒙時局を題材とする四大雄篇

社説

滿蒙樂土の宇宙觀的根據

東洋文化の確立　西洋文化の助成

目下世界人の惱みは思想難と經濟難にある。此兩難は何から來るか。帝國主義、資本主義から來て居る。帝國主義、資本主義は希臘に始まり、羅馬に成長し歐米近代國家の發達によつて成熟した。大體白人文明の所産である。白人文明は元來宇宙の差別觀から發生したもので、萬物反撥爭鬪の一面を見て、其融合和平の一面を閑却するに傾く弊根は其處にある。帝國主義と資本主義とが爛熟して、其弊害甚大、人類の苦惱爲めに窮極するに及び、之れが救濟法として社會主義を生じ、又共産主義を生んだ。併しながら此の社會主義や、共産主義も、亦同じく差別的宇宙觀に根柢を置くもので矢張り爭鬪主義たるを免がれない。いくら理論は巧みでも、爭鬪主義の輪環を廻つてゐる限り、人類の惱みを根本的に救ふ事は出來ない。寧ろ益々深刻になる。見よ平和運動の如何に旺盛なるかを。而して世界平和機關の、乃至平和的條約の既に設立され、又設立されんとするものの如何に多きかを。之れ皆世界人の苦惱の多大なるを示すもので、且つ之れを脱却せんとする希望の旺盛なるを示すものに外ならぬ。而して更に見よ、それらの結果が毫も其の目的に叶ふものにあらざるを。和平會議はいつも鬪爭會議である。新平條約は鬪爭條約のまやかしものである。

◇

世界人懊惱脱却の途は、鬪爭主義の輪環を破つて、其埒外に出づるより外にない。眼光を別方面に放つて、人類の生きる途を他に求むる外にはない。即ち全然異なつた方面、平等的宇宙觀に立つ融合和平の人生觀に立脚した救濟方法を求めるより外はない。白人中の識者は既にそれに氣附いて居る。而して其爲めに東洋的文化に眼を向けて居る。無意識的に或は意識的に。但し彼等の差別觀的爭鬪主義は病既に膏肓に入りたりとも云ふ可く、容易に彼等の脚下に纏まる紅系線を斷離する事が出來ないのである。

◇

此處に是非共引合に出されねばならないのは佛教と儒教である。此れは差別即無差別、不平等即平等の宇宙觀人生觀から流れ出たもので、全く東洋人の所産である。別に道教もある。之れも矢張り平等無差別觀に出發す。吾々日本人としては神道を殊に顧念せねばならぬ。是れ亦和平的、無差別的の宇宙觀人生觀に根原を發し、佛教、儒教、道教に培はれ、最近には基督教も、歐米の科學思想も入つて來た。是れが日本人の對世界的理想の根柢を爲す。佛教も道教も儒教もすべて大に所落して年既に久しい。本來の平等無差別觀を忘れて、極端な差別的不平等に捉はれた。それが今まで東洋の振はざる所以。西洋文明に壓せられた所以である。吾々東洋人は今や覺めねばならぬ。一旦所落して迷ひ込んだ差別觀の眼から見た爲めに、西洋の差別觀の成熟相を見て羨ましくなり、それに做はんとしたが、今や本家の西洋でそれが動揺して居るではないか。東洋人は東洋人の本來の面目を見ねばならぬ。而してそれにより西洋人の爲さんと欲して爲す能はざる所を助成してやらねばならぬ。此れが我日本國民の世界的使命である。此使命を信念と爲す事によりてのみ、日本は生きる。生きて世界の光となり得る。

◇

鬪爭に飽きた西洋人が、如何に和平を欲するかは前にも例證した。彼等が如何に平等を欲するかは、其政治に立憲主義を發明し、其經濟に社會主義を發明した事によつて證明し得る。政治に選擧制を作り、選擧制には政黨比例代表法、又は職業代表法などを案出するが、いくら考へても政治平等權の理想には遠いものとなる。經濟に私有制自由競爭法を確立し、公平を期する爲めに法律と司法とを如何に巧妙に案出しても、民衆生活の不平等は益々募る。共産主義まで進んで見ても、矢張り階級鬪爭を出です、眞誠の共産、公平和洽には益々縁が遠くなる。

◇

國境を見ず人種を見ず、新國滿洲に世界人の樂土を作るが理想だといふ事は、今や日本人一般の認識する所で、これが其信念とならんとする。曾つて田中外務大臣も之れを唱へた。今は我外務省も軍部樞要の人士も皆之れを高唱して居る。近時發生した滿洲新政權の中心人物も、亦皆之れを唱道して居る。樂土とは何か。現在世界人の苦惱から解放された地方、といふより外に意味はない。經濟難、思想難より解放された土地である。現在世界人の均しく望んでしかも世界のどこにも未だ見られない光明地域の意味である。帝國主義資本主義の弊害を超越した地方である。差別を絶し、不平等を斷ちたる別天地である。

◇

……家であると共に、新天地である世界の模範區域である。此の新天地の實現によりて滿蒙が救はれるのみならず、日本が救はれ、支那が救はれ世界が救はれる。今や此の大使命が日本國民の双肩にある。固より斯くの如き大理想が容易に完成しやうとは思はれない。併しながら此信念を持ちて、此理想に一歩を進むる事によりてすら、既に日本の經濟國難、思想國難を救ひ得る。但し此理想に到達すべき方法はまだ〳〵研究されて居ない。吾々日本國民は大に此れから研究せねばならぬ。始めには、卑近細小な所から着手せねばならぬが、それにしても、此大理想を根柢に置く可きである。新滿蒙の曙光が其處に發見される。

最早や議會解散は疑ひを容れず

民政の正副議長獨占

【東京二十三日發】第六十議會は解散氣構裡に二十三日召集された。犬養内閣成立後日尚淺く議會の中心題目たる明年度豫算案の如き行政整理を初めとし大部分前内閣の編成になるものをその儘踏襲しているので議會が順調に進行するとすれば朝野論戰の主題は一に金輸出再禁止問題に集中されるわけだが、現下の大勢より見れば犬養内閣組閣早々に敢行した金の再禁止は正金の弗賣持ち一億七千萬圓の善後處置問題にもその一端が窺はれるもの丶如く、時日の經過に連れて朝野兩黨の政策的對立も一切の妥協を許さざるに至つて唯一の緩みの綱も絶たれた狀態に置かれてゐる、まして野黨が絶對多數を擁して召集日の議長副議長選擧を獨占するに至つては最早や解散必至は何人も疑ひを容れざる處となつた

貴院の質疑整理問題協議

【東京二十二日發】貴族院は廿二日午後二時院内議長室に各派交渉會を開き徳川議長の提唱にて決定せる貴院制度調査會の決定に基き國務大臣の施政演説に對する質疑整理問題を議題として意見交換の結果質疑時間の制限、質疑演告者の先陣爭ひ防止等は調査會を承認したが質疑内容を通告せしむること並に質疑範圍の逸脱の具體策は實行困難な點あり會案は各派で熟議することにし同三時散會した

大藏省券五千萬圓發行

【東京廿二日發】大藏省は國庫收支が豫想程の手詰を來さなかつたため二十三日差當り大藏省券……千萬圓を發行した

衆議院議長に中村(啓)氏當選す

【東京二十三日發】衆議院の議長選擧は既報の如く田口書記官長議長席につき二十三日午前十時二十分から行はれたが、開票結果左の如し、投票總數四百三十票

中村啓次郎（民政）

河波荒次郎（民政）

河西豐太郎（民政）

木下成太郎（政友）

藏園三四郎（政友）

菅原　傳（政友）

松谷與二郎（無産）

鷲野米太郎（國同）

堀部久太郎（國同）

瀬川　嘉助（政友）

小山　松壽（民政）

豐田　收（政友）

となる、即ち中村啓次郎氏大多數を以て第一候補に當選、次いで河波、河西、木下、菅原四氏より第二候補選擧の投票に入り再び堂々廻りに入る、開票の結果（投票總數三四六票）

河波荒次郎（民）

河西豐太郎（民）

菅原　傳（政）

木下成太郎（政）

となり決選投票の結果河波、河西兩氏候補となり零時二十五分休憩となる

光榮の至り

中村新議長談

【東京二十三日發】二十三日衆議院議長に當選した中村啓次郎氏語る

余は圖らずも衆議院議長の重責を拜命することになつて光榮の至りである、今や國民の視聽は悉く帝國議會に集注されその一擧一動はこれが本來の目的以外に國民思想の上にまで重大な關係を有するのであるから議會の品位を高上し憲法政治の發達の上に貢獻せんとするその責任の重大なるを思ふ懸合自分の如き微力細才の者が果して能くその重責を遂行し得るや否や衷心恐れてゐる、併し同僚多數の推薦を以て既に此の重職を忝ふした以上至誠を傾倒公正事に當り……

民政黨の各委員長

【東京二十三日發】民政黨の全院委員長並に常任委員長候補者及二十六日開院式當日の勅語奉答文起草委員長候補者は左の如く決定した

勅語奉答文起草委員長荒川五郎▲全院委員長鵜澤宇八▲豫算委員長川崎克▲懲罰委員長藤田若水▲請願委員長永田善三郎▲決算委員長岡崎久次郎

政友會議員總會

【東京二十二日發】犬養内閣成立第一回の議會に臨む政友會は二十二日午後二時より本部に議員總會を開き犬養總裁、高橋、鈴木、床次その他黨出身閣僚政務官、所屬兩院議員百七十餘名出席先づ座長に東總務を推し次いで久原幹事長より一場の挨拶をなし土倉幹事から黨員の異動報告あり次ぎに犬養總裁より別項の如き挨拶あり之にて議員總會を終了、直ちに代議士會を開き議事に入り院内總務五名院内幹事八名を選擧次ぎに正副議長候補者、全院委員長、常任委員長候補の件並に勅語奉答文起草委員選擧の件は全部幹事に一任し午後三時過ぎ散會一同は五時より芝三緑亭に於ける懇親會に臨んだ

積極政策で極東問題を解決

犬養總裁の演説要旨

【東京二十二日發】議員總會に於ける犬養總裁の演説大要左の如し

内外多事國家未曾有の時局に直面せるは云ふ迄もない、二年半に亘る前内閣の施政が殆んど悉く政策の宣傳に終り内は國民の生活を極度に壓迫し外は消極事務的外交に終始したる點である、現内閣の責務は勿論政友會が平素大黨の指摘したる政策を實行するに在る、下に公約したる政策を實行する紙面に際し平素の所信を斷行するに易き形態を選びたるは其の一である、金輸出再禁止と兌換停止實行は其の二……

而して之によつて金解禁を清算し一時を空うするも將に涸渇せんとする正貨の流出を阻止したのである實に前内閣の行詰れる政策を先づ以て訂正した後にあらざれば建設に向つて進捗し得ざるもの尠くない特に編成時日乏しき前年度の豫算面に關しては然り、外交に就いては滿洲問題が辛うじて聯盟理事會の決議を締りたるに止まり日華直接交渉で我權益を確保すると否とは繫つて今後に在る我黨は一意自主積極の政策を以つて極東問題の解決に當るものである

圓爲替暴落

正金の未決濟額暴露し　再び市場は大混亂

【東京二十二日發】本日午前の爲替市場は正金の未決濟額一億七千萬圓が暴露さる丶に至つたので買方輸入筋の驚き一方ならず金輸出再禁止以來稍安定しかかつた爲替市場は再び大混亂狀態を呈するに至つた即ち對米爲替はニューヨークに於ける日本向け爲替相場が一弗六十仙安の四十弗四十仙に激落したのと相俟つて前日午後に比し一弗方の暴落年内物賣方唱へ三十九弗買方唱へ三十九弗半一月物は三十七弗賣三十七弗半買以後各月半弗づつの下値といふ最安値に暴落した對英爲替年内物二志三片半賣り二志四片買ひを唱へた、斯くて我圓爲替相場の先行は益々暗澹たるものあり正金銀行も亦依然建値を發表しない

投げ物續出し東株俄然暴落

【東京二十二日發】本日の當地株式市場は朝來氣配良好で政府の積極的政策期待から買人氣旺盛となつてゐたが後場もなほ買氣續き氣配手堅く短期新東六十圓四十錢と……

鈔票新高値

買氣益々旺盛

……の如く當市鈔票は最近漸騰歩調を續け特に二十一日後場以來專ら人氣のため急騰を重ね高値を現出したるところ二十二日第三次日米爲替も一弗續落の八弗丁度を傳へたるため一段と硬化し前場引より高値安値とも五十錢以上上騰し高値は遠期において六十八圓九十五錢まで吹上げた

東支兩國境のロシア稅關

露領側國境驛に移す

滿洲里、ポグラニチナヤ兩國境のソウエート稅關は從來支那側國境驛滿洲里および綏芬河に在つたため支那側稅關と同時に檢査を行ふことが出來非常に便利であつたが今回ソウエート政府では兩地の稅關をそれ〴〵露領側の國境驛に移した、その結果旅客は二重の關稅檢査の面倒を嘗めることになり殊に日本人に對する檢査は最も嚴重を極めてゐるが右の稅關の理由につきソウエート側では

一、ソウエート國境驛の繁榮

二、滿洲里または綏芬河に在るソウエートロシヤ從業員は國境一重で國内從業員と生活振り大差ありその生活は國是に反する

三、滿洲里、綏芬河驛の從業員は密輸業者との結託の機會が多い

の三點をあげてゐるが、事實は滿洲政府移動による變化であることは明かな事實で關係筋から相當に注目されてゐる

銅の減産成立

【ニューヨーク二十一日發】米國産銅組合常務幹事アール・エーカー氏は明年一月一日產額を現在の二割六分五厘となす紳士協約が成立せる旨本日發表、右協約成立の結果米國以外の世界諸國の銅山の約七割が產銅額に影響を蒙る譯である

凶作の東北地方救濟義捐金募集

きのふ關係者の申合せ

北海道および青森、秋田、岩手の東北地方は三十五年以來の大凶作といはれ喰ふに食なく暖を充たすに衣なき窮狀は實に言語に絶せる悲慘事で畏くも天皇陛下には御救恤金を御下賜になり内地各方面に於ても必死の努力を傳ふしこれが義捐金募集を行つてゐるが殊に嚴寒零下三十度の北滿に於て活動し……

ある第二師團および第八師團麾下の將兵がその家庭の窮め給與金を送りつ丶ありと云ふに至つては大連市民としても默過し得ざる處とし二十三日午後三時より市役所に各關係者集まり辛島大連民政署長、小川市長、村井商工會議所會頭、岩井在鄕軍人聯合會長、實性大連、松山滿日兩新聞社長、岡野……

青森、石田秋田、藤根岩手各縣人會長、北海道關係有志を發起人とし義捐金を募集すべく申合せた、右義捐金は一口五十錢以上任意とし各發起人で受付けた義捐金を市役所に於て取纏め寄附者の氏名は大連、滿日に廣告し受領證に代ふる事、募集締切期日は來年一月末日とし尚ほ義捐金の處分は發起人に於て御下賜救恤金の配分率および内務省の調査、道縣の被害程度を斟酌し適當に分配する事にした

赤十字診療所の料金訂正を陳情

大連市内開業醫から

日本赤十字社滿洲本部診療所は創設以來赤十字社本來の使命に基き患者に對し懇切叮寧、料金低減をモットーとし各方面の好評を博し大いに歡迎されてゐるが斯く料金低減の實施は市中開業醫に對する挑戰であり一面資本主義的橫暴もあるからと開業醫の長濱丹治、木村俊郎、比企哲夫、高橋學、梅森實、井波壽吉、竹澤忠郎、中田靜雄、田邊敏吉諸氏の建議により過般開催された關東州醫師會總會は日本赤十字社大連支部長に對し診療所は施療本位とし低減治療を廢し少くとも大連醫院治療規定に準ずる樣にして貰ひたいと陳情する事を決議したので右決議に基き醫師會長および臨屋醫師は左記建議案を携へ二十二日午後三時民政署に辛島大連支部長を訪問陳情する處あつた

建議案

日本赤十字社滿洲本部診療所本來の使命に基づき施療本位とし低減治療を廢し少くとも大連醫院治療規定に準ぜられん事を要望す

理由　當市に醫療機關完備し市民のためには大連醫院および開業醫あり、殊に貧困者のためには聖愛醫院および我醫師團の施療機關あり、社會施設に缺くなきものと信ず、然るに貴診療所は……

……同樣藥價一日二十五錢を徵收しつ丶あり仍て奉天における貴社對大學病院および開業醫との關係の如く改訂せられん事を切望す

右建議す

昭和六年十二月二十二日

大連醫師會長　辻慶太郎

日本赤十字大連支部長

辛島知巳殿

明日拳銃射擊會

射手を二百名に制限

大連市民射擊會並に本社主催の第一次小銃射擊大會は去る二十日春日池畔大連市民射擊會射場において舉行したが、意外の申込者あり結果來る二十五日午前九時より百名に限り小銃射擊を許可することゝなり引續き拳銃射擊大會を舉行することに決定したが射場の關係上止むなく射手二百名に制限することゝなつた、射擊希望者は左記規定を熟讀の上射場受付けまで申込まれたし

▲射距離　三十米立姿

▲射擊　モーゼルブローニング五發

▲射票料二十錢（學生婦人半額）

▲採點法及び賞品

左の三箇班に區別して採點し標準點以上の得點に賞品を授與す

（一）第一班　一般市民（滿十五歲以上標準點三十五點

（二）第二班　學生青訓、標準點二十五點

（三）第三班　女學生婦人標準點十點以上、但し内射擊者より成績優秀なるもの三十等までに滿日賞を授與す

採點方法は大連市民射擊會採點規則に依る

重臣を御慰勞

午餐を賜はる

【東京二十二日發】天皇陛下には歲末重臣御慰勞のため二十二日正午、山本伯、清浦伯、若槻男、水野子、財部大將、幣原男、倉富樞府議長以下各顧問官、東鄉元帥、上原大將その他を宮中豐明殿に召され午餐を賜つた

救濟融資額八百萬圓

賠償金報告書

定期叙位

【東京廿二日發】定期叙位左の如し

叙從二位　正三位　鈴木貫太郎

叙正三位　從三位　床次竹二郎

叙從三位　正四位　荒木貞夫

叙從三位　從四位　秦豐助

叙從三位　正五位　鳩山一郎

叙從三位　正五位　前田米藏

叙從四位　正五位　森恪

　　　　　　　　　島田俊雄

人事

▲池内眞清氏（檢察官）約十日に亘り上海方面に思想事務視察の爲出張中のところ廿二日入港の天丸にて歸任

▲青島佛敎團軍隊慰問使一行六名同上

大観小観

一方に政變が起ると他方も赤相呼應したやうに政變を起す▲日本と支那がいつも言ひ合せたように時期を同じうして政變を起すのは不思議な因緣だ▲日本の議會は愈々二十三日からその幕を開きさなる、支那でも亦賑やかに全體會議の幕を開く▲いやお互の好いことだ、第三國が見たら喜ぶ……

八相　投書歡迎　五十行以内

警察官の採用

一讀者

◇この度の事變以來警察官は日夜不眠不休で嚴寒の今日東奔西走その任に精勵しつゝあることは筆紙に盡すを得ず、我等在滿居住民は感謝に堪えざる次第なり

◇警務當局においては最近漸く二百名の增員を決定し過般内地及び當地においてこれが募集中の由なるもこれらの新採用者を一定期間教習し養成して而して後警備の前線に立たしめんとするは時局多事の秋に際し聊か緩慢の感なきや。

◇現在の如き特殊の時局に際しては從來の巡査募集の方法を變へて現在滿洲に居住する前職警察官を採用すれば、これらは多年の修養と經驗とにより、今日任命すれば今日より立派な警官として用に立ち一時一刻を急ぐ昨今最も當を得たる處置ならずや

◇新しく採用されたる警官が完全に巡査として活動し得るまでには少くとも二ケ年を要するや明かなり、殊に内地より始めて採用されて渡滿し來れるものに在りては、言語、氣候、風土等の關係より更に一層訓練に長期間を要するものあらん。

◇これに反して當地に在る前職者をもつてせば、一度職を退きたるものなりとはいへ、警官としての經驗と膽力に富み、また相當の年齡に達したるとはいへ、最早や人生の七八分を終へたるものにして、生あるもの必ず一度は死すべきもの、この際死するは國家のためなりとの覺悟を充分に有するや明らかなり。

◇警務當局においてはこの點を充分考慮研究の上、一刻も早く相當修養あり經驗ある警察官を現地に送り、沿線各署の現在を助力することこそ刻下の急務たると同時に居留民一般の切實なる希望なり、敢て一書を投じ首腦部に一考を促す次第なり。

市參事會議案

大連市役所では二十四日午後一時より市參事會を召集し左記事項を附議すると

一、臨時出納檢查立會人互選の件

一、市參事會第二十一號議案昭和六年度市稅戸別割第四次臨時賦課額決定の件

一、市參事會第二十二號議案不動產處分の件

一、大連市立實業學校學則制定の件

一、市債償還方法變更の件

時局後援會の會則一部修正

在滿日本人時局後援會は二十二日午後三時半から市役所會議室に於て總會を開き過般常務委員會で立案した既報の後援會々則を小川會長より提案附議したが第四章を左の如く修正して可決し同四時半閉會した

第四章　會計

第八條　本會の會計は會計委員之を掌理し其決算は總會に報告するものとす

第九條　本會の收入は補助金及寄附金を以て之に充つ

第十條　本會の經費は會長の決裁により會計委員之を支出す但し重要なる支出は常務員の承認を經るものとす

教化事業補助

關東廳恩賜財團教化事業獎勵資金では今回州内及び沿線附屬地に於ける教化團體旅順興文會外九に對し一千六百十圓旅順少年團外十一に對し一千七百十圓地方教化聯合會外十三に對し……七百圓計三十六團體に對し四千……圓を獎勵のため補助した

……獨逸ドイツ賠償金に關する顧問委員會報告書は二十三日完成のはずであるが、賠償金債權國にモラトリアムを勸告せるものである

市況（廿三日）

株式

東新引緩り　地場株保合

特產

銀高と共に一齊反落

錢鈔

寄安引高大市保合

商品

麻袋變らず　綿糸緩り

市場電報

奥地市況

お餅は 註文濟みですか

搗かせた一升のお鏡の大きさや目方はどの位あるのでせうか 皆さんご存じです？

一九三一年も餘すところ僅かとなり主婦はお正月の準備で益々忙しくなりました、さて今年の大連市における糯米の相場、搗賃はどんなでせうか、内地肥前糯米が組合協定で一升（搗賃とも）四十三錢となつてゐますが、店によつては十三錢のところを十錢で搗き市内

各家屋 を搗き歩く餅屋さんはこれより安く七、八錢位で搗きます、糯米も内地肥前、肥後滿洲米、臺灣米、支那米とありますが何としても餅の力ときたら内地米に及ぶものはありません、滿洲米は臺灣米に比べますと搗いてブツブツがなく色も白く體裁もよく、見たところ内地米と變りはないやうですが、たゞ力のないのが弱味で一升十八錢が相場となつてゐます、然し臺灣米になりますとブツブツがあり、見たところ體裁はよくありませんが力は内地米と餘り變らない位で一升二十一錢位で求められます、支那米は今年は水害のため凶作で、現在

支那米 とあるのは香港から來たもので普通支那米といふのは上海米で、搗き上げてもブツブツが澤山あり體裁の點から申しますと内地米とは全然比較にならないのです、この香港米は普通内地米ですと一日水に浸して置けばよいのですが、これは二日位浸けて置かねばなりません、さうすれば綺麗にブツブツも少く出來上ります、この香港米は支那（上海米）米に比べますと甘味もあり味もよく十七錢位で求められます、これも例年ですと支那米はうんと安く手に入るのですが、今年は水害のため凶作だつたのとそれに加へて最近銀暴騰の結果殆ど滿洲米と同額となつて居ります

お餅も お餅屋さんにまかせきりで一升のお重ねがどの位の大きさかも知らないでは物足りないのですが、近江町木村屋主人は主婦のために次の樣に話してゐます

お鏡各種の寸法は一合直徑一寸、二合同二寸、三合同三寸、五合同四寸、一升同五寸、一升五合同六寸、三升同七寸、五升同八寸、六升同九寸、九升同一尺、一斗同一尺二寸となつてゐます、今までは餅一升の重量は四百五十匁としてゐたのですが實際の

重量は 五百匁なので最近では五百匁として計ります、三寳を求めます時は餅の直經より一寸ほど大きいものを求めればよいわけです、然し一升のお餅は五百匁となつてゐますが、これは搗いた時の目方で翌日になりますと水分が蒸發し乾くため二、三十匁位は目方が減るわけです、小餅五升の目方は二貫五百匁で、小餅は配達する時に目方にかけられるのですから二百五十匁はたしかにあるわけです、伸餅一升五合の重量は、七百五十匁でこれは固くなるに従つて

目方が 減ります、餡餅は一升で三十三箇出來る事になつてゐますが、お砂糖加減は人の好みによつて違ふわけですが三百匁を入れるとして四十五錢、餅米一升のあんもち（三十三箇）は九十錢でき上ります、この標準量さへ知つてゐましたら、お餅屋さんに何斗注文いたしましても胡魔化される心配もなく安心して注文されます

月極讀者に カレンダー贈呈

美麗な本紙新年附錄

本紙新年附錄として昭和七年の實用カレンダーを月極讀者に限り贈呈致します。第一回は一、二、三月分を新年勅題『曉雞聲』に因んで特に意匠を凝らした臺紙に美麗なる風景寫眞を撮り入れ裝飾と實用とを兼ね御家庭用として最もふさはしいものと信じます

滿洲日報社

子たち向きの Xマス料理（下）

樂しませてやるに相應しいでせう

ロースト・ターキー

製法 七面鳥を求めますに良質のはクリーム色をして居り、胸の骨はしなやかで足も柔らかです、雛鳥は針のやうな毛で覆はれてゐますが老鳥は毛髪のやうな毛が生えて居ます、永く冷藏庫にあつたものは眼がくぼんでゐます、先づ丸燒にする七面鳥の氣を抜き、毛燒をし、次にお湯でよく洗ひます

内臓をとりだすため頸と足を切り去り、頸の皮を胸骨の處まで切りさきそれから其の内の頸を切りおとします、次に肛門の方から内臓を抜き取り腹の内をよく水洗ひし綺麗になりましたら布でよく拭き内部にスタフイングを詰め込みまして針で縫ひ止めます、次に頸の皮の部にも同じやうにスタフイングを詰め針で縫ひます、兩方の上肢を脊中の方に向け、兩足は出來るだけ高く上げ串で止め糸で結びつけ胸部によくバターをぬり、その上に鹽、胡椒を振りかけ蓋のある燒鍋に入れて天火で燒きます、それでも柔かにならない場合は蓋をとつて一時間或はそれ以上燒きます、七面鳥の代りに鷄を丸燒にしてもよいのです。

キャンドルサラダ

製法 各自の皿にレタース（チサ）を敷き、其上かなり厚い切れのパイナツプル（罐詰）を一切れのせ、中央にバナナを半分蠟燭のやうに立て、其の先へ赤いチエリー（櫻桃）をのせ楊子にてとめパイナツプルのまわりにマヨネーズをかけて供します

プラムプディング

▲材料＝クラムス（古いパン屑を細かく碎いたもの）半斤、熱い牛乳カップ一杯、砂糖四分の一斤、玉子四個、乾葡萄（種のない物を刻み粉をまぶし附け）半斤、カーランツ（小粒の乾葡萄）四分の一斤、無花果（細かく刻み）同上、枸櫞（シトロン）細かく刻み大匙二杯、牛脂半斤、ブランデイとワインの混ぜたものカップ四分の一、ナツツメッグ茶匙半杯、肉桂茶匙四分の三、クローブ茶匙三分の一、メース同上、鹽茶匙一杯半

製法 牛乳の中へクラムスを浸し、冷ましてから砂糖、玉子の黄味（打ちて）乾葡萄、カーランツ、無花果、枸櫞、牛脂（きざみて）少量のクリーム等を加へ良く混ぜ合はせ他の品々を全部加へ、バターを引いた型に入れ白味を堅く泡立て、混ぜ込み蓋をして六時間程蒸して供します

アサヒノボル

中満しんいち作　河野ひさし画

（十七）

㊀ タマガダンダンアツクナツタノデチツトミテキルトヘンナオテラノウラノモリノナカノ

㊁ クサノアヒダニオホキナイシガアツテソノイシノナカニフシギニモアリアリト

㊂ キナクナツタオトウサントオカアサントニイサントガシバラレクヤシサウニウツムイテル

㊃ アツトオモツテタイチヤンハイソイデカケダサウトシタラモンガシマツテデラレナイ

蟻とろば（上）

おはなし

平方久直

ある、あついなつの日に、蟻がどこでひろつたか、蝶のしがいをえつちやら、ほつちやらひいてゐました。

のどはかはくし、くたびれもしたし、どこかに水でもないものかと、ハアハアいひながら、ちよつとした葉かげで一ぷくしてゐると何かごろりと目の前へなげだされました。

みるとそれは、人間のたべた梨のすいでした。

このお百姓も、かんかんてりつける日に、一休みして、この梨ののどをうるほしたのです。

よろこんだのは蟻で、さつそくとんで行つてからりつきました。

そして、ちゆうちゆうとさもおいしさうに甘いしるをすふのでした

やうやういきがへつて蟻は、知らん顔をしてゐるお百姓に、心からお禮をいつて、またえものをひきはじめました。

よほど行つたところで、一ぴきのろばにあひました。

もう夕方でした。

「いゝおてんきでしたね、ろばさん」

と、蟻はきげんよく聲をかけました。

ろばは、

「ふん」

と云つて、白い棒のやうないきを、はなからはいて、蟻を見下しましたが、

「いゝおてんきだつて、おいらおもしろくもないや」

と、ぷんぷんしてゐるのです。

「何をおこつてゐるのです？」

と蟻はきゝました。

「おいら、この世に人間なんてひどいやつがゐなけりや、どんなにゆくわいだらうと考へてゐたんだよ」

蟻は黒いめだまをくろくろさしておどろきました。

だつてあのおいしい梨のすいをなげてくれた人間樣を、こんなふうにわるくち云ふのですもの——

「なぜまたそんなとんでもないことを考へたのかね」

「なぜもないものだ。朝から晩までひつぱたいたり、ひつぱつたりまるでおいらを木のはし位に考へてるんだからなあ」

ろばはさう云つて上をむいて、耳のあたりをぴくぴくさしてゐるのです。

なるほど、と蟻も思ひました。

そこでしばらくだまりこくつてゐましたが、蟻はなぐさめるつもりで云ひました。

「しかしろばさん、ものは考へやうだよ。今一ぺんに人間が此の世にゐなくなつたら、あなたがたはどうなさる？」

「どうなさるつて！」

ろばはますます腹をたて、ブウブウ鼻をならしながらどなりました。

「そんなことが、おまへさんにはわからんかれ。からだがちつぽけなものは、ちゑのかさも足りないとみえる。——人間がゐなくなつたら——思ふさま野や山をかけめぐつてさ、すきなところへ行つてさ、すきなものをたべてさ……」

「まあおまちなさい」

と蟻はひたいのさわりひげをうごかしながら、むきになつて云ひました。

「あなたは自分ばかりの世の中だと思つてゐるからまちがつてゐる。もしもあなたがかけまわつてゐる時、あの恐ろしい狼や、ライオンが出て來たらどうなさる？」

狼やライオンときいて、ろばは首をちゞめました。が、なあんだ相手は蟻だと思ふと、あわてゝぐつとそりみになりましたが、さてなんと云ひ返したらいゝか、しばらくは口をもぐもぐさせてゐるばかりです。

そのうちにたんきなろばはすつかりはらをたてゝしまひました。

瓦斯爆發を防止する劃期的な一大發明

撫順炭礦大山採炭所長中島氏等多年の研究遂に完成

[illegible]

元來　同坑は特別に瓦斯湧出多くその根本的危險率排除は重大なる問題であつたが中島氏は當社の部下たる現煙臺加藤謙市、飯田荒次、現老虎臺川村元弘、現龍鳳三根保市、現採炭課山本市三の……

隔壁　完全洩風を徹底的に防ぎ、瓦斯爆發を克く防ぎ得るもので斷然偉さするに至る新發明である

兵匪暴虐の裏にこの手引人

邦農に殘虐をつくさせた支那人張玉書捕はる

【旅順】兵匪のガイドさなり多數邦農を虐殺せしめた惡漢が二十一日撫順署司法室で取調べられてゐた、右は淸原縣北三家子二道河子張玉書(二〇)さ云ひ地理不案内の敗兵に散在せる邦農が何處に居るか判らない一箇所の道案内をなし二道河子居住邦農を片つぱしから掠奪暴行虐殺放火なさしめ的匪婦の腹を立割り母子さも虐殺さした等殘虐を敢てしたのである、彼の手びきに依る被害邦農次の如し

被害者何れも二道河子居住邦農

戸主名、中太均(四三)崔義俊(四六)林壽必(五三)朴壽昌(五〇)朴壽萬(三五)朴壽寛(四一)金重軾(二五)鄭永巨(二六)鄭昌史(五〇)兪鎭吉(三五)以上十世帶家族八十四名内虐殺された者男女二十四名

一萬近くの敗兵が北大營を四散した直後九月二十三日頃から前記邦農等への他地方からの通信杜絶流言は亂れ飛んだ生きた氣持もしない折柄二十四日一團の敗兵が同部落附近に雪崩込んだそこで前記邦農等は家族悉くを附近の山間に避難せしめ戸主等が家財を守つてゐた當時の敗兵の樣子が皆目判らぬので何邦農がゐるか手のつけやうが……

強ひて避難せば鏖殺すると威嚇

支那人からは追はれ不湿團からは足止めの邦農

【撫順】中國地主の壓迫さ不逞鮮人團その迫害に板挾みの苦境に喘ぐ奥地數千の邦農――撫順背後地興京地方のみに農耕精米業等に從事十數年來安住せる邦農數は約五千戸の多きに達するが時局發生以來中國地主は支那大衆さ協力是が追出策さしてあらゆる壓迫を加へつゝある爲に前記邦農等は生命權の脅威に耐へ兼れ多大の

執着　を持つ永年の耕地をも捨て滿鐵沿線乃至鮮内に歸還の希望を持つの餘儀なきに至つた從つてそこに何等の故障さへなければその過年は旣に興京方面を去つたであらう位想像以上の迫害に泣いてゐる然るに邦農のせつぱつまつた希望の如く沿線にも出て來られない國には不逞鮮人國民府が彼等の寄生の本源を失ふさの理由で抑留してゐる事だ而も國民府は彼等の不逞行爲を遺憾なく發揮する爲さ日本官憲に對抗する準備さして急速度で多數青年を强制募集團員に加へその數同地方のみで今や一千人を越へ無遠慮なる跳梁を續けてゐる

前に　中國地主等の不法極まる壓迫背後に不逞團の銃口なか……

馬賊から逃れて邦農長春に到着

當時の慘狀を物語る

【長春】吉敦沿線額穆縣新站には鮮支人約七百戸あり水田その他の農業を中心さした經濟で生活を營みつゝありしが同地猴才頂子金斗宮(新站北方約二十支里)に根據を有する匪賊頭目宮長海の統率する三百餘名の一團は十九日正午新站を襲撃侵入し鮮支人を問はず殺人强盜放火掠奪凡ゆる暴行を敢行したる爲阿鼻叫喚さながらの生地獄を演出し居住民は我先にさ逃げまごひたるが鮮人百餘戸は一部は長春に大部分は吉林に避難し來り

た鮮農は當時の模樣を語る

馬賊の一大集團が襲擊するさいふ報が來たので殺されるよりはさ思ひ一家を舉げ着のみ着のまゝ家財一物も持たず逃げ出しましたが殆んどそれさ行違ひ位に賊團は部落に進入したやうです幸ひ晝間だつたから逃げるにも助かつたが夜でしたら殺されるか逃げても深い雪の中に埋つて凍死するかどうせ助からぬ處でせう逃げ遲れてゐる同胞も少くないのでどうなつたかさ案じてゐます

さ恐ろしかつた當時を哀れな姿で語つてゐた

二十二日午前現在八百十五名の多きに達した民會でも收容しきれず第四收容所まで急設その保護救濟に餘念がない、沸上多數の衣食費だけでも相當に上るのさ徒食の惡風防止の爲目下莚製造をなさしめつゝあるが一日平均百枚は製作してゐる尙每日五十人位は炭礦に雜役除雪人夫等に使つて貰つてゐる民間でも彼等の窮狀に同情極力仕事を與へて貰ひ度いさ

……ざせる迫害の魔手刻々迫り來る年關さ共に邦農の窮狀は全く言語に絶するに至つた、その生々しき一例さして十八年來興京に居住せる邦農金官燮(五〇)は支那人民の壓迫により家族十三名を連れ本月十五日同地出發撫順へ避難の途中是を聞知した國民府黨員約十五名が同人等の後を追ひ永陵街に於てその旅費全部を捲き上げ强いて沿線に出るなら鏖殺するさ威嚇するので彼一家は出るに出られず歸るに歸られず目下永陵で立往生世帶主金官燮だけが辛ふじて二十二日午前撫順に逃げ來り撫順署へ訴へ出た悲慘なる事實である

避難同胞に傳染病

麻疹感冒患者續々さ現はれ當局では對策に腐心

【鐵嶺】目下當地に收容中の避難鮮人は八百名に達し支那町五ケ所に分宿せしめてゐるが豫てより衞生設備について憂慮されてゐたところ果して麻疹感冒患者續出し肺炎を併發せる者少からず現在病臥中の者は永合棧店に六名、萬古店七名、東興店五名、大成店五名、敷島町の公安馬隊跡に二十二名合計四十五名あり何れも多數雜居せる部屋に呻吟せるこさゝて次々に傳染し患者續出の兆あるのみならず死亡者を六名も出したので領事館、警察、鮮人民會では協議の結果新たに一ケ所の收容所を設け患者全部を隔離療養せしむる事さなり二十二日準備に着手した因に患者の殆どは小兒である

邦農に仕事を

【撫順】兵匪鮮匪乃至中國地主等の至らざるなき迫害に追はれ撫順さして避難する邦農は歲暮迫る今尙陸續撫順民會に收容せる者のみ……

みんな協力して職務に勉勵

北滿視察から歸つて　山西滿鐵理事談

【奉天】山西滿鐵理事は北滿における經濟調査のため出張中であつたが廿一日歸奉せる同氏はヤマトホテルで左の如く語る

チチハルは政治經濟に重要地點で將來チチハルが北滿のその中心さするこさゝ思つてゐる、現在治安維持は保たれてゐるが匪賊は相當橫行してゐるやうである、北滿の第一線にあつてしかも零下廿何度の酷寒さ戰つて匪賊の討滅を行つてゐる日本軍、悲痛な覺悟で努力してゐる二百餘名の邦人を見る時淚を以て感謝せずには居られない、滿鐵總裁の恒久性についてはオイそれさいふ譯にも行くまいが若しも之が實現するさすれば總裁には滿蒙に、造詣深い人を希望するものである社員理事制を以て力强くするためには社員が結束して滿蒙のため働くこさは大いに考慮すべき問題さ考へてゐる、兎に角こうした時局に際しては相互に協力して職務に勉勵する

他愛ない道行き

汽車は出て行く男は殘る

【奉天】誘拐か駈落か將又家出か全く雲を攫むやうな戀の搜査願ひは……市内彌生町四番地吳振東方には貴珍(二〇)さ稱する若い支那職人があつた吳方には貴珍(二〇)さいふ美しい愛娘があつた、貴珍は偏然の眞面目さ男前に日頃から

秘かに　小さい胸を痛めてゐた、又同じ町の樂春浦方にも玉濤(一七)さいふ花の蕾もほころび初めた可愛らしい娘があつた、そして玉濤も偏然を心秘に思つてゐた偏然は貴珍さも玉濤にも親の眼をぬすんで逢瀨を樂んでゐた、そして貴珍、玉濤さも偏然を只の一人さしての戀のマスコットさ考へてゐた、去る二十日可憐な玉濤は偏然に對し是非さも遼陽へ行かうさ自由な戀のステイジを他所に求めたのであつた、偏然は玉濤のいふがまゝに遼陽行を定め込んだ、同日午後七時半頃玉濤は旅費を工面して兩人相攜へ奉天驛に出たのであつた、同夜八時三十五分大連行列車に乘るため

切符を　求め時間さなつて玉濤は列車に乘りこんだ、少し遲れた偏然はプラットホームに出でんさする時豫て手配により直に取押へられたが玉濤の乘つた列車はそのまゝ出發し一人旅をしたのであつたがため奉天署では廿一日關係者を召喚し取調べた結果右の事實が判明したので玉濤はその親に偏然は將來を戀々戒めて主人に引渡した、こうした戀の三角關係にあるこの三人は果して如何なる運命を辿るやら

負傷兵達の感激

將校婦人會の看護に兵隊さん達は只泣く

【奉天】醫大の秋川大佐夫人、土肥原大佐夫人等が主さなり在奉將校夫人を以て組織されたる將校婦人會では會員の主人は殆ご戰線に立ち酷寒さ戰ひつゝ目覺ましい活動をなしてゐるその留守宅を預りながら最前線に於て名譽の負傷をなし呻吟してゐる病院を親く訪れ慰問品を贈つたり自ら看病したり至れり盡ぜりの涙ぐましい活動を續けてゐるが今回更に内地より多數送られて來たお護りを納める袋を將校婦人會で作製に努めてゐるこれを受けた傷病兵はこれまで多數慰問、見舞等を受けながら日常嚴父の如く慕ひ尊敬してゐる上官の夫人から又も慈母の如き看護を受け何れも感泣せぬものはないさ

ここが肝腎である

醫大同志會で鮮人救濟施療

【奉天】滿洲醫大學生有志を以て組織されたる同志會鮮人救濟部では全滿婦人團體聯合會の後援を得て今冬季休業を利用し左の如き日程で沿線に出張し巡回施療をなすここになつた

第一班、撫順、安東

廿四日朝出發撫順にて施療一泊廿五日施療、同日歸奉直に安東へ二十六日施療、廿七日夜歸奉

第二班(鐵嶺、開原)(醫員二名、學生三名)

廿四日朝出發、鐵嶺施療、廿五日午前中施療午後開原廿六日施療、同夜歸奉(醫員一名學生三名)

第三班(四平街、長春、公主嶺)

第一部一月四日出發四平街施療五日施療、同夜歸奉(醫員二名學生二名)

第二部三日夜出發四日長春施療五日朝出發公主嶺施療六日施療同夜歸奉

負傷八勇士の經過良好

【鐵嶺】去る十五日馬家寨の激戰に參加し重傷を負ひたる加藤上等兵以下八勇士は其後當地衞戍病院に於て等しく加療中であつたが其後の經過良好にして昨今は元氣も全く恢復し退院の日を樂しんでゐる八勇士の負傷箇所左の如し

加藤上等兵　左前膊骨折貫通銃創

相澤一等兵　右膝關節部貫通銃創、左大腿軟部貫通銃創、踵部左右足凍傷

二階堂一等兵　未詳

松浦二等兵　顏面擦過銃創

長谷川二等兵　陰囊貫通銃創兩側睾丸損傷、右大腿軟部貫通銃創、顏面擦過銃創

山田一等兵　左手貫通銃創

小野崎一等兵　右下腿部貫通銃創

小野寺一等兵　右大腿部貫通銃創

戰傷病兵轉院

【鐵嶺】鐵嶺衞戍病院に收容中の戰傷病兵百三十四名のうち快方に向ひたる四十二名を廣島衞戍病院に轉院せしむる事さなり來る二十六日午後六時四十分發列車にて離鐵するさ

野砲隊出動

【鞍山】遼城駐劄野砲兵第二聯隊及工兵隊等の將士〇〇〇名軍馬〇〇〇頭野砲〇門は小池少佐指揮の下に二十二日午後一時三十分發野戰臨時列車にて某方面に出動した驛頭には官民多數見送り萬歲を浴せ出發した

鞍中ラグビー選手出發

【鞍山】全國中等學校ラグビー蹴球大會滿洲豫選大會に於て滿洲代表の覇權を握つた鞍山中等學校選手十七名は三宅敎諭並に渡邊敎諭に引率され二十四日午後二時五十三分發急行列車にて必勝を期し全生徒、敎諭に見送られ勇ましく遠征したが選手名左の如し

櫻內一、住吉淸、德滿慈城、大竹一男、木書博達、池內悦雄、大山口登、大竹功、平林宗光、吉田義雄、池內俊彥、宮野吉、田所武、中村勇、淺野虎龍、岡島正、蘇島進

千山附屬地に駐兵を請願

【鞍山】千山附屬地は千山の天嶮を利用し馬賊の巢窟であるから在住日支人は頗る危險を憂慮し人心恟々さして居るが時局以來守備隊全部引揚げ僅の分遣員にて警備されて居る爲最近亦不安の念にかられ恟々さして居るので千山代表平井德次、志甫他吉、吉田次郎八の三氏にて二十二日來鞍地方事務所に出頭し守備隊一個中隊駐屯の復活方を請願する處あつた

鐵嶺

軍人後援會

帝國軍人後援會鐵嶺支部では時局以來軍隊の慰問歡迎其他非常な力を盡してゐるが衞戍病院には多數の戰傷病兵が入院してゐるこさゝて其慰問なども連日の如く奔走してゐる、時局柄後援會を援助するのも一の國家奉仕であり志ある人は此際成るべく多數入會されたいさ、鐵嶺支部の專任事務は警察署內宮村氏である詳細は同氏に就て承合し一人でも多くの入會を希望するさ

鐵嶺漫談

二十二日鐵嶺署長の懇によつて撫順の叔父の家に送られた靑年があつた▲原籍は福岡縣田川郡濱藤清喜次さいひ未だ二十五歲▲若いのに見すぼらしい風態而も全身に虱一ぱい保護する警察官もタジくさいふ有樣▲本人は少々精神に異狀があるらしく其言ふさころが頗る振つたもの▲大連で梅毒に罹り日蓮の坊さんに觀んだら頭に犬さ猿の肉を補給するさ好いさ言つて其肉を與えて呉れた▲がそれ以來頭の中で犬さ猿めが喧嘩ばかりして眠る事も出來ない▲あの坊主は氣狂ひを作る奴だから恐ろしい、犬さ猿に慄まされてゐるのは俺ばかりぢやない云々▲前途ある若者だのに可哀相でもある▲けれど本人頗る平氣何か甘いものが食ひたい錢を貰ふ事はすきだなんて天下泰平▲猛烈なモヒ中毒だから到底救はれぬものであらう

鞍山

實協の役員會

鞍山實業協會では廿三日午後四時より實業會事務室に於て定例役員會を開催し左記事項を協議するさ

一、滿鐵消費組合撤廢に關する件

一、昭和製鋼所問題に關する件

一、南大將來滿に關する件

一、歲末決濟に關する件

一、特別評議員推薦に關する件

體育聯盟加入

鞍山體育協會は滿洲體育團體聯盟の趣意に贊し二十一日正式加盟したが代表役員は鞍山體育協會總務部長右近又雄氏に決定したさ

鞍中の學藝會

鞍山中學校では二十三日午前九時より講堂に於て昭和六年度學藝會を開催したが定刻矢澤校長開會の辭を述べ開會せられたが華語對話劇等なかく感心なものあり盛況裡午後二時三十分閉會した

負傷を見舞ふ

鞍山時局委員會では黑林臺馬賊討伐の際負傷し大石橋衞戍病院に入院加療中の第三大隊第三中隊の船戸軍曹及岩崎上等兵に對し慰問の爲め二十三日午前九時廿四分發列車にて委員會より西川喜一氏赴石見舞ふ處あつた

負傷警官見舞

千山附屬地日支人代表上野驛長、平井德次、三谷氏、吉田次郎八、志甫他吉の五氏は二十一日午後六時三十五分着列車にて來鞍し曩に千山附屬地を襲擊した馬賊討伐の際負傷入院中の山本巡査を鞍山醫院に見舞ひ金一封を贈呈し本署に出頭して時局に對し慰問する處あつた

小野寺所長招宴

鞍山地方事務所長小野寺淸雄氏は二十三日午後五時より鞍山新聞記者協會員を料亭衞砌に招待し懇親宴を開催した

金州

後援會寄附金

金州時局後援會に對し後援會費さして左記諸氏より寄附があつた

△金五圓松見宅雄△金五圓金州苗圃員一同△金十圓關東廳種馬所員一同△金十五圓金州在住三……

州人會

尙本月二十二日附朝刊地方版金州欄記載の時局後援會寄附者中兒玉氏一金二十圓さあるは金州青年團の誤りに付訂正す

驛員應援出發

金州驛員井ノ口忠雄、同保線區員大澤岩三の兩氏は二十二日午後十一時金州發の列車にて某方面へ向け應援のため出發した

旅順

年末贈答廢止

婦人連が髮結其他の間に行はれ來た年末贈答は花柳の巷だけに多少の見榮もあるので之れが爲め借金の增加は必然的であるさし數年來からしばく廢止方が唱へられたるも一向その實が舉がらないので本年末は特に警察署さして時局柄でもあるので此際斷然廢止する樣二十二日抱主樓主一般に對し通達する處があつた

通遼農場被害

【奉天】通遼匪賊團のため襲擊を受けた通遼農場の被害は穀、家屋その他財產を合して公司側一萬三千圓、鮮人小作人四萬三千圓に達してゐるさ

八ケ代副領事

【奉天】安東領事館に轉任の八ケ代副領事は二十三日九時發多田見送り裡に赴任した尙後任の大谷副領事は二十四日着任の筈

沿線往來

▲大藏公望氏　二十二日來奉

▲首藤滿鐵理事　同上

▲竹中同理事　同上

▲山西同理事　廿二日赴連

▲村上同理事　廿一日長春へ

▲古川奉天事務所鐵道課長　廿二日歸奉

▲松田關東廳高等課長　廿一日來奉

▲金吉長鐵路局長　廿一日長春へ

▲生駒拓務省管理局長　廿一日安東へ

▲セミヨノフ將軍　廿一日大連へ

奇特の慰問品

【普蘭店】當地農園家松林兵衞氏は今回苹果四貫目入二十箱を慰問品さして關東軍に寄贈方民政署に申出で廿一日その發送手續きを了した、又當地滿鐵給水所勤務神田氏令孃ふさ子さん(尋常三年)は平素のお小遣ひを貯めてあつた金一圓を入物のブリキ鑵ごさ民政署に持參し慰問金さして取扱方を申出でた

女學生の奉仕

【長春】長春家政女學校では生徒の學業餘暇を以て裁縫をした結果得た金二十圓を出動軍隊慰問金さしてまた造花(花瓶付)盛花、實習の菓子等を長春衞戍病院收容の負傷兵慰問さして二十一日それぞれ寄贈するところあつた

第二の反抗 (111)

三宅やす子

阿部金剛畫

女同士(十五)

「傳へるだけぢや困るよ。たしか實行して貰はなければ」

「れ大丈夫でございます、私、これで失禮します」

行かうさするお靜を

「一寸」

さまた彼はよびさめた。

「莫迦に落ちついてるれ――懷工合がよほどよくなつたさ見える」

「…………」

「うちの奥さんは氣がいゝから、……」

佐枝子は一生懸命で

「あなたのは意地惡ばかりなんです。義理も情も御存じない」

「それがどうした」

「だからみんなが苦むんです。そのために、お靜さんを貰らうさまでして居るお靜さんの、お父さんが惡いんぢやありません」

「それまで俺の知つたこさか――」

駿衞はプイさ横を向いた。

「だから、あたしが、貰られなくても可いやうに計らつてあげたま……でです――」

……らまだいゝさして、……

見られたからには――さ佐枝子はもう强く出た。

「私が何をしやうさ、どうぞ干渉しないで下さい」

「何もしたさは云はないよ。まして、干渉なんか、しないよ」

「なら、お靜さんのこころの金の出どころなんか、兎や角仰しやらずに、さつぱりしておしまひになつて」

「それさこれさは別問題だ。お前も自由にするやうに、俺だつて、俺の自由にするよ。自分の女房の手から出た金ださ知つて、おめおめそれを、押し頂いても居られないからね」

「いけません、そんなこさ」

「お前こそ要らない干渉だよ」

「いゝえ」

亭主に恥をかゝせる女房だけは顔ひさげにしたいな」

佐枝子はじつさ唇をかんだ。

自分の事がもさになつて、此夫婦の思ひがけない爭ひを、そばでお靜はハラくしてきいて居るよりほかはない。

「あなた」

佐枝子はキッさなつて云つた。

「では私も、お靜さんさ一緒にゆきます」

「何處へ」

「何處でも――お靜さんの働くところへ」

「何だ?」

「金のにほひの臨り切つた中で、もう私は息がつまります」

「勝手にしろ」

駿衞は突き放すやうに叫んだ。

故柳田驛長の葬儀　二十一日安東で

飲めこの一杯!!
健胃整腸に
精力衰退に
貧血虚弱に
神經衰弱に
赤玉ポートワイン
赤玉は　筋肉活動の原動力たる葡萄糖を多量に含有して居りますから　平素適量を召し上れば　血液の循環を旺盛に筋肉の活動を順調に精力を益々昂進させます
血となり肉となる薬用生粋葡萄酒
赤玉愛用家百萬人優待特賣!!
一等……一千人　左記一品
白金腕時計
三方桐二重簞笥
銘仙夜具
洋服簞笥
ラヂオセット
二等……二千人　左記一品
自轉車
総桐用簞笥
英國製洋服地
三等……三千人　左記一品
三面鏡化粧台
籐椅子セット
洋食器セット
純毛毛布(二枚續)
純銀製コップ台
會席膳
銘仙座蒲團
四等……四千人
特製化粧石鹼
五等……一万人
特製コンパクト
赤玉ポートワイン包紙の　レッテルを完全に切抜いて二枚各其裏面に　住所氏名をハッキリ書き　二枚を一纏め　開封で二錢切手を貼り　左記へお送りあれ抽籤當籤の方へ　上記お望みの景品を贈呈す
(住所氏名不明瞭レッテル不完全一枚宛別封等は無效尚ほ數口御應募の場合一括御送付は差支ありませぬ)
齒磨スモカ一罐づゝ
此の催しの記念と齒磨スモカ品質宣傳の爲應募者全部へ贈呈
募集総數　百万口
區　域　内地滿・鮮(但台灣を除く)
締　切　昭和七年三月十五日
發　表　同年四月十日本紙上　當籤番号發表
抽籤方法　一口毎に　抽籤券一枚呈上　一千口一組　當籤番号共通　新聞警察代理店立會　嚴正抽籤
景品引換　發表後二ケ月以内
(注意)レッテル投函日の御記入なき御照會にはお答へいたしかねます
レッテル送り先
大阪市東區住吉町
赤玉ポートワイン本舗　サービス係
AKADAMA

主婦之友
新年號で大評判の表紙繪の美人畫
新年號の全讀者へ贈呈する五大附錄の大評判!!
僅か七十五錢で大賣行!!!
▲雜誌界空前の新年號で奪合ひの如き大人氣
▲附錄だけで三四圓の價値があるので大賣行
▲どの附錄でも他では得られぬ重寶無比揃ひ
▲早いが勝です賣切れぬうちお求めください
七十五錢 送料七錢五厘
東京神田駿河臺 (振替一八〇)
主婦之友社
第一附錄 一年三百六十五日分の献立と料理 毎日のお惣菜料理法
▲朝と晝と晩の毎日のお惣菜を献立から料理法まで發表!
▲料理の作方だけでも約千三百種を發表したので大評判!
▲お料理は一々極彩色の實物寫眞で發表したので大評判!
▲これ一冊でも二圓以上の價値のある料理全集だと大賣行!
第二附錄 一目でわかる 禮式作法辭典
▲知らねば恥となる禮式作法の一切を發表した新辭典!!
▲此の一冊があれば祝儀でも不祝儀でも何でもわかる!!
▲面倒な婚禮の儀式でもこれさへ見れば一切がわかる!!
▲何でも彼でも一目でわかるやうに美しい繪にて說明!!
▲これだけでも確に一圓以上の價値があるとて大評判!!
第三附錄 ペン字と毛筆の習字兼用 手紙の書き方
▲ペン字をば上手に書きたいお方はぜひ御覧ください!!
▲毛筆で上手に書きたい方もぜひこれを御覧ください!!
▲どんな類の手紙でもこれさへ見れば自由に書けます!!
▲手紙の拙いのは一生の御損です!ぜひ御覧ください!!
▲これだけでも一圓以上の價値があるとて大人氣です!!
第四附錄 西洋で大流行 幸運ひとり占ひ
第五附錄 國寶の慈母觀音
嫁入道具贈呈(當籤者三千三百名)の大懸賞
ハガキ一本で誰にも出來る大懸賞!! 簞笥や蒲團など賞品二千三百餘點!!
新年號で白熱的評判の大記事
▲花嫁の新婚生活打明座談會
▲良人を出世させた妻の苦心談
▲家庭を繁昌させる主婦の心得
▲金持ちに早くなる祕訣十ヶ條
▲百歳以上の長壽者の健康法
▲肺病全治者の療法座談會
▲新年の盛花投入の誌上講習
▲新春の洋髮の結び方講習
▲誰でも美人となる祕法發表
▲毛絲編の子供帽子編方八種
▲防寒用毛絲編子供服編方
▲お正月料理の作り方百種

安奉線不安に練習生二百名急派
各附屬地の警備充實

相次いで起る安奉線の附屬地襲撃事件に鑑み關東廳警務局ではこの際附屬地の安全を期し警備を充實するため、廿三日午前六時四十分旅順驛發列車で警察官練習所生二百名全部を酒井警部引率の下に奉天及び安奉沿線各地に急派應援することゝなつたなほ練習生は過般九州各縣下及び滿洲で募集され二十日初めて入所したばかりの新入生全部であるが何れも最近まで兵役に服してゐた優秀者である

馬賊と聯絡して不逞鮮人團活躍
中監連合自衞軍組織

昨年來開原縣清河附近に本據を移し吉林方面の同志と緊密な連絡をとり地下運動を續けてゐた高麗共産黨の有力な幹部金英善は事變に先立つ約一ケ月前黨員約五十名を率ゐて西豐縣北大溝に本據を再移動し同縣下一帶を脅迫して軍資金の徴發に務めてゐたが恰も過般の事件勃發を以て好機到れりとなし開原西豐兩縣下に跋扈する馬賊團と合流して益々その勢力を擴大し中監連合自衞軍と稱する兵匪團を組織し打倒日本帝國主義をスローガンに掲げて自衞軍を指揮し兩縣下の良民に掠奪、暴行を加へつゝ機を見て開原附屬地を襲はんとしてゐる【開原電話】

小さき同情を同胞兒童へ
慰問金に手紙を添へ

暴虐なる支那兵匪のために父母兄弟を失ひ或ひは住所を追はれた同情すべきわが同胞の兒童に對し大連民政署管内各小學校生徒にこの十日より十五日までの間慰問金を醵出し合つたが人員一萬四千百二十名、金額三百六圓三十五錢に達したので左の手紙と添へ二十二日午後二時民政署に持參これが分配給與かたを依頼した、なほ學校別醵金高は左の如くである

▲伏見臺四〇、五六▲朝日一八、〇〇▲日本橋一七、七七▲常盤二九、〇〇▲大廣場一七、一〇▲春日一九、七二▲松林八、一三▲南山麓三六、六〇▲嶺前三〇、二〇▲沙河口二一、四四▲大正二六、八八▲聖德七、〇五▲早苗一六、〇四▲下藤一四、二二▲柳樹屯〇、七四▲周水子二、九〇▲計三〇六、三五

手紙文は左の如くである

ミナサン。ミナサンハ センソウデ ホンタウニ ヒドイメニアハレマシタ。マヂメニ ハタライテキタ ミナサンノ オトウサンヤ オカアサンハ ホンタウニ キノドクデ ナリマセン。サムイトコロデ コマツテイラツシヤル ミナサンノコトヲ、カンガヘルト、ジツトシテハ、キラレマセン。ワタクシタチハ アタヽカイ トコロデ ネテヰマス。ソシテ ゴハンヲ タクサン イタヾイテヰマス。オナジ ニツポンジン トシテ ワタクシタチハ ミナサンニ スマナイキガシマス。ワタクシタチハ チイサイノデ ミナサンヲ ミマイニ ユクコトハ デキマセン。ワタクシタチハ オヂサンニ タノンデ オクワシトオカネトヲ ミナサンニ オトヾケイタシマス。コレハ ワタクシタチト オモツテクダサイ。サヨナラ。

昭和六年十二月
大連市内各小學校生徒
朝鮮の兄弟姉妹へ

女學生の義務奉仕

旅順重砲兵隊留守部で出征將兵に送る被服の手入に大多忙を極めてゐるのを聞いた旅順高女では廿三、四の兩日に亙り女教諭に引率された生徒七十二名が可憐な義勇奉仕をすることになり二十三日午前九時から重砲隊に出動して武骨な兵士達に手傳つて被服の縫綻付けや整理に大活躍した

小さいながらも この麗しい行爲
感激せしめる小學生達の美擧

大連千草町十七番地早苗小學校高等科二年生村上正治、同聖德小學校尋常三年生村上治の兄弟は正月の雜煮箸を賣り歩いた純益金十三圓十九錢を二十三日軍隊慰問金として市役所に屆けて來た、同人の父親は十年前まで元沙河口工場に勤め現に常盤橋の鶴を作製した人で作製後五十三日目で死亡した、二少年は

父親が生きて居れば態々雜煮箸など賣り歩いて慰問金を工面しなくとも濟んだのに家が困つて居るものですから……

と語つてゐた、係員もこの健氣な行爲に感謝の涙を流してゐた、また信濃町市場では金百圓を軍隊、金三十圓を警察官の各慰問金に常盤町社會館管内の滿洲美婦人會で軍隊慰問に金五十圓、同遺族に金五十圓、警察官慰問に金五十圓を各寄贈した

◇

伏見臺小學校六年生中村辰己、戸倉利廣、渡邊鐵夫、王塚の四名は繪一書、菓子、煙草を賣つた利益金五圓也を本社に持參して、これを兵隊さんに差上げて下さいと寄託した

◇

朝日小學校五年二組總代池田正作、号削晃の二名は左記の手紙に金二圓七十錢同封して、これを兵隊さんに送つて下さいと本社に寄託した

僕等は兵隊さん達と同じ苦勞をしてみるために作つた勤儉週間に實行した事は兵隊にみなの作品を送る、早く起きて奧地に向つて禮をする、辨當のおさいはなるべく粗末なものにする、學用品を粗末にしない、皆外へでる爲に毎日必ず二宮尊德翁の銅像に詣ること、日記をつけること、間食をやめる、毎日書取百字、算術十だいづつする、朝早く來た人が學校の入口(門)の掃除をする、組を作つて人の爲になるやうなことをする、それから毎週することゝして大連神社參拜、教室の掃除、銅像の附近の掃除、それから今まで一週間の間、よい事してもらつたお金や、儉約してためたお金を兵隊さんへ送る事として、このお金をためました、わづかの物ですが兵隊さんに送つて下さい、おねがひします

◇

大連嶺前尋常小學校の各學級自治會では小遣節約による貯金十六圓七十五錢を軍隊、警官慰問のため送附することゝし廿三日市役所へ屆けて來たがその内譯は左の通りである

▲金四圓七十二錢第六學年男組▲金四圓五十二錢同女組▲金九十五錢第五學年男組▲金一圓二十一錢同女組▲金一圓五十九錢第四學年梅組▲金一圓十七錢同桃組▲金一圓八十九錢同櫻組▲金七十錢第三學年櫻組計金十六圓七十五錢

◇

大連朝日小學校生徒武信俊夫、武信謙之助外一名は慰問金を兵隊さんに送りたいとて、タワシとマッチを賣つてゐたが、本日全部賣切れましたからとて其の利益金三圓九十錢也を本社に寄託した

藤内巡査の葬儀
きのふ安東警察署葬

高麗門にて匪賊と交戰名譽の戰死を遂げた故關東廳巡査部長藤内晃二氏の葬儀は安東警察署葬として安東公會堂にて廿三日午後四時から執行された葬儀場には關東長官を始め警務局長、滿鐵正副總裁及び本社其他各方面より贈られたる花環が飾られ式は各宗の僧職の讀經裡に行はれ僧侶燒香後塚本關東長官(代讀高山署長)中山警務局長(代讀警務主任)滿鐵村上鐵道部長、高山安東警察署長、立川奉天警察署長其他の弔詞あり弔電朗讀ありて故藤内晃二氏の令兄の燒香に次で一般會葬者の燒香を終り式を閉じたが會葬者は式場に溢れ近來稀な盛儀であつた【安東電話】

萬歳を後に九州健兒出發す
昨日門司發一路滿洲へ

【門司二十三日發】朝來空晴れて陽光和やかに年の瀬とも思へぬ上日和、軍旅の將士を送るにふさはしい日である、故國に於ける最後の夢を關門に結んだ滿洲遠征九州健兒第〇〇師團の精鋭小倉部隊は山本少佐、久留米部隊は百武大尉指揮の下に白木崎の新岸壁に横附けとなつた御用船〇〇丸に早旦から軍馬兵器の積み込みを開始し正午からは兵員の乘船に移り門司埠頭は戰時氣分横溢す、斯くて午後三時乘組終るや木原師團長幕僚を從へて甲板上に至り兩指揮官以下幹部將校に懇篤なる訣別の辭を述べ祝杯を汲んで行を盛んにし出發の準備全く整ふや出帆旗檣頭高く揚げられ海岸に堵列せる見送りの群衆はどよめき立ち、船は纜を解いて靜かに動き出し熱狂した萬歳の聲は怒濤の如く、鈴なりの兵士の船からは帽子ハンカチが破るゝ許り打ち振られ波靜かなる玄海へと進路を執つて雄々しくも華々しく船出した

英國飛行家日本飛來
元旦英京出發

【東京二十二日發】イギリス飛行家ジエー・コツチ・チエムスレーン氏は乘組員ローソン氏と同伴明年一月元旦にイギリスを出發日本訪問飛行を試むべく二十二日遞信省に許可を申請して來た使用機はシラス九十五馬力發動機附きデハビランド・モス型飛行機でイギリス出發印度支那經由一月十一日香港出發汕頭に向ひ復州上海經由十二日京城を經て十三日福岡間十四日東京間の豫定である

美髮代値下

大連美髮美容組合では大連署衞生係の慫慂により過般來から値下問題を協議中であつたが、今回左の如く値下げを決定大連署に認可を申請した

▲特等　高島田五十錢、洋髮ウエーブ六十錢、同普通五十錢、丸髷四十錢
▲一等　高島田四十五錢、洋髮ウエーブ五十五錢、同普通四十五錢、丸髷三十五錢
▲二等　高島田四十錢、洋髮ウエーブ五十錢、同普通四十錢、丸髷三十錢
▲三等　高島田、洋髮、丸髷各二十五錢均一

……が組織した在滿朝鮮人救援會では本月四日から十三日迄の十日間連日連夜一同街頭救援金を募集して得た金百四十一圓に添へてこれは甚だ少額ですが私等勞働者の眞心として滿洲の奧地に居住し酷寒と不安とに彷徨してゐる人達に分つて下さいそして氣の毒な同胞の人達を見るに忍びず寒風にさらされて街頭募集した私達の氣持をあの人達に傳へて下さいといふ慰問狀を付けて送つて來た

特産出廻り保護に裝甲自動車を運轉
滿鐵の新しい對策

特産出廻り頻繁となつた奧地一帶の特産集散地は最近到るところに兵匪、馬匪賊の横行甚だしくこれが輸送に危險を感ずる狀態に鑑み滿鐵では輸送の完全を期するため各地守備隊の援助を受けて守備隊員に裝甲自動車を運行依頼して特産集産地一帶に亙つて裝甲自動車を運轉、兵匪團を威嚇して運輸の便を圖るため目下大連において裝甲車〇〇臺を建造中で來春早々よりこれを鐵嶺、開原、四平街、公主嶺等に配置して運轉を開始する筈で特産出廻りの保護のため裝甲自動車を運轉することは滿鐵として劃期的なことであるがこれによつて觀るも如何に兵匪が滿鐵線一帶に跳梁跋扈し兇暴な魔手を振つてゐるかが窺はれる【開原電話】

死損じた母親に今度は法の裁き
親子心中未遂のトキ子に殺人未遂の罪名

既報、貧と病から母子四人心中を企てた市內春日町大日ビル三階六號元長崎高商教授及び日露協會學校教授の未亡人玉木トキ子(三三)は遂に法の裁きを受けることゝなり大連署桑野警部補は廿三日午後三時ごろトキ子が入院してゐる聖愛病院に赴き殺人未遂罪として臨床訊問を行つた卽ち愛兒三名を道連れしようとした行爲は事情の如何を問はず法律に觸るゝもので同署では兩三日中に一件書類だけ送局する筈である、なほトキ子の生活裏面には癡情に絡むいかゞはしい噂があり、當地の長崎高商同窓會でも善後策を考究中で近くトキ子をめぐる一切の事情が鮮明さるゝであらう

民政署員獻金

大連民政署員は時局に鑑み年末年始の贈答品および忘年會、新年宴會を廢し家庭に於ける諸儀禮も努めて節約し以て節約した金員の一部を獻金し酷寒中身命を賭して匪賊討伐に活躍中の出動軍隊および警察官の慰問の資金に充つる事を申合せたと

師走の街に掏摸横行
ロシヤ女萬引

二十二日午前十時ごろ大連郵便局通信事務員福屋一二(二〇)が常盤橋で三號電車から下車の際オーバのポケットに入れてあつた現金三圓九錢入りの蟇口を寄り添ふてゐた支那人がスリ取つたのに氣付き、取押へやうとすると蟇口を電車內に投げ出し信濃町市場内に逃げ込んだので「泥棒々々」と連呼しつゝ追跡、附近の人の應援で漸く取押へ大連署に突き出した、右は奧町四〇番地裕通旅館止宿張鳳亭(二〇)といふスリ常習者で餘罪を取調中、また二十二日午後二時大山通三越吳服店で店員の目を掠め陳列の蟇口二個、靴下二足を萬引、何食はぬ顏で立ち去うとする外國婦人を事務員が發見大連署に引渡した、右は市內柳町六一番地露人ナタリヤ・パンコビッチ(三〇)といひ餘罪多數の見込みである

園公の容態

【興津二十三日發】西園寺公の容態は依然一進一退にて捗々しからず

避難民避寒所

山東同鄉會、大連、小崗子、兩公議會主催の避難民避寒所は例年の如く去る十八日より市內露天井町一番地に設置開所中であるが連日施飯、宿泊者等百名以上を突破してゐるさ

同胞へ同情金

在滿朝鮮同胞に對する日本內地人よりの同情は事變以來續々として集り、現に關東廳地方課扱ひの分だけでも愛知縣相愛會から金五百五十圓、福井縣鮮人有志二十五圓五十錢の送附を受けてゐるが今回又東京深川區の鮮人ルンペン達……

子供の防寒具は
こんな風にもして見たら……と嶺前小學校で研究會

冬のスポーツとしてはスケーティングより他に擧げるものゝない滿洲で戶外生活が如何に身體に良きかはお互に知つてゐても、酷寒に對する防寒が充分出來てなかつから折角の戶外生活も無駄となる……斯うしたことから大連嶺前小學校母の會では最近兒童用防寒具研究會を組織し、如何にして

◇**嚴冬** の兒童の服裝を溫かにし、スポーツに身輕く、然も溫かに出來るかを研究した結果二十四日母の手によつて造られた洋服が出來て來ることになつたので嶺前小學校で同日午後一時からこれを陳列して母姉の觀覽に供し母相互の研究會を開くことになつた、嶺原校長は語る

風雪の劇しくない限り戶外生活主義で、屋外に兒童を出し、大連の氣候に順應する所謂寒さに負けない人に鍛錬する事は今日の滿洲教育上重要な任務ではないかと考へます、然し戶外生活といつても防寒の用意も充分なくして幼い兒童を戶外へ輕々に連れ出しましたら

◇**場合** によつては却つてこれが發病の原因となり、取り返しのつかないことになるかも知れないのです、兒童の冬期服裝を見ますに身體の中心部はむしろ暑すぎる位着過ぎてゐるために一寸した運動にもすぐ發汗するのですがこれに反し、手、足脚部は寒く凍痛に堪へ切れずそのため屋內に逃げ込む樣な始末です、こんな狀態では却つて感冒に罹る樣に仕向けてゐる樣なわけですから、この服裝をもつと改良したいと考へ、型や價額の點で適當なものを然も質素に經濟的に、實用的にと、家庭にある、古毛糸、古洋服など

◇**廢物** を利用して家庭の母姉によつて拵らへられる溫い服裝をと母の會では何度も會合を重ね研究した結果、この度漸く出來るまでになつたやうな譯です

廿五日擧行の柔劍道試合
京城高商對全大連と中等校選拔紅白試合

滿洲劍友會及び大連武道館有段者會主催、滿洲體育聯盟後援の全市中等學校選拔柔劍道紅白試合及び京城高商武道界の雄、京城高等商業柔道劍道部對全大連の對抗柔劍試合は愈々來る二十五日午前十時より大連道場に於て擧行するが廿二日兩部役員協議の結果左の如く決定した、なほ柔道は午前十時劍道は午後一時より別々に開始するが會員券すでに配布し當日會場前では僅かしか配布し得ないから希望者は體育聯盟加入團體でそれぞれ求められたしと

柔道の部

△大連中等學校選拔紅白試合(審判小谷澄之五段)

紅軍　大將加藤(一中)副將堀部(大商)宮後(一中)村上(大商)舞熊(一中)工藤(大商)角田(一中)山口(大商)藤田(一中)藤村(大商)唐渡(一中)西山(大商)酒匂(一中)深川(大商)濱田(一中)大西(大商)中西(一中)石丸(大商)藤井(一中)先鋒岡村(大商)補缺下島(大商)

白軍　大將荒木(二中)副將根來(育成)馬島(二中)城戶(育成)野村(二中)岡藤(育成)河原(二中)蒲地(育成)橫田(二中)澤(育成)大內(二中)今村(育成)廣瀨(二中)濱島(育成)北條(二中)山本(育成)前川(二中)富田(育成)伊藤(二中)先鋒山下(育成)補缺河野(育成)

△京城高商對大連道場戰

京城高商		大連道場	
大將二段	佐野	大將二段	桑名
副將初段	宗	副將初段	山野
初段	今田	初段	田村
段外	窪田	段外	野村
段外	渡島	段外	城戶
段外	稻富	段外	毎熊
段外	庄司	段外	藤井
段外	秀島	段外	北條
段外	中山	段外	大野
段外	石山	段外	下島

劍道の部

△大連中等學校選拔紅白試合(審判岡田正美五段　波多江知路五段)

紅軍　大將岩田(一中)副將立花(二中)泉(一中)尚具(二中)難波(一中)木下(二中)水島(一中)古川(二中)船田(一中)松本(二中)伊藤(一中)山本(二中)樋口(一中)野村(二中)土屋(一中)櫻庭(二中)栗田(一中)星村(二中)藤原(一中)先鋒林(二中)

白軍　大將溝口(育成)副將原田(大商)橫峰(育成)木村(大商)丸山(育成)丹村(大商)松元(育成)小森(大商)稻森(育成)土井(大商)岩本(大商)梨原(育成)橋村(育成)山崎(大商)中園(育成)相川(大商)內海(育成)川原(大商)先鋒久富(育成)

△形之部

大日本帝國劍道形　打太刀　辻丸靜雄五段　仕太刀　柴藤茂巳五段
小野派一刀流五行組太刀　打太刀　高野慶壽五段　仕太刀　中西俊爾五段
心形刀流拔刀法　打太刀　岡田正美五段　仕太刀　波多江知路五段
大森流居合　永淵清次四段
大森流居合　波多江知路五段

△京城高商對大連道場戰(審判小關敎政範士、高野茂義範士)

京城高商		大連道場	
大將二段	田中義治	大將二段	櫻木四郎
副將二段	朝永三大	副將二段	園興志雄
二段	樋口武治	二段	安藤昌二
二段	佐野敏夫	二段	加藤一郎
初段	福場清彥	初段	白永清七
初段	田原佩	初段	大森政雄
初段	野田武彥	初段	所崎弘
初段	河野林	一級	溝口初芳
初段	本城幸正	一級	高見泰治
初段	松本和夫	一級	原田峰夫
先鋒初段	西澤隆代	先鋒一級	岩田茂信

賃餅搗で獻金する
工專學生が

南滿工業專門學校學生一同はこの冬期休業を利用して勞力奉仕によつて獻金を集めやうと廿五、六、七の三日間同校に於て賃餅を搗くことゝなつた先日來全市に亘つてビラを撒布し一般の依頼希望者を募つてゐたが、この企ては一般からも非常に歡迎をうけ廿二日迄までに既に八石以上の申込があつた

搗賃は一升に對し八錢五厘で消費組合よりもなほ一錢安であり米は內地米の上等一升廿七錢の割で、餅、胡麻入、餡入、海苔入等も希望に應じなるべく廉價に引受けるさうである、なほ申込は廿三日限りであるが配達希望期日の申込に從つて三十日頃迄には學生がそれぞれ學校の自動車を運轉して各家庭に配達するさ

安樂椅子

滿洲事變がわが同胞鮮人に與へた衝動は色々な形になつて現はれてくるが殊に支那側の暴戾な兵匪土匪に血涙をしぼらされた鮮農が我が駐滿軍隊に感謝してゐる有樣は筆紙に盡せない。

……◇……最近天津から歸つた船客の談によると、在天津の鮮人は今度の滿洲事變は全く萬寶山事件や鮮農壓迫に端を發したもので、皇軍が多大の犧牲を省みず正義の爲に戰つてくれるのは全く我々の爲だと云ふので香椎軍司令官のところへは毎日「何か仕事させてくれ」と賴み込んでゐる大さ云ふ。

……◇……さくに第二回天津事件の際中原公司の最も危險な土嚢築きの裏にはこうした感謝の念に燃えた鮮人の死に身の努力があつたもので更にうれしく感じるのは香椎軍司令官が感謝の意味で金一封を送つたところ「當然なすべき事をしたのだ」と云つて受取らなかつたと云ふ、彼の如く同胞鮮人の皇國に對する觀念が大きな變り方をしてゐるのは事實である【カットは安東驛の記念スタンプ】

船長戒飭言渡

去る十月九日露領樺太土威港に坐礁し船底を大破したる大連汽船所有老虎丸船長大久保嘉一氏に對して去る十六日開廷せられたる海事審判の際木村理事より一ケ月職務執行停止の論告あり廿三日午前埠頭ビル海事審判室において岡本委員長より戒飭の旨裁決言渡しがあつた

婦人ホーム

救世軍育兒婦人ホームでは二十六日午後六時半より同ホーム會館でクリスマス祝會を催すさ

第貳拾參期貸借對照表(昭和六年十一月三十日)

資產之部

科目	金額
未拂込資本金	[illegible]
土地	[illegible]
建物及敷地	[illegible]
什器	[illegible]
建築材料	[illegible]
賣約土地	[illegible]
賣約家屋	[illegible]
建築資金貸付	[illegible]
貸付金	[illegible]
受取手形	[illegible]
掛代金	[illegible]
假出金	[illegible]
土木	[illegible]
農林	[illegible]
靜浦興業費	[illegible]
木浦收入	[illegible]
保證金代用證券	[illegible]
預ケ金	[illegible]
銀行預金	[illegible]
金銀	[illegible]
賣約土地家屋	[illegible]
買收減資株式代金	[illegible]
合計	[illegible]

負債之部

科目	金額
資本金	六、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
法定積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
保證金	[illegible]
支拂手形	[illegible]
假受金	[illegible]
未拂金	[illegible]
年賦賣約差金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期利益金	[illegible]
合計	[illegible]

利益金處分

科目	金額
當期總益金	[illegible]
當期總損金	[illegible]
差引當期純利益金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
合計	[illegible]

之テ處分スルコト左ノ如シ

科目	金額
法定積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
役員賞與金	[illegible]
株主配當金(壹株ニ付金貳拾八錢 年四分四厘八毛)	[illegible]
後期繰越金	[illegible]

右ノ通リニ候也
昭和六年十二月二十三日
大連郊外土地株式會社

曙の鐘 (148)

倉田潮　河野想多畫

山の夜（一）

たえ子は眠られない夜を一人起き出して、山の湯にしたつてゐた。繁宮村で春木が巡査に連れて行かれた時、たえ子は驚愕と悲嘆にくれて自分も一緒に連れて行つてくれと、警察官に申し出たのだつた。が、大山家でたえ子のことを秘密にしてゐる爲か、巡査は彼女の同行を固く拒んだ。また、春木は「直ぐ歸つて來るから梨木へでも行つて保養してゐろ」と云ひのこして、笑つて彼女と別れて行つた。

その後二日間たえ子は繁宮村に足をとめてゐたが、近所の人の口がうるさいので、つひに梨木に逃れて來たのだつた。その頃は五日もたてば春木が許されて來るだらうと思つてゐた。が、何時まで待つても春木は歸らないし、また何の音信もなかつた。

別れる時の春木の言葉に一度消えた心がかりが、近頃次第にまた首をもたげて來た。彼女は春木の言葉を信じてゐたが、自分の眼をも信じない譯にはいかないのだつた。あの夜彼女は確に春木が剛太郎のそばに短刀を持つて佇んでゐたのを見たのである。その尋常でない表情を、その危險な姿勢を考へると、信じてゐる春木の言葉が信じられなくなつて來る。一點の疑ひが信ずる心の表に現はれて來るのだつた。

「でも、何う考へても春木さんがそんな常識に外れたことをする譯がない」

さう我と我が心を安心させて、彼女は人氣のない浴室を出た。旅館の中はしんと靜まつて、浴槽に滴り落る湯の音が無限の靜寂を算へてゐた。

夏場は非常にこみ合ふといふ此の宿も、今は湯治客が殆どなかつた。がらんとした部屋の中へたえ子は山の寂寞を感じながら這入つて行つた。と、彼女より先に美しい若い女がきちんと火鉢の前に坐つてゐる。あけみだつた。たえ子は驚いて障子をしめようともせず

「まあ」

と云つたまゝ棒立ちになつた。あけみはそれを見て皮肉に笑ひながら口を開いた。

「驚いたでせう。でも、番頭さんが私を此の部屋に案内して、あなたが湯に這入つてゐるから少しこゝで待つてゐろと云ふのよ」

たえ子は何うしてよいか口がきけなかつた。

春木との戀をあれほど慘酷に妨害し、あれほど惡らつな手段を弄して、春木を奪つて去らうとしたあけみを默つて許してやる氣はしなかつた。それにまた今何んな惡賢い計畫をめぐらして來てゐるか知れたものではない。

一方にさう思ひながら、たえ子はあけみを通じて春木のその後の消息が知り度かつた。あけみは確によくそれを知つてゐるに相違ない。

「たえ子さん、あなたおこつてゐるのぢやなくて」とあけみはまた皮肉な笑ひを浮べた。「おこつてゐてもかまはないわ。實は私、今日春木さんのことで是非あなたと相談しなくてはならないことが出來たので、夜中一人で先の驛から歩いて來たのよ。まあ御座んなさいな。春木さんが飛んでもないことになつてしまつたわ」

たえ子はあけみの云ふことをそのまゝには信じてゐなかつた。恐らく嘘だらうと思つた。が、最後の決裂はあけみの云ふことを聞いてしまつてからでも遲くはないと考へて、

「春木さんが何うしたと云ふのです」

と、火鉢の前に立て膝をついたまゝ、あけみは手さげ鞄から新聞を取り出して、

「これを御らんなさい」

とたえ子の手に渡した。この宿に來てから、たえ子は數種の新聞に眼を通してゐたが、今あけみの差出した新聞は宿で取つてゐない東京の夕刊新聞だつた。

たえ子は思はず息をはずませながら、その三面を開いて見て、同時に慄然と血色を失つて顫へあがつた。

けふの放送

大連 JQAK　十二月二十四日

▲午前七時ラヂオ體操
▲午後五時二十八分（內地中繼）家庭電氣講座「家庭電化の今昔」工學博士川崎舍恒三（以下大連放送局より六時）
▲ニュース
（以下內地中繼六時三十分）クリスマスの夕
▲童話劇「不思議なラヂオ」朝谷謙二作、北村兒童歌劇協會
▲クリスマスカロル「未定」東京シンホニックコーラス、指揮津川主一
▲クリスマスの集ひ、讃美歌、お話、唄、童話劇（大阪より）
▲管絃樂（イ）松明の舞曲（ロ）組曲子供遊劇（ハ）道化者の巡邏、東京ラヂオオーケストラ指揮奥山貞吉
（以下大連放送局より）
▲筑前琵琶「扇の芝」法位山服部旭龍
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニュース

滿洲日報

發行所　大連市東公園町卅一番地　株式會社滿洲日報社
定價　一ヶ月　金一圓二十錢　一部　金五錢
廣告料　普通一行　金一圓三十錢　特別一行　金二圓六十錢　場所指定　二割以上加算

匪賊討伐積極的に展開す

營口の我軍今曉六時田庄臺方面へ出動す　鐵蹄勇ましく雪を蹴つて

營口に待機のわが部隊は數日來出動の準備に忙殺されてゐたが、愈々二十三日午前六時命令一下鐵蹄勇ましく曉の雪を蹴つて田庄臺方面へ出動した、出動部隊は二隊に別れ一部隊は○○第○○隊、○○○隊及び○○○隊の一部でターク碼頭より○○丸で折柄氷塊流下する遼河を横切り河北驛から北寧支線に沿ふて田庄臺に向ひ他の一隊は第○○聯隊第○大隊及び○○第○大隊で牛家屯、三家子を經て陸路直に田庄臺に迫つた、夜はまだ明けざるに出動勇士の征途を見送るために馳せ集まり市民道の兩側に堵を築いて見送つた【營口電話】

兵匪牛莊城を占領す　討伐に出動せる我軍苦戰

二十二日夕刻約四百名より成る兵匪牛莊城を强襲し同地公安隊及自警團員等は散々に擊破され、城外に逃走し牛莊城は完全に賊團の手裡に落ちた、この急報に接し海城にある我第○○聯隊の一部隊及○○第○○隊は急遽匪賊討伐のため現地へ急行した牛莊城附近の黃土坨子に到着せる我討伐隊の一部隊は匪賊の大部隊と遭遇激戰し我軍苦戰に陷いり兵一名負傷、通譯一名行方不明となつたが、その後牛莊城と當地との連絡電信電話線切斷され消息不明である、牛莊近傍大旺屯支那巡警の談によれば日本軍は數倍の優勢な匪賊に包圍され全滅に瀕してゐるとも傳へられ憂慮されてゐる、なほ牛莊に襲來した老北風の二千の匪賊は我軍が二十一日牛莊城に入城し匪賊を討伐昨日撤退を開始せるに乘じ牛莊城を乘つ取り撤退中の我討伐隊に逆襲して來たものである【海城電話】

約三百名の兵匪と李貝堡で激戰　我傳騎の壯烈な戰死

二十一日朝七時石佛寺を發した第一〇大隊は法庫門の先發隊第○中隊一長高橋大尉を尖兵隊長として向はせたが、同中隊は二十二日朝十時半法庫門南方四キロの李貝堡において約三百名の兵匪に遭遇、交戰を開始し苦戰に陷つた、傳令の報告に依り第○大隊島本大隊長は直に應援進擊に決し高橋中隊は大隊主力到着まで李貝堡を死守せよとの命令を下して大隊主力は自動車に分乘李貝堡に急行したが途中泥濘の道路で自動車故障を起して前進不能となり高橋中隊との聯絡杜絕したので第○中隊小杉軍曹第○中隊和久一等兵を聯絡傳騎としてサイドカーで急派したが、小杉和久兩名は途中後孤家子において二十騎より成る敵の正規兵に遭遇騎上より狙擊を受け二名は頑强に應戰したが衆寡敵せず孰れも銃を握り萬歲を絕叫しつゝ壯烈な最期を遂げた【開原電話】

一部隊石佛寺に引返す

第○大隊は二十三日朝七時後孤家子の戰場を整理し更に五臺子の匪賊を殲滅したる後直に石佛寺に引返す豫定【開原電話】

法庫門縣長五臺子に逃亡

二十二日法庫門縣長は五臺子（通江口の西南約三里）に公安隊及び多數の兵を率ゐて逃亡し同地に立籠つた、わが獨立守備隊第○大隊は二十三日中に之を殲滅せんとし目下盛に包圍攻擊中である【開原電話】

大部分は蒙古兵

獨立守備隊第○大隊は二十二日朝七時石佛寺を出發法庫門西南約四邦里の地點において匪賊四百名と遭遇交戰の結果先發隊小杉軍曹、桑井一等兵は行方不明となり荒井一等兵戰死し船瀨中尉、若松一等兵、武石一等兵は重傷を負ふた、敵の損失は約百名に達しその內正規兵もありその他の大部分は蒙古兵であつた【鐵嶺電話】

法庫門混亂　要人等悉く逃亡　匪賊は決死で對抗

二十三日法庫門より當地に達した情報によれば日本軍來るの報に二十一日の法庫門は大混亂を呈し商務會長、電報局長、電話局長、司法監督（法務官）の四名を除く縣長を始め政府首腦者、各機關代表者は殆ど逃走し官銀號には一文の金も殘してゐない、公安局長は商務會から一千元を徵發せしめ武裝部下三百名を率ゐて逃走せるが、廿二日商務會に對し「我々は日本軍と戰ふ意思なきも錦州軍に改編されたる馬賊軍は死を決して日本軍と一戰する覺悟を抱きつゝあるをもつて法庫門市外は何時戰亂の巷と化するやも知れず」と電話で通報して來た、法庫門西方には公安隊三百名、馬賊軍千五百名あり我軍の行動を注視しつゝあるものゝ如くである【鐵嶺電話】

匪賊團、後孤家子で我軍を猛烈に攻擊　激戰約一時間に及ぶ

第○大隊先發隊は二十二日午後一時後孤家子に到着するや匪賊三百名は突如わが軍に猛烈なる攻擊を浴せたるに依り直に之に應戰、激戰約一時間にして敵二百名を擊退せしめたがなほ百名は頑强に抵抗を續けたので之を包圍して遂に殲滅した、この戰鬪において第○大隊四中隊荒井一等兵戰死し須納瀨中尉、若松一等兵、第一中隊の武石一等兵負傷した【開原電話】

金家屯の兵匪二千に對しけさ討伐行動を開始　通江口附近にて我軍連絡

獨立○○隊第○大隊は同第○大隊と二十二日午後三時頃通江口附近において連絡を完成し、通江口北方四里の金家屯に蟠居してわが軍に抵抗する約二千の兵匪を討伐するに決し兩部隊は共同動作の下に岩田中佐指揮官となり二十三日朝八時を期して通江口を發し步武堂々一路金家屯に向け討伐の軍事行動を開始した【開原電話】

營口に待機してゐた皇軍部隊（廿二日南本街を行進）

第六十議會けふ召集　正副議長選擧を前衛戰として　愈よ政戰の幕開かる

【東京二十三日發】急轉直下の政變に依つて朝野その地位を轉倒し、野黨絕對多數の爲め到底解散は避け難きを豫想される第六十議會は愈々二十三日召集され、貴族院は卽日成立を告げ、衆議院は劈頭今議會の前衛戰と觀られる正副議長の選擧を行ひ茲に政戰の幕は切つて落された

貴族院成立す　部長、理事の互選を了る

【東京二十三日發】第六十議會召集の貴族院は二十三日午前九時振鈴と共に德川議長、議長席に着き定員に達するを待つて同八分開會を宣し、劈頭德川議長は留任の挨拶を爲し、これに對し議員を代表して近衛文麿公は祝詞を述べた、次いで德川議長はこれより本院規則第五條に依り抽籤を以て部屬を定めますと宣し書記官をして抽籤を行はしめたる後、部長、理事互選の爲め同三十分休憩、五十分再開し書記官をして部長理事互選の結果を朗讀せしめ德川議長は「本院はこれにて成立しましたこの旨政府並びに衆議院に通告します」と宣して十時二十分散會した、尙德川議長は直に貴族院成立の旨を政府並びに衆議院に通告した

衆議院直に議長選擧

【東京二十三日發】衆議院は午前十時十六分振鈴と共に入場、同二十分田口書記官長議長席につき議長選擧につき宣言し直に議長選擧の堂々廻りに入る、無產、國民同志會等の第一控室組の仲間入りした安達氏とその一黨もこれ等一團の後方に議席が移されたのは本會議場頭の新風景である、與黨席は少數とはいへ犬養首相を中心に閣僚政務官がズラリと列んで中心勢力をなしてゐるのに對し絕對多數を持つ野黨席には濱口總裁の姿なく安達氏亦去つて野黨陣の本據には賴母木、櫻內、山道氏等鼎座してゐるが何處となく物足らぬ議場は何となく緊張味なく和やかな空氣さへ漂つてゐる

幹事長問題に九州團體不平

【東京二十三日發】二十二日政友會議員總會は犬養首相より久原幹事長暫定留任を表明するや九州團體は曩に犬養首相が山崎達之輔氏に內交涉した以上、山崎達之輔氏を幹事長たらしむべく、然らざれば黨役員の選擧を肯ぜずとて擧つて東京ステーションホテルに立籠つて對策を議したが床次、久原兩氏の斡旋懇諭で漸く鋒をつけた

小山副議長は依願免

【東京二十三日發】小山衆議院副議長に對し本日左の辭令があつた

衆議院副議長　小山松壽
願により衆議院副議長を免ず

滿洲事變費第二豫備金より

【東京二十三日發】高橋藏相は勅裁を仰ぎ滿洲事變費昭和六年度第二豫備金支出の件を二十三日左の如く發表した

一、滿洲事變軍隊出動費　二、一九四、九二三圓
一、中華民國方面臨時艦隊派遣費　一九九、五七九圓
補足
一、滿洲事變警察官增員費　三三、二〇八圓

內務土木機關復活決定

【東京二十三日發】內務省は前內閣の行政整理により明年一月より廢止されることゝなつてゐた神戶橫濱兩土木出張所を復活すべく廿二日省議を開いて從前通り存置する方針を決定豫算を大藏省に交涉する事となつた、又博多、尾道、舞鶴、七尾四港灣の地方移管案をも覆へして從來通り國の直營とする事に決定した

拓務省豫算七十一萬餘圓

【東京二十三日發】更正拓務省の來年度豫算に就いては過般の閣議で同省存置の方針が確定したので大藏省との間に考究中のところ今回前年度の一割引卽ち七十一萬餘圓と決定し近く閣議の承認を求める事となつた

人事

▲首藤正壽氏（滿鐵理事）奉天出張中のところ二十四日朝歸任
▲竹中政一氏（滿鐵理事）二十三日朝安東より歸連
▲篠原重太郎氏（海事協會理事）廿三日入港のはるびん丸にて着連
▲綱島辰夫大尉（宇品陸軍運輸部附）同上
▲東京慈惠醫科大學生一行七名軍隊慰問のため同上來連

國策審議會休會明前實現か　會長に山本条太郎氏

【東京二十三日發】政府部內に最近在野時代の調査に係る十大政綱の實現及びその他重要國策立案のため內閣に直屬する國策審議會を設置すべしとの意見が有力に行はれてゐるが、一月二十日議會再開迄に具體化する模樣である、主張の內容は會長は從來この種の會の會長が總理を當つる形式を廢し抱負經綸あり責任を以て國策立案に當り得るものを當て、委員に閣僚及び與黨並に貴族院の適當の人物を配し親任待遇としその數を十名とすること幹事は各省次官を當てるといふにあり、會長には山本条太郎氏を推さんとする意嚮である、なほ本審議會設置の上は無任所大臣は置かない筈【寫眞は山本氏】

米軍縮全權　主席は米大使

【ワシントン二十二日發】フーヴァ大統領は本日軍縮會議アメリカ主席全權に駐英大使チャールス・ドーズ氏を任命する旨言明した、バージニア選出民主黨上院議員クロード・スワンソン氏の代表決定も動かない處である

英、獨公使錦州へ　學良の懇請で

【天津二十二日發】錦州には二週間前から錦州政府の賓客として英、米、佛三國武官滯在し、ドイツ公使は今朝北平發錦州へ向つた、なほ今朝北平に歸つたイギリス公使ランプソン氏も近く錦州に赴く筈で右は何れも張學良の懇請に依るものといはれてゐるが、張學良は學生、要人には頻りに强硬論を以て應酬する一方、列國使臣を通じ世界的に逆宣傳をなさんとするものである

施肇基氏の辭表　電報で政府に提出

【南京二十二日發】施肇基氏は電報を以て本日國民政府に辭表を提出した【寫眞は施氏】

蔣介石氏歸鄉

【上海二十二日發】下野した蔣介石氏は本日午後五時夫人同伴南京より飛行機で鄉里奉化に着いた

米春霖が張學良に對し指令要求

【北平二十二日發】米春霖は錦州から來平、張學良に最近の情勢を報告し命令を求めた、張學良はいよく廿三日中に最後の態度を決定せん、又天津二十二日發電によると天津、塘沽間を示威的に往復してゐた東北軍裝甲列車は迫擊砲、小銃彈、榴散彈を滿載せる四貨車を連結して輸送され、別に東北軍選拔兵四百名の輸送も開始した

外交部長顧氏

【南京二十二日發】外交部長顧維鈞氏は本日正式に辭表を提出した

軍縮會議の延期　英政府通牒の內容

【東京二十二日發】英大使リンドレー氏は訓令に基き過日永井次官を訪問し軍縮會議延期問題につき日本の意向を聽取したが、リンドレー大使は其際通牒を手交し犬養首相に提示を求めたと、右內容は英政府は會議を延期するは疑惑を生ずる惧れあるので豫定の通り二月二日開會せん事を望むものだが一月中旬には賠償會議が開から且つ佛總選擧、獨大統領改選が間近く二月二日開會は事實上不便で之に就き日本政府の意嚮を求めたもので永井次官は取敢ず口頭で日本が全權を出發せしめた程で延期を希望する理由なしとし近く正式に回答する筈なるも、大體イギリスの立場を諒とし二、三週間の延期はやむを得ぬといふにあるもの、如く關係各國の態度は注目されてゐる

蛇角

閑院宮殿下參謀總長御親補、第六十議會召集、二十三日は軍事政治事始めの日。

◇

二十一日の奉天新政府成立祝賀式に英、米、佛、獨各國總領事參列、列國は新滿洲政權を承認した。

◇

蔣介石鄉里へ引揚げ、さらへるだけさらつた財政を、後任政府に突きつけて知らぬ顏。

◇

榮臻、對日宣戰布告を催促す、勇氣愛す可し、馬占山、錦州軍と呼應の爲め、軍費軍需品を送れと張學良にせがむ、之れは虛喝もの

◇

錦州に英佛米武官滯在、其意識り難し。

◇

歐米派遣特使の議あり、滿洲の我國立場闡明の爲め、之れは十分の必要がある。

◇

支那英米タバコ會社に赤色浸潤、此會社は曾て全力を排日に傾けた排日に赤旗は附物、今の惱みは自ら招く所。

東亞の謎（157）

國枝史郎　挿畫　伊藤顯三

戰ひ（八）

ダットは後方へ運ばれた。

さうして病院へ擔ぎ込まれた。

「ダットがやられた！」

「ダットさんが射たれた！」

人々は動搖した。

わけても洋子は顚動して了つた

床へ置かれたダットの側へ、飛び付くやうにして走つて行き、ひざまづいて傷口を見た。

左の肩を負傷してゐる。

血が胸と咽喉とを染めてゐる。

「消毒！早く！繃帶を！早く！」

人々は手早く手あてをした。

ダットは眼を閉ぢ唇を顫はせ、苦痛に堪へてゐる樣子であつた。

その顏色は蒼白であつた。

その顏を熱心に見守りながら、洋子は祈り度いやうな泣き度いやうな、複雜の表情をしてゐた。

（妾や私達を二度も三度も、助けて下されたダットさんが！）

（妾一人の力だけでも、この人をどうしたつて生かさなければならない）

（也速該とのこれ迄の關係を斷つて、その也速該を敵として、今度の負傷を受けたのも、私達五人を助けやうとし、私達の味方になつたからだわ）

グル／＼と考へが渦を捲くのであつた。

見詰めてゐる洋子の眼頭あたりから、淚が自と流れ出してゐた。

その時小夜子が立ち上がつた。

彼女の心はダットには無かつた

彼女の心は伯爵にあつた。

然う松下伯爵にあつた。

意外の事件から戀する人と、彼女は逢ふことが出來たのである。

その枕元には小夜子が坐り、同じく愛しさうに見守つてゐた。……

伯と次郞とは武村をしよびいてダット監視所の方へ行つてゐたので、ダットの負傷は知らないのであつた

再度の來襲は先づあるまい、かう思つて伯は十人の兵を、南部正雄に指揮させて、自動車庫の方へ急行させたので、こゝ病院は靜かであつた。

女達も先刻の戰ひで、幾人か負傷し負傷しなかつたものも、ごく疲勞れてゐるところか、その或者は次の部屋で寢、その或者ははんやりして了つて、この室は妙に元氣が無かつた。

負傷兵の呻く聲の凄慘さが、いよくこの室を物凄くした。

さういふ室につゝまれながら、洋子はうつとりと考へてゐた。

（ダットさんは死ぬのかしら？）

伯と逢ふことが出來たのである。

しかも危難を助けられたのである。

しかし直ぐに戰ひとなり、しみじみと話すことは出來なかつた。

彼女としてはあれ以後のことを――上海で武村に誘拐され、この蒙古領域へ連れて來られ、今日に至つた出來事を、話し度い願ひで一杯であつた。

さうして彼女が何んなに戀しく伯を戀してゐるかといふことを、洩らし度い願ひで一杯であつた。

體も心も自由にして下さい。どうされやうとご自由です……かう彼女は云ひ度くさへ思つた。

彼女は室を辷り出た。

監視室の方へ彼女は行つた。

伯を探しに行つたのである。

監視室には伯と次郞とが、武村を引き据えて詰問してゐた。

今朝また別働隊現はれて安奉線の破壞を企つ

通遠堡林家臺間にて我討伐隊と交戰敗走

安奉沿線は最近に至り張學良の別働隊出沒し驛或は警官派出所を襲擊する事件頻々として惹起して居る際更に二十三日午前九時ころ數百名の別働隊が通遠堡、林家臺間に現はれて鐵道破壞を企てんとし鷄冠山守備隊小里曹長以下〇〇名と警官隊の討伐隊と交戰約二時間に亘つた後擊退され敗走中で軍隊警官聯合軍は目下これを追擊中である、なほ安東發午前六時四十五分發列車は林家臺で不時停車三十三分遲發した【安東電話】

草河口以東各驛の家族は安東に避難

社宅に十八家族收容

安奉沿線は最近匪賊の襲擊頻發し危險のため草河口以東の驛員家族は安東に避難し滿鐵社宅に收容してゐるが、避難家族は十五家族で二十三日更に三家族が安東に避難して來た【安東電話】

增派の練習生けさ奉天へ

半數は安奉線に配置

奉天、安奉沿線附屬地警備充實のため增派遣さることゝなつた關東廳警官練習所生二百名は二十三日午前六時四十分旅順驛發列車にて酒井、上野兩警部、小林、畔地兩警部補引率の下に中谷警務局長初め有田保安課長、星子衛生課長以下在旅官民多數の盛んなる見送り裡に喜び勇んで急遽現地に向け出發した、なほ同應援隊は午後三時過ぎ奉天着、約半數同地に下車、殘り半分は直に安奉沿線各地の配置に就く筈

臺灣官民が慰問金

在滿警官に

朔北の寒氣と鬪ひながら滿鐵沿線附屬地の警備に今や悲壯なる奮鬪を續けてゐる在滿警察官に對する慰問弔慰金は既報の如く地元住民を初めとし內地、朝鮮その他各方面貧富の別なく毎日數十件づゝ續々關東廳宛に屆けられてゐるが二十三日臺灣全島官民より慰問金千四百圓の送附を受けた、二十三日朝までの慰問金總額は二萬四千七百八十三圓三十三錢の多額に上つたが中には無名氏、少年、少女等より涙ぐましい慰問金などもある

輿論硬化に一驚した

滿鐵遊說隊談

滿洲問題について日本內地の輿論を喚起し滿洲に關する正しき認識を與へんため選ばれて派遣された滿鐵代表の少壯社員渡邊、石岡、村田、長迫四氏はそれぞれ分擔して全國に亘る講演行脚を終へて二十三日入港のはるぴん丸で歸連したが渡邊氏は語る

僕は北陸及び近畿方面を旅行したが各地共輿論の白熱化してゐたのは寧ろ一驚した、我々の歩いた方面に於ては唯一人の非戰論者をも見出すことは出來ない公式講演十三回その他合せて十七回ですが到る處で非常な歡迎でした、金澤の座談會を初め色々意見を聽いて見ましたが滿洲については案外內地人もよく知つてゐる尤も事變に結びつけて知つてゐる程度でもつと深く事變に到るまでの眞の事情についてはまだあまり知られてゐないのでこの點を極力說明し且つ在滿邦人の境遇や意氣を說明するに努めた、我々の最も力強く感じたのは今回の事變で一番影響をうける大阪の對言易業者が最も根強い主戰論者であることである彼等は何れも自分達の犧牲は甘んじて受けるから徹底的にやつてくれと主張してゐる

時局で多忙の運輸部に來援

時局の轉變と共に目の廻る樣な多忙ぶりを見せてゐる陸軍運輸部大連出張所では森本少佐指揮のもとに或ひは戰傷兵の保護送還に又は戰歿勇士の遺骨の送迎に慰問團の世話から駐滿各隊の諸勇士宛の書籍類の處置から慰問袋の整理、軍需品の受渡等々時局の渦の眞ん中に立つて活動してゐるが、更に運輸部機能の萬全を期する意味で人手を臨時增加する事となり廿三日入港はるぴん丸で宇品本部より纐纈長大尉並に神田屬北川曹長の來援を得て所內は更に活氣を呈してゐる

避難鮮人間に惡疫が流行

滿鐵で一齊健康診斷

滿鐵の調査によれば現在附屬地に收容されてゐる避難鮮人は營口三百十九名、奉天三百二十名、四平街七百十七名、撫順四百名、鞍山五十六名、開原九十六名、公主嶺六百十九名、安東百五十八名、合計二千六百八十五名であるが、之等避難鮮人の衛生狀態は甚だ惡く氣候や疲勞等のため惡疫流行し始めた模樣で滿鐵衛生課では取り敢ず保健、防疫上の見地から各地方事務所及び醫院をして一齊に避難鮮人の健康診斷を實行させることゝなつた、その結果につき防疫或は施療、入院等對策を講究するが既に判明した處では奉天に再歸熱四名、開原に猩紅熱一名を出した外小見間には麻疹が流行し奉天の如き十二三名の患者を出してゐるその他も同樣らしいから先づ附屬地內避難民に默察を施し漸次附屬地外避難鮮支人にも及ぼすと

初等學校の職員獻金

關東州內の小學校並に公學堂の職員は全員一致年末年始の冗費を省き金一千三百九十五圓四十九錢を醵出し軍隊へ金一千圓、警察官へ金三百九十五圓四十八錢を本日それぞれ獻金の手續をなした

滿洲第一線の狀況全國放送

【東京二十二日發】東京中央放送局では滿洲第一線の狀況の世界中繼放送の計畫であるが一キロの短波機を据つけて大阪放送局が中繼して全國的に放送をする筈である

兵士ホームは豫算十萬圓

全國から寄附金募集

全滿婦人聯合會では二十日奉天で緊急會議を開き在滿軍隊のため兵士ホームを開設すること及び鮮人同胞並に中國人の爲め隣保事業を開設すること、毎週金曜日を家庭克己デーとすること、會員の連絡機關として會報を發行すること等を決議した事は既報の通りであるが右の事業計畫は大連婦人聯合會がその衝に當る事となり二十四日午後一時より文化協會に於て幹事會を開き種々協議する事になつたなほ兵士ホームは資金十萬圓の豫算なので之れは全國より寄附金を募集する事となり既に大連キリスト教婦人聯合會は金八百圓、婦人矯風會よりは金四百六十一圓の寄附申込みがあつた

北大營潛入の便衣隊逮捕

隱家に機關銃隱匿

最近北大營に續々として便衣隊が侵入することは既報の通りであるが、二十二日午前六時頃同兵營第一彈藥庫附近に潛入してゐた一名の便衣隊がわが守備兵によつてまたも逮捕され訊問の結果他に二名の共謀者のあることを自白したので彼等の潛在せる家屋に連行し家宅搜査を行つたところ果して一名の便衣隊と小銃及び機關銃彈藥約百發を隱匿してゐることが判り直に押收した、なほその日午後二時同四時の二回に亘り各一名の便衣隊を逮捕した【奉天電話】

慈惠醫大から慰問學生來る

廿三日入港はるぴん丸で東京慈惠醫大生加賀美功光君外六名が全校學生代表として來滿した加賀美君は語る

冬の休みを利用して只無意味に過ごすよりはと同志七名が全校生の恤兵金五百圓を軍部に屆けるべく來ましたなほこのうち半分は駐滿兵家族に送るべく東京で既に新聞社の手を經て送りました

軍艦八雲入港

時局の推移により新たに第二遣外艦隊に加へられた海防艦八雲（九千六百噸）はさきに佐世保より來旅徘徊中であつたが既報の如く廿三日大連に廻航午前十一時港外にその灰色の勇姿を現はし正午第四埠頭三十八番バースに繫留した、艦長は新見政一大佐、乘組員七百餘名、いづれも士氣大いに旺なるところを見せてゐるが炭水補充約二日間滯泊の筈である

聖德會の施飯

大連聖德會にて例年行ふ聖德太子堂境內の施飯は今年は事變による鮮人避難民等により特に一ケ月早く施飯することゝなり廿三日より開始された、施飯時間は午前中は九時より十一時まで午後は三時より五時まで來春三月廿三日まで行ふと

排日ポスター寫眞帳

一部金卅五錢（オフセット四六倍版九十六頁）

時節柄これを利用せられる向多く、殊に遠く母國の知人に、或は支那研究者に、これを送り、而して事變の因つて來るところを知らしめることは、この重大なる時機に臨み、機宜を得たるものとして、大連はもとより、沿線より續々と注文殺到しいよいよ來る廿五日より配布しますが、發行部數に制限がありますので、御希望の向は至急左記に御申込み願ひたい

申込所　大連本社受附、市內本社各販賣店、大阪屋號書店、滿書堂書店、地方は本社の各支社、支局、販賣店

滿洲日報社

クリスマスの用意

亡夫の位牌を前に親子四人心中未遂

零落した高商教授の未亡人が貧と病魔に惱んで

あと一旬に迫つて樂しかるべき正月を前にして貧と病苦にさいなまれ零落した高商教授の未亡人が三人の愛兒を道連れに親子心中を企てた歲末哀話がある、二十三日午前五時ごろ市內春日町大日ビル三階六號室から斷末魔のうめき聲が洩れて來るのを隣家の磯部安治方で聞きつけ不審に思つて內部を窺ふと異樣な瓦斯の惡臭が鼻をつき十疊の間に女主人玉木トキ（四三）長女照子（一五）長男清志（一三）次女初子（七）——全部假名——の四名が枕を並べて假死狀態に落ち入り時々苦悶の聲を發してゐるを發見、驚いて春日町派出所に急報、警官が驅つけ窓を開け放ち瓦斯を發散させたうへ、本署から桑野警部補香取醫師が驅つけ應急手當を加へた結果親子四名共生命を取止めた室內には遺書とてなかつたが母親トキは一家心中を覺悟し佛壇には亡夫の位牌に新らしい花が手向けられてあり瓦斯管は臺所から十疊の寢室に引き入れてあつたが瓦斯の發散時刻は發見より二三時間以前らしく未だ室內に充分に充滿してゐなかつたので窒息を免れたものである

夫の死亡からドン底生活

涙を誘ふ哀れな一家

玉木一家は數ケ月大日前ビルに移轉して來たものでトキの夫は曾て長崎高商及び日露協會教授を勤め其後關東廳に奉職囑託經濟調査會主任として昨年一月まで在職してゐたが病氣のため辭職療養中同年十二月遂に妻子四名を殘して死亡したそれ以來一家の境遇は忽ち轉落し母親トキは關節炎に惱まされて働くことも出來ず苦い家計のうちからも夫の退職金などで遺兒三名を小學校に通せてゐたが、蓄へもやがては盡きて一家は赤貧洗ふが如き慘めな狀態となつた、それでも足らず惡魔はさらに一家を呪ふて昨今三人の子供が代る代るに病に犯されその日の糧すら窮するのに愛兒の藥代もなくトキは遂に決心し總てを清算して苦み多い浮世を免れやうと廿三日深更瓦斯管を引入れ三人の子供と枕を並べ靜かに死に就いたのであつた、なほ長男及び次女は現在某小學校に通學中

新人を待望する

今年の運動界を回顧して（上）

希望に輝く第十回世界オリンピツクを前に控へた千九百三十一年の日本スポーツ界の跡を遡つて見ると、先づ第一に

明治神宮體育大會に於ける陸上の織田南部兩選手の活躍である、前者は三段跳に於て千九百二十四年濠洲のウイター選手の作つた十五米五二を破つて十五米五八に、後者は走巾跳に於てハイチのカートー選手保持の七米九三（千九百二十八年に作る）を破つて七米九八にそれぞれ世界記錄を更新したことである、世界オリンピツク大會を除いて一國內の同一競技會で同時に二つの世界記錄が作られたことは世界陸上史未曾有のことである、更に明治神宮體育大會に於ける二十になんなんとする日本新記錄の創造さ府縣代表の青年團選手の

活躍である、從來日本の陸上競技界は學生中心であり僅に一部マラソンのみ青年團選手の活躍するところであつたが時代はひとり陸上のみならずスポーツを一部選ばれたる學生の手より離れ今や大衆化されるスポーツとなつて青年團に急激に普及したのである、この結果、こゝ兩三年度には日本の陸上競技界は學生中心と青年團中心との二大勢力に分野されるであらうと云ふ豫想もあへて机上の空論ではなからう又今春は米の短距離のシムプソン投擲のロザート、スイスの中距離のマルタンの世界三大陸上選手を招聘してその片鱗に接することを得た

◇◇

この間わが滿洲陸上界では？春には滿順に於ける恒例のリレーカーニバルあり續いて

奉天に於ける日支代表選手及び滿鮮邦人代表選手による奉天國際運動場開きあり更に秋には全日本選手權大會及び明治神宮大會の豫選會とも云ふべき全滿洲選手權大會開催の筈であつたが、日支事變のため惜しくも中止となり滿洲代表選手は濱田、福井、淺野、伊藤、柴田の五選手及び神戶高女の城田嬢を派遣したのである、結果濱田君は千五百米で一着柴田君は三段跳で優勝し福井君は中距離で五六秒二の日本新記錄を創造した、今年は例年に比べて滿洲陸上界は甚だ寂寥の感があつた、對內地大學チームとの對抗ゲームのなかつたことも一因であるが、現在まで

滿洲陸上界の中堅とも云つた仲田、小數賀、淸水、渡邊等選手松重、濱田、八重樫、富田等もすでに引退期に入らんとする折から新進の出でざることが最大の原因であることが見逃せない事實である、明治神宮大會初期に於ける滿鐵のマークをつけた滿洲代表選手の如何に多く入賞し、日本陸上競技界を內地と滿洲とに二大分野せし感ありし時代を顧へば甚だ寂寥の感を深からしめる、ただ多年懸案なりし滿洲學生陸上競技聯合會委員長村上國平氏と工專松田委員の努力に依り成立したことがせめてもの收穫である、第一回大會の記錄は內地中等學校大會にも及ばざる貧弱なものであつた、然し彼等の前には洋々たる前途がある、又この成立により不振なりし滿洲

學生陸上競技界に一つの光明を與へたものとも云ひ得よう洋々たる大海原に棹さして進まんとする若人達に心かぎり祝福すると同時に新人出でよと絕叫する、松重小數賀仲田の諸先輩により築き上げられた滿洲陸上王國により一層の光輝を與へんことを祈りたい

解決するまでは實館に籠城する

解雇手當て從業員頑張る

あわたゞしい歲末に際し失業問題に直面した實館從業員男女十餘名は實館に陣取り爭議狀態を續けてゐるが、代表者數名は二十三日も大連署に出頭、誠意なき吉田館主の橫暴を訴へ最期の目的通り一、吉田館主との口約に基き退職金として給料三ケ月分を支出すること　二、營業讓渡の權利金六千圓のうち一千圓提供を吉田館主に要求すること　の二案のうち何れを實行さすべく當局の斡旋を嘆願してゐる、大連署では雙方の仲に立ち調停してゐる、吉田館主は退職金として給料半ケ月分を三圓の月賦にて支拂ふと主張し、極めて誠意なきため從業員側は承知せず、問題解決までは實館に籠城すると頑張り正月を控へて悲痛な叫びを揚げてゐる

敦賀丸を買收

支那側の進出

支那側の海運界進出は山東沿岸においても表面化し山東省登州府威海衛居住蔡華亭氏はこの程大連市花園町居住三木氏より同氏所有で今日迄威海衛をはじめ山東各港就航中であつた敦賀丸（七百五十噸）を買取り專ら山東各港就航に當てる事となり二十三日海務局宛敦賀丸國籍消滅の屆出あつた

飲酒し暴行

大連社會館止宿民布行商伊藤鶴壽（二七）は廿二日午後四時半ごろ連鎖街飲食店中松屋にて飲酒中隣席の者に暴行を加へ手に負へないので附近を通り合せた小崗子署警戒員がこれを取り鎭めんとしたところ喰つてかゝり暴行を加へんとしたので檢束した

埠頭嚴重警戒

師走の聲と共に特產出廻りで多忙繁雜を極める埠頭構內にコソ泥が出現し野積の豆泥棒や倉庫破りが頻發するので本年はこれが徹底的絕滅を計るべく水上署では日夜警邏班によつて嚴戒の目を光らせてゐる

密輸女を檢擧

大連署司法係では二十二日夜市內某所から加美リヨ（五四）を拘引し銃砲火藥取締違反で留置したが、右はさきに檢擧された多久島一味の犯罪と似通つた時局を當て込んで拳銃密輸を行はんとした一味の手先で相當連絡者あるらしく目下搜査を開始してゐる

天氣豫報

二十四日　北西の風（晴）

各地溫度

	廿三日午前十一時	廿二日最低
大連	零下五・二	零下五・七
旅順	同二・六	同五・一
營口	同七・七	同一三・三
奉天	同八・一	同一五・一
長春	同一二・一	同二三・六

暴風警報　風強かるべし　二十三日午前八時遼東半島附近を警戒す

けふの小洋相場（正午）　金百圓は一六九圓五錢

武門血笑記（5）

下村悦夫作　工藤義正挿畫

謎の行方不明(二)

「織馬と作樂の二人が、荒駒ケ原の仕置場へ出掛けたのは、お蓮の一團が、そこを引上げた後のことであつた。

星明りを便りに、原を横切つた小徑の叢を掻き分けながら、獄門臺の近くまで來ると、二人は、目當りの方角にじつと瞳を注いで、云ひ合はせたやうに一寸歩みを停めた。

「あすこら邊だと思はれるが」

織馬が聲を上げる。

「む！灯が消えてゐるやうだ喃」

と作樂。

どちらもそれ以上、口には出さなかつたが、何か不吉な豫感に驅り立てられるらしく、自と足が早くなつた。

「此處だ」

「露木氏ッ」

「露木氏ッ」

「やあッ、首が見えぬぞッ、早く灯をッ！」

二人は周章てゝ、蠟燭に火を灯した。

「無い！矢張りッ」

「む〻」

織馬も作樂も、首の失くなつた獄門臺の上を見上げたまゝ、暫くの間、愕然と立ちすくんだ……。

「愈々變だなあ」

織馬が作樂の方へ顔を向けた途端、それに答へないで、ぢつと地上に眼を向けてゐた作樂は、急に、五六歩つか／＼と進んで、小腰を屈めたかと思ふと、何時にない鋭い聲で云つた。

「見給へ、この血は、今朝穢の稚への血ではない！つい今し方、こぼれた血だ！ほれ、彼方にも夥だしい血ぢや」

踏み荒された窪地の彼方此方にどす黒く浸染んでゐる鮮血。

石塊や、草の葉に點々と飛び散つてゐる生血の飛沫、それは、つい今し方、其所に烈しい亂鬪のあつた事を、明らかに語つてゐた。

（それにしても、手負の人間も、死骸もてんで見えないのは、どうしたものか）

二人の若侍は、闇の中に浮び上つて來る友の危急に、心を苛立たせながら

「露木氏ッ」

「露木氏ッ」と興奮に顫える聲で、四邊の草原中へ呼びかけた。

「駄目だッ、一體どうしたんだらう……？」

織馬は、先刻から幾度も繰返した同じ言葉を、堪りかねて、また作樂に云つた。

「此上は、兎に角、先生のお邸へ行つて、お指圖を受けるより仕方がない。案外無事に斬り抜けて歸つてゐるのかも知れない。いづれにしても、無事なら、先づ先生のところへ歸る筈だ」

と、作樂。平常は馬鹿口を叩く以外に、一向要領を得ない男であるが、こうした危急の場合にのぞんで、これは又、意外な沈着振りであつた。

「就いては陣野氏、此場合、少し改まつて話がある。急ぐから歩きながら話する事にしやう」

二人は、急ぎ足に、仕置場から歩き出した。

「——と云ふのは、今宵の膽比べは、貴公も、露木氏も口には出さないが、特別な意味が含まれてゐる事は、よく承知の筈ぢや、ざつくばらんに云へば、鵜飼先生が一粒種、お梨花どの〻聟選み……」

作樂は、並んで歩いてゐる織馬の、急に強張つて來た顔を、ヂロリと見上げたが、何時になく相手の氣持をぐん／＼押して行くやうな、強い調子で話しつゞけた。

開館した中央映畫館 西廣場に新築成り二十二日開館式をあげ廿三日から松竹映畫上映館として開館したが、定員約九百名で休憩室、賣店、喫煙室等を設け館内設備が整つた瀟洒な映畫館である

キネマと演藝

入江たか子 辭表提出
東坊城監督と新劇團を計畫

【東京二十三日發】日活現代劇部のスター入江たか子は實兄の監督東坊城恭長と共に二十二日午前池永所長宛辭表を提出した新劇團設立の計畫を進めてゐる

噂話

中央映畫館に次いで映樂館の開館日がいよ／＼確定し、これで六館全部が揃つて正月が迎へる▲映樂館は吉田館主の關係で坂奈津門下の藤間舞踊團が餘興に出演し▲きのふの中央映畫館の開館式には出資者の淡月から清元舞踊「北洲」を出し、帝國館の開館式には三田尻の長唄舞踊「小鍛冶」があり▲いづれも新館が花柳界に深い關係を持つてゐるだけに開館式からそれ／＼ドンナものだと面白い取組を見せてゐるが▲さて軍扇はどこにあがるか、インチキ興行を排撃して正々堂々の陣を張る者こそ最後の勝利を獲得するものだらう▲ところで六館が揃つたら從業員が打つて一丸となり資本家に對抗する何等かの方法を具體化しようと寄々協議をすゝめてゐる

映樂館の開館式 來る廿五日擧行
同日夜間から一般に公開 洋畫で全發聲興行

開館が延び／＼となつてゐた西廣場の元演藝館跡の映樂館は既報の如く露人映畫配給者テラケロフ氏その間にパラマウント・メトロ、フォックス、ユニバーサル、ワーナー各社作品を歩合契約し來る廿五日午後一時から開館式を行ひ、同夜間より開館興行の蓋をあけることに確定した、館主は前寶館主吉田眞三氏で支配人を兼ね、解說者は宮坤莊吉、櫻井滿爾氏で映寫設備はシンプレックス（ベヤレス）とWE式發聲裝置をなし、全發聲興行である、開館興行は既報の如くメトロ作品「ダイナマイト」及び「有頂天時代」で開館式のプロは左の如く藤間舞踊團の餘興がある

舞踊「鴨川小唄」藤井世喜子、中西節子、玉置政子、北村美智子、加茂千惠子▲舞踊「お光の唄」北村光江▲發聲映畫「村の床屋」▲舞踊「酒は涙か溜息か」てまり▲舞踊「れんれんころり」猪森幸子▲舞踊「片思ひ」吉宇女丸▲舞踊「暮のお人形」吉田花子▲發聲總天然色「大レヴュウ映畫」▲舞踊「乙女心」宇女丸▲舞踊「滿洲全景」藤井世喜子、玉置政子、北村美智子、加茂千惠子▲發聲映畫「ダイナマイト」

本社特選 新棋戰（其九）

平香交 平手番 五段 ▲齋藤銀次郎
先 四段 △樋口金雄

【圖は六六角迄の局面】

▲齋藤氏「持駒」金銀歩

樋口氏「持駒」角金銀銀歩歩

▲七七金　△五六玉
▲五八飛成　△五七金
▲六八龍　△三二桂成
▲同　飛　△四三銀打
迄にて樋口四段の勝

【土居八段總評】□本局は齋藤君は後手番の事故相懸りの變化を用ひ銀を戰線に繰り出して攻勢的の方針を立てた。其時樋口君は六六歩とつき敵銀の動きを牽制し專ら穩健策を用ゐて防戰に努めた□齋藤君は騎虎の勢ひ攻勢に努めた際樋口君が四六銀以下の手段を誤つた爲に自營亂れ不利の局面に陷つた□その時齋藤君は攻勢に努め有利の局面を繼續して居たが樋口君に於ても攻防共に善戰し隨分力の入つた面白い局面を現出した□齋藤君は敵の五三銀の打込みに對し一旦五二歩と打つて自營を防ぎ而して攻勢に轉ずれば優勢なるを餘りに調子に乘つて攻勢を採り、五二歩打の好手を逸して敵に危險な桂を渡した爲形勢一變した次第なるが、然し樋口君は危險な將棋をよく守り最後の勝利を得たのは要すに努力の賜である。

【萩原六段解說】後手七七金に對し先手五六玉は安全な順で七七同角と取ると同歩成、同玉、五五角の順や色々の手があつて危險故、五六玉は當然の手である然して五七金と先手を取つて四三銀打の順になつて後手は如何ともすることは出來ない。